Caplio R2

RICOH

使用説明書
（カメラ・導入編）

1 すぐに使いたいとき

2 いろいろな撮りかた・再生をしたいとき

3 カメラの設定を変更したいとき

4 ソフトウェアをインストールするとき

5 お困りのときは

本製品のシリアル番号は、本体底面に記載されています。

ご注意！

ケーブルの接続は、ちょっと待ってください。

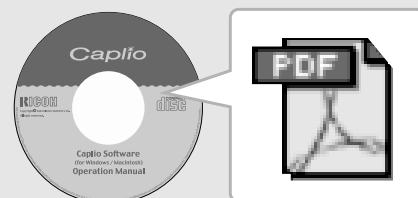
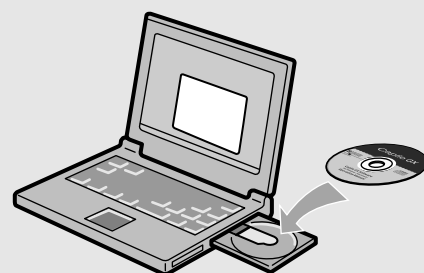
付属のソフトウェアをパソコンにインストールする（入れる）前に、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続すると、カメラとパソコンを接続するためのソフトウェアが適切にインストールされない場合があります。

付属のソフトウェアをインストールしたあと、カメラとパソコンを接続してください。

インストール方法はP.127をご覧ください。

■ マニュアルについて

付属のソフトウェアの使いかたについての説明は、『使用説明書（ソフトウェア編）』として同梱のCD-ROMにPDFデータで収録されています。

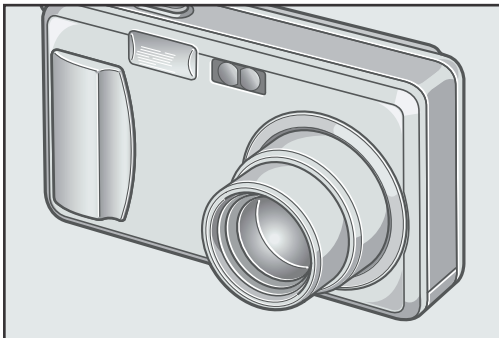
表示方法はP.136をご覧ください。

はじめに

この使用説明書には、本製品を使って撮影や再生機能を利用する方法や使用上の注意について記載してあります。
本製品の機能を十分にご活用いただくため、ご使用の前に、本書を最後までお読みください。本書が必要になったとき、すぐに利用できるよう、お読みになった後は、必ず保管してください。

株式会社リコー

安全上のご注意について	安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。
テスト撮影について	必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。
著作権について	著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽等の著作物は、個人的または家庭内およびこれに準ずる限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複写、改変等することは禁じられています。
ご使用に際して	万一、本製品などの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
保証書について	本製品は国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
電波障害について	他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。 ・テレビやラジオなどからできるだけ離す ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える ・コンセントを別にする <電波障害自主規制について> この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。
本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたら、巻末をご覧の上ご連絡ください。

このカメラでできること

4.8 倍高倍率ワイドズームレンズを搭載

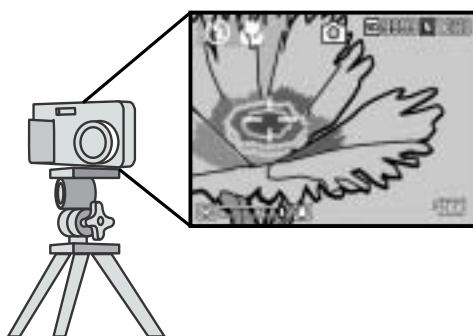
厚さ 25mm の薄型コンパクトボディに、通常撮影領域をカバーする 28 ～ 135mm* の光学 4.8 倍ワイドズームレンズを搭載。室内から風景まで、さまざまな撮影シーンに対応できます。

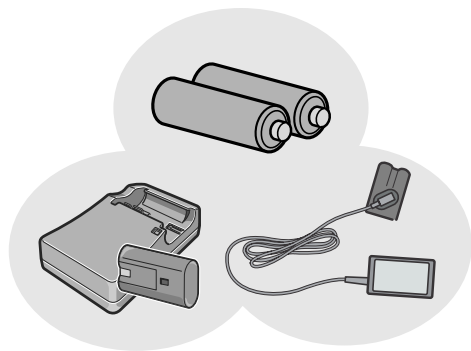
*35mm 判カメラ換算値です。

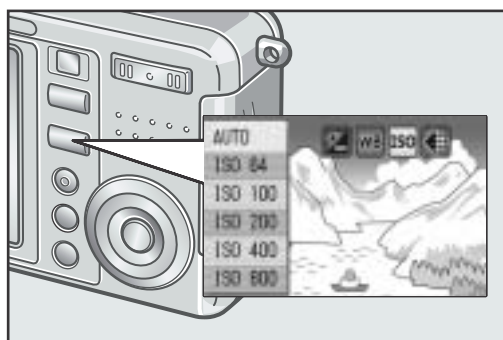
一瞬のチャンスを逃さない速写力（P.30）

レリーズタイムラグ0.1 秒を実現。
リコー独自の高速フォーカシング「ハイブリット AF システム」で、動きのある被写体もきっちり捉えることができます。

1cmマクロ（P.36）＆望遠時13cm、広角時20cm対応近接フラッシュ（P.37）

被写体まで 1cm の超アップで撮影可能な接写機能を搭載。フラッシュは望遠時 13cm 、広角時20cm の近さまで対応。光の足りない条件でもよりきれいに撮影ができます。

三脚使用時も楽々フォーカスロックができるAFターゲット移動機能（P.83）

AF ターゲット移動機能を搭載。マクロ撮影時に、カメラを動かさずにカメラのボタン操作だけでフォーカスロックができます。

撮影チャンスを逃さない３電源方式(P.16)

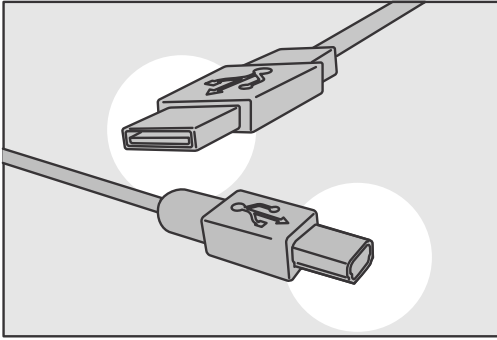
大容量の専用リチャージャブルバッテリーをはじめ、外出先でも入手しやすいアルカリ乾電池(市販)、パソコンへの転送時などに便利で経済的なAC アダプター(別売り)と、3種類の電源に対応しています。

最適な設定へ簡単に変更できるADJ.(アジャスト)ボタン(P.57)

通常のボタン操作を短縮させてくれるのがADJ. ボタン。露出補正やホワイトバランス、ISO 感度の設定も、少ないボタン操作でラクラク設定できます。また、必要に応じて機能を割り当てることもできます。

1 秒間に30 フレーム/15 フレームの高画質・音声付き動画(P.89)

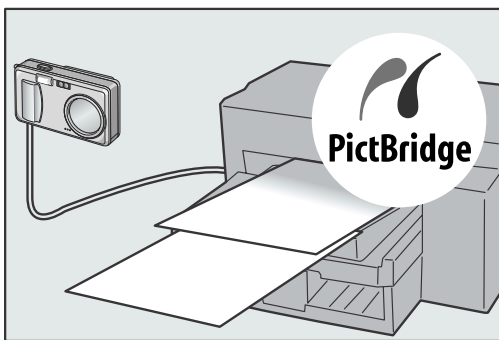
320×240ピクセルの高画質、1秒間に30フレームのなめらかな音声付き動画が撮影できます。

簡単に美しく撮影できるシーンモード(P.38)

シーンモードでは、6 種類あるシーンの中から撮りたいシーンを選択するだけで、最適な設定で撮影できます。

USBケーブルでパソコンへ一発転送

付属ソフトウェアをパソコンにインストールしておけば、カメラとパソコンをUSBケーブル(付属)でつなぐだけで、自動的にパソコンに画像が転送できます。

撮影した画像のアルバム管理はもちろん、画像やサウンドの編集から Video CD 作成までお任せの多機能ソフトウェア「ImageMixer」を標準装備

デジタルカメラや音楽 CD などからの静止画、動画、サウンドの取り込みを行う入力機能、取り込んだコンテンツを管理するアルバム機能、動画を MPEG-1 で編集する編集機能、静止画コンテンツを利用してレイアウトを作成するレイアウト機能、Video CD を作成できるディスク作成機能を搭載し、統合的に画像を扱うことができます。

パソコンなしでも印刷できるダイレクトプリント機能(P.52)

カメラとダイレクトプリント対応プリンターを直接USBケーブルで接続して、画像を転送。パソコンを使わずに手軽に画像が印刷できます。

もくじ

1 章　すぐに使いたいとき

撮影の前に 10
　パッケージを確認する 10
　カメラの各部の名称 12
　液晶モニターの表示について 14
撮影の準備をする 16
　使用できる電池 16
　使用できない電池 17
　電池の残量表示 18
　SD メモリーカード（市販）について 19
　リチャージャブルバッテリーを充電する 20
　リチャージャブルバッテリーと SD メモリーカードをセットする 21
　乾電池（市販）をセットする 23
　電源をオン・オフする 24
　日時を合わせる 25
　画面表示を切り替える 26
　画面の輝度を最大にする 26
　ヒストグラム表示について 27
撮影する 28
　カメラの構えかた 28
　手ブレを防ぐには 29
　一瞬を逃さない撮りかた（一気押し） 30
　ピント合わせを確認して撮る（半押し） 31
　被写体が中央にないときには（フォーカスロックで撮る） 33
　ズームを使って撮る 35
　接写で撮る（マクロ撮影） 36
　フラッシュを使う 37
　シーンに合わせて撮る 38
再生する 40
　撮った静止画をすぐ確認する（クイックレビュー） 40
　撮った静止画を見る 41
　3 コマ表示で再生する 42
　一覧にして見る（サムネイル表示） 44
　静止画を拡大表示する 45
テレビの画面で見る 46
削除する 48
　いらない静止画を消す 48
　複数を一度に削除する 49

2 章　いろいろな撮りかた・再生をしたいとき

ダイレクトプリントで印刷する 52
　ダイレクトプリント機能について 52
　カメラとプリンターを接続する 52
　静止画を印刷する 53

いろいろな撮りかた 57
ADJ.（アジャスト）ボタンの使いかた 57
撮影設定メニューについて 58
撮影設定メニューの操作方法 59
画質モード / 画像サイズを選ぶには（画質・サイズ） 60
手動でピントを合わせて撮影する（フォーカス） 62
測光方式を変えるには（測光方式） 65
静止画の質感を変えるには（シャープネス） 66
色の濃さを設定するには（色の濃さ） 67
露出を変化させて連続撮影するには（オートブラケット） 68
ホワイトバランスを変化させて連続撮影するには（ホワイトバランスブラケット）. 69
長時間露光を設定するには（長時間露光） 71
一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影） 72
音声付き撮影をするには（音声付き撮影） 74
静止画に日付を入れるには（日付入れ撮影） 75
露出を変えるには（露出補正） 76
自然光や照明光を使うには（ホワイトバランス） 77
撮影感度を設定するには（ISO 感度） 79
シャッタースピードを制限するには（スローシャッター速度制限） 80
撮影設定メニューの設定を元に戻す（撮影設定初期化） 81
文字撮影のときの濃淡を変えるには（文字濃度） 82
AF ターゲット移動機能を使う 83
セルフタイマーを使う 84
連写で撮る 85
連写のとき 87
S 連写のとき 87
M 連写のとき 87
S 連写／ M 連写した静止画を拡大して見る 88
動画を撮影・再生する 89
動画を撮影する 89
フレームレートを設定する 90
動画を再生する 91
音声を記録・再生する 92
音声を記録する 92
音声を再生する 93
再生モード時のその他の機能 94
再生設定メニューについて 94
再生メニューの操作方法 94
自動的に順に表示する（スライドショー） 95
削除できないように設定する（プロテクト） 96
プリントサービスを利用する（DPOF：ディーポフ） 99
画像サイズ縮小する（画像サイズ変更） 102
内蔵メモリーの内容をカードへコピーする（CARD へコピー） 103

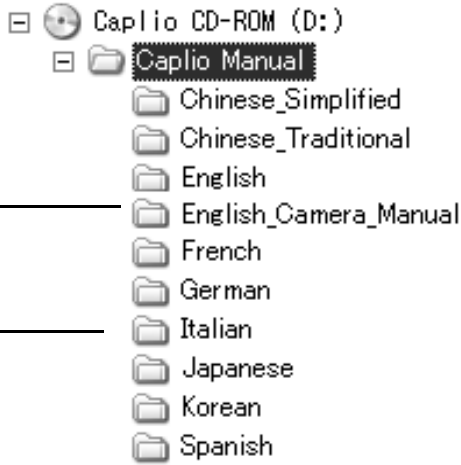
3 章　カメラの設定を変更したいとき

カメラの設定を変更する 106
セットアップメニューについて 106
セットアップメニューの操作方法 107
SD メモリーカードを使えるようにする（初期化 [カード]） 108
内蔵メモリーを初期化する（初期化 [内蔵メモリー]） 109

液晶モニターの明るさを調節する（LCD 輝度調節）........ 110
ADJ. ボタンに機能を設定する（ADJ. ボタン設定）........ 111
オートパワーオフの設定を変える（オートパワーオフ）........ 112
ブザー音の設定を変える（ブザー音）........ 113
ブザー音の音量を変える（操作音音量設定）........ 114
画像確認時間を変える（画像確認時間）........ 115
ファイル名の設定を変える（CARD 連続 NO.）........ 116
日付時刻を設定する（日時設定）........ 117
表示言語を変える（LANGUAGE/ 言語）........ 118
テレビで見るときの再生方式を変える（ビデオ方式）........ 119
ステップズームの設定を変更する（ステップズーム）........ 120
設定変更の警告を表示する（撮影設定警告）........ 121
USB 通信方式を変える（USB 接続）........ 122
アイコンを大きく表示するには（撮影アイコン拡大）........ 126

4 章　ソフトウェアをインストールするとき

ソフトウェアをインストールする（Windows をご使用の場合）........ 128
付属ソフトウェアを使うために必要な環境........ 131
ソフトウェアをパソコンに入れる........ 132
カメラとパソコンを接続する........ 134
Acrobat Reader をインストールする........ 136
DirectX をインストールする........ 137
Ridoc Desk 2000 Lt........ 138
Caplio Transfer Software........ 140
ソフトウェアを削除（アンインストール）するには........ 141
ImageMixer を削除（アンインストール）するには........ 142
ソフトウェアをインストールする（Macintosh をご使用の場合）........ 143
付属ソフトウェアを使うために必要な環境........ 145
ソフトウェアをパソコンに入れる（Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 の場合）........ 146
ソフトウェアをパソコンに入れる（Mac OS X 10.1.2 ～ 10.3 の場合）........ 147

5 章　お困りのときは

お困りのときは........ 150
カメラ本体のトラブルについて........ 150
Caplio レスキューについて（Windows をご使用の場合）........ 155
Windows XP Service Pack2 での警告メッセージについて........ 156
付録........ 158
A. 主な仕様........ 158
B. 別売り品について........ 160
C. 各シーンモードと機能の組み合わせ........ 161
D. 各モード時のメニュー項目について........ 162
E. 電源オフで設定値が初期値に戻る機能一覧........ 163
F. 内蔵メモリー /SD メモリーカードの記録可能枚数........ 164
G. 海外でお使いのときは........ 165
H. 使用上のご注意........ 166
I. お手入れと保管について........ 167
J. エラーメッセージが表示されたら........ 168
K. アフターサービスについて........ 169
索引........ 170

使用説明書の構成について

Caplio R2には、次の２種類の使用説明書が付属しています。

	『使用説明書（カメラ・導入編）』（本書）
	カメラの使いかたや機能を説明しています。また、付属ソフトウェアをパソコンに入れる（インストール）方法についても説明しています。 ※英語版の『使用説明書（カメラ・導入編）』は、PDF ファイルで付属の CD-ROM に収録されています。
	『使用説明書（ソフトウェア編）』（PDF ファイル）
	付属のソフトウェアを使って、カメラの画像をパソコンに取り込む方法について説明しています。 『使用説明書（ソフトウェア編）』は、付属 CD-ROM 内の次のフォルダに収録されています。

使用説明書（ソフトウェア編）をハードディスクにコピーするには

上記のフォルダからPDFファイルをハードディスクにコピーしてください。

参照

本機には、パソコン内の画像を表示したり、編集したりできるソフトウェアImageMixer が付属しています。ImageMixer の使いかたについては、ImageMixer の画面上に表示される「?」ボタンをクリックして表示されるマニュアルを参照してください。
ImageMixer についてのご質問・ご相談は、下記ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

株式会社ピクセラ　ユーザーサポートセンター
TEL：06-6633-3900
FAX：06-6633-2992
〒 556-0011
大阪府大阪市浪速区難波中 2-10-70 パークスタワー 25F
受付時間：月曜日〜日曜日
10：00 〜 17：00
(年末年始、祝日、弊社指定休日は除く)
また以下のページで、ImageMixer の最新情報が閲覧できます。
http://www.imagemixer.com/

このガイドの読みかた

第1章は本機の基本操作について解説しています。
はじめてお使いになるときは、こちらからお読みください。

その他に、このガイドでは次のマークを使って表記しています。

マーク	説明
注意	操作上、守っていただきたい注意事項や制限事項です。
メモ	補足説明や、操作について知っておくと役に立つ事柄です。
用語説明	知っておいていただきたい用語をピックアップして解説しています。
参照	関連する機能のページを示しています。

画面例は、実際の表示と異なる場合があります。

1 章

すぐに使いたいとき

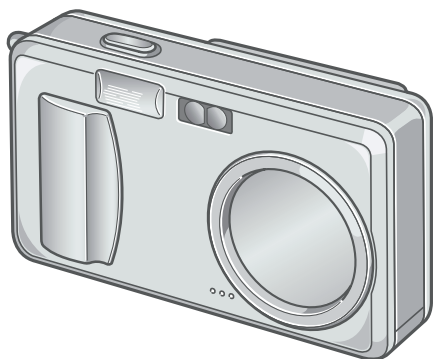
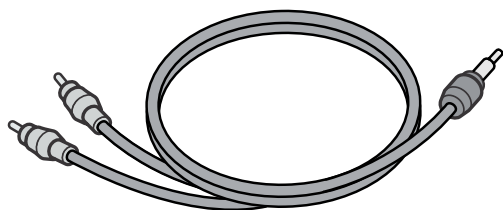
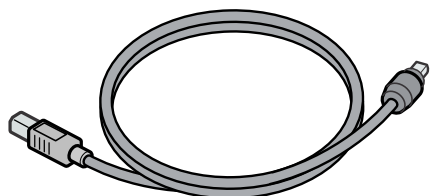
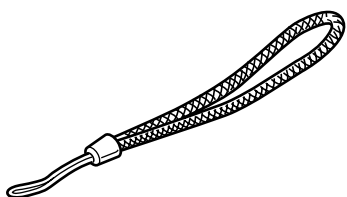
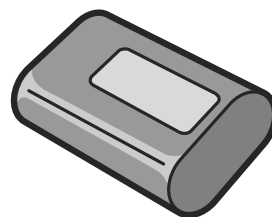
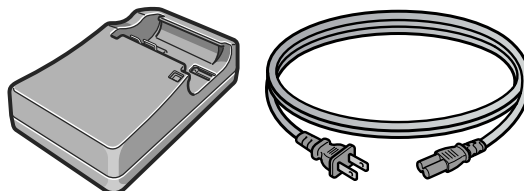
はじめてお使いになるときは、こちらから
お読みください。

撮影の前に.. 10
撮影の準備をする... 16
撮影する.. 28
再生する.. 40
テレビの画面で見る... 46
削除する.. 48

撮影の前に

パッケージを確認する

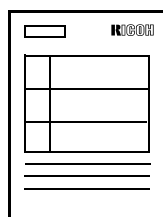
パッケージを開けて同梱品を確認しましょう。

・Caplio R2

・AVケーブル
テレビで画像を見るときに使用します。

・USBケーブル
カメラをパソコンやダイレクトプリント対応プリンターと接続するときに使用します。

・ハンドストラップ

・リチャージャブルバッテリー

・バッテリーチャージャー

メモ

ハンドストラップのつけかた
ストラップの先端をカメラのストラップ取り付け部に通して取り付けます。

本製品のシリアル番号は、本体底面に記載されています。

・使用説明書(カメラ・導入編)(本書)

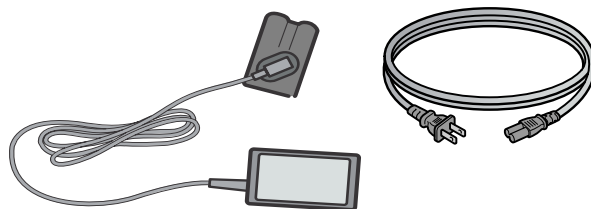
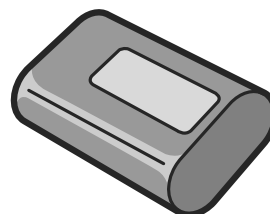
・保証書/ご愛用者登録カード

・安全上のご注意

・Caplio Software CD-ROM

ソフトウェアと『使用説明書(ソフトウェア編)』などが含まれています。

別売り品について

・ACアダプター(AC-4b)

家庭用コンセントからカメラへ電源を供給するときに使用します。長時間の再生、パソコンへの画像の転送時などにご利用ください。

・リチャージャブルバッテリー(DB-50)

・PCカードアダプター(FM-SD53)

SD メモリーカードをパソコンの PC カードスロットに直接セットするときに使用します。

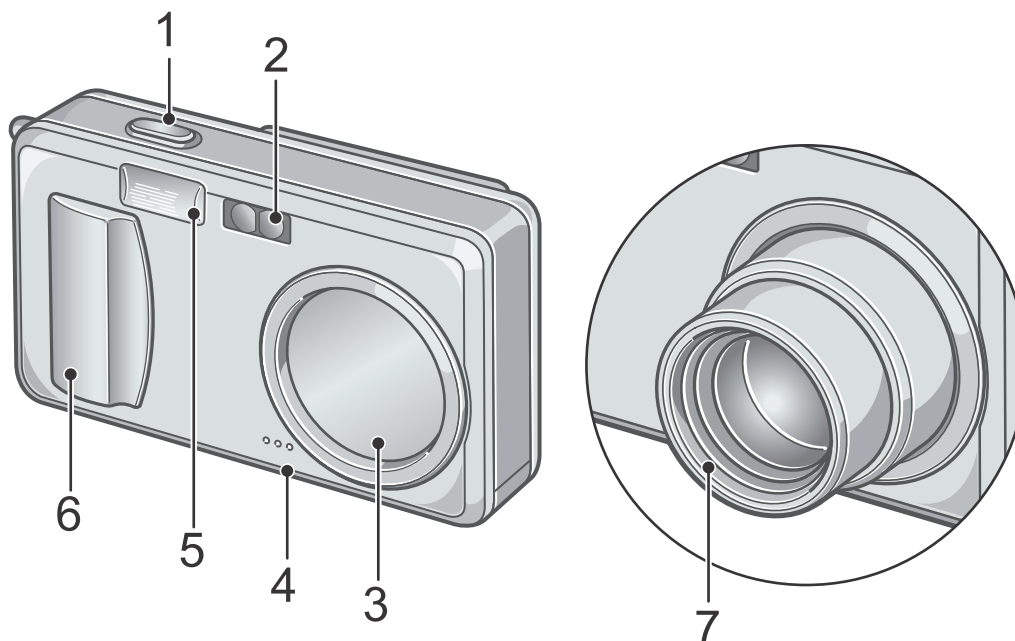
・ソフトケース(SC-50)

・SDメモリーカード(市販)

参照

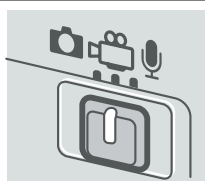
別売り品についての最新情報は、弊社ホームページ(http//:www.ricoh.co.jp/dc)をご覧ください。

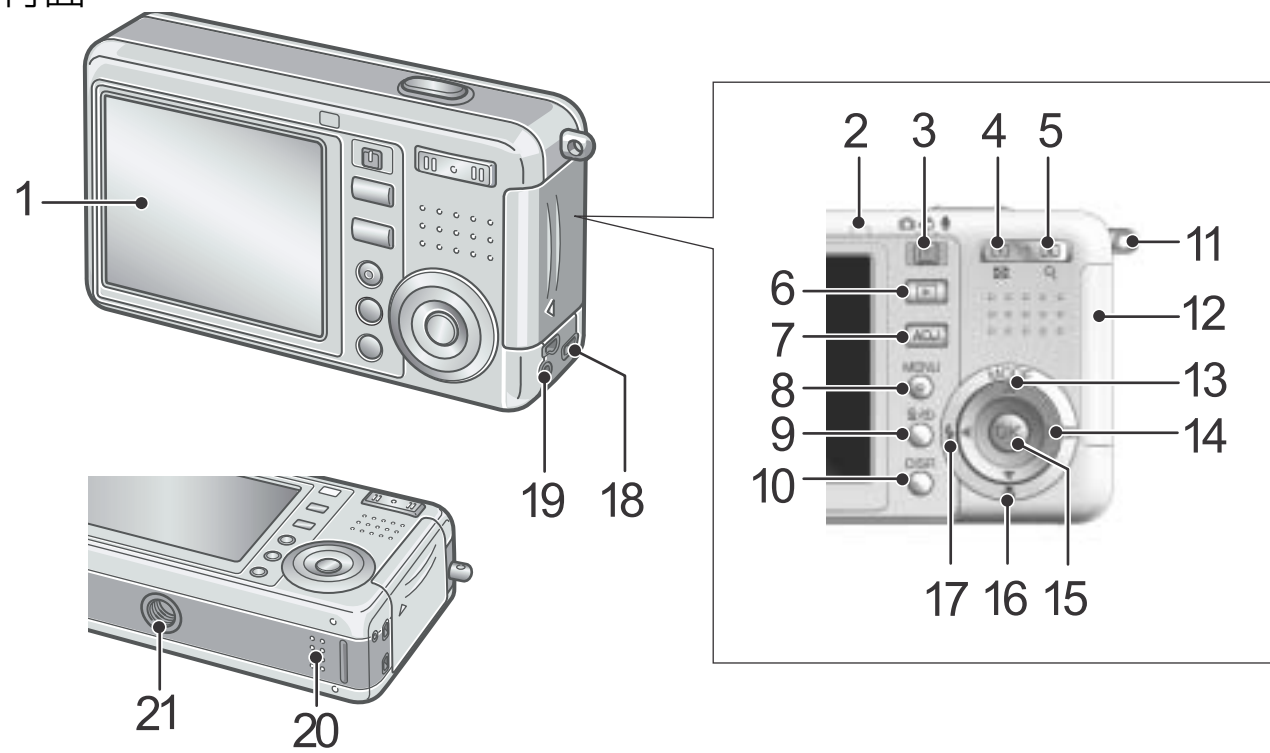
カメラの各部の名称

カメラ本体

前面

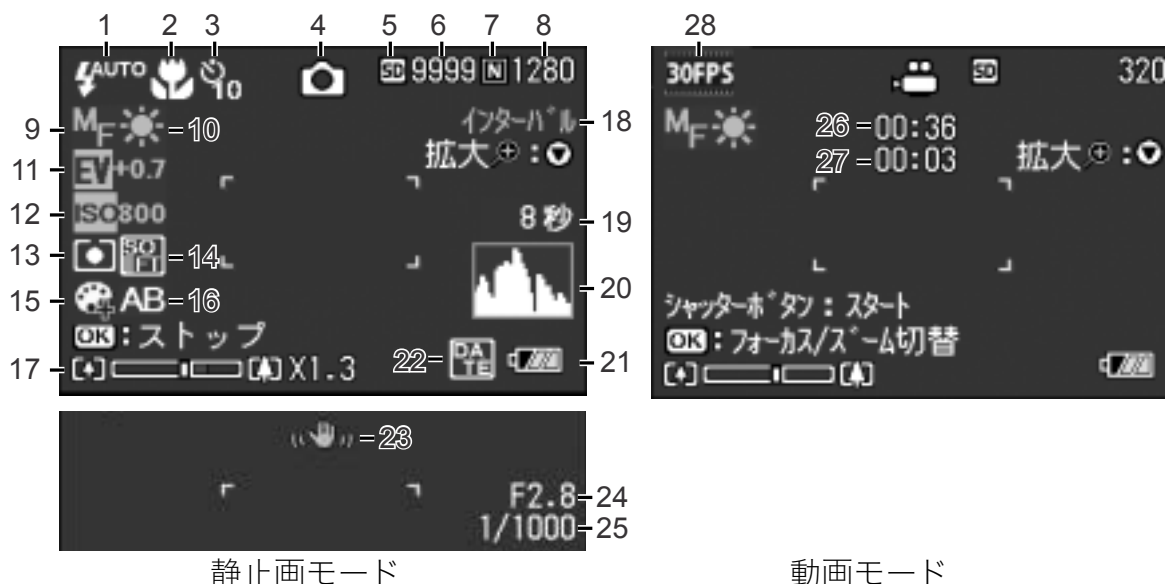
	名称	参照先
1	シャッターボタン	P.28
2	AF 窓	–
3	レンズカバー	–
4	マイク	P.92
5	フラッシュ発光部	P.37
6	電源スイッチ	P.24
7	レンズ	P.28

モード切替スイッチについて

モード切替スイッチを切り替えると、3種類のモードに切り替えることができます。

静止画モード	静止画の撮影ができます。
動画モード	動画の撮影ができます。
音声モード	音声の記録ができます。

背面

	名称	参照先		名称	参照先
1	液晶モニター	−	12	バッテリー / カードカバー	−
2	オートフォーカス / フラッシュランプ	P.31 P.37	13	▲/MODE ボタン	P.38
3	モード切替スイッチ	P.12	14	▶/Ⓒ（クイックレビュー）ボタン	P.40
4	[♠]（広角）/ ▦（サムネイル表示）ボタン	P.35 P.44	15	OK ボタン	−
5	[♠]（望遠）/ 🔍（拡大表示）ボタン	P.35 P.45	16	▼/✿（マクロ）ボタン	P.36
6	再生ボタン	−	17	◀/ϟ（フラッシュ）ボタン	P.37
7	ADJ. ボタン	P.57	18	USB 端子	P.134
8	MENU ボタン	P.59 P.94 P.107	19	AV 出力端子	P.46
9	🗑（削除）/ 🕑（セルフタイマー）ボタン	P.48 P.84	20	スピーカー	P.91 P.93
10	DISP. ボタン	P.26	21	三脚ネジ穴（底面）	−
11	ストラップ取り付け部	P.10			

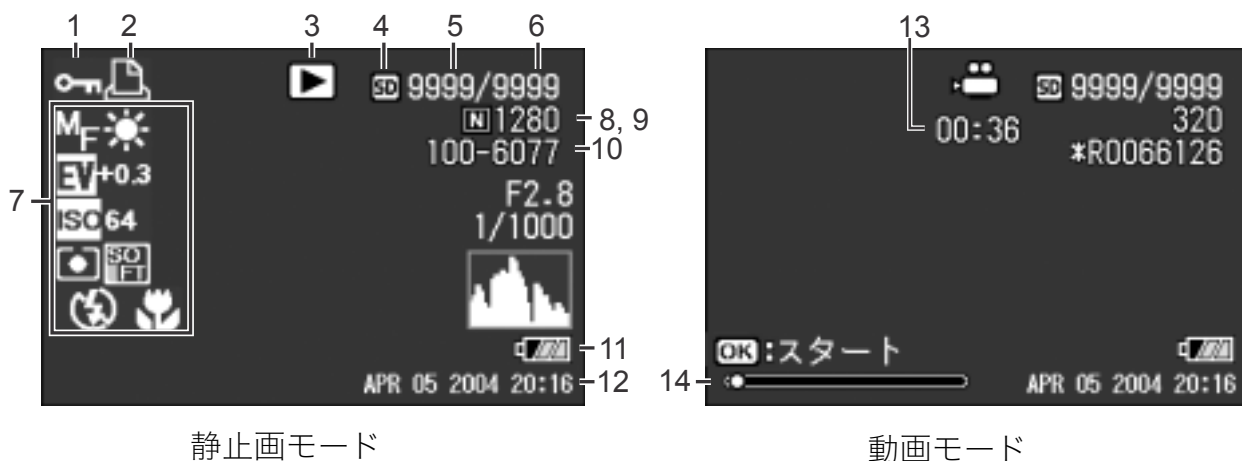
液晶モニターの表示について

撮影するときの画面

静止画モード　　　　　　　　動画モード

	名称	参照先		名称	参照先
1	フラッシュ	P.37	15	色の濃さ	P.67
2	マクロ撮影	P.36	16	オートブラケット	P.68
3	セルフタイマー	P.84	17	ズームバー	P.35
4	モードの種類	ー	18	インターバル撮影	P.72
5	記録先	P.19	19	長時間露光	P.71
6	残り記録枚数	P.164	20	ヒストグラム表示	P.27
7	画質	P.60	21	電池	P.16
8	画像サイズ	P.60	22	日付 / 時刻	P.75
9	フォーカス	P.62	23	手ブレ注意	P.29
10	ホワイトバランス	P.77	24	絞り値	P.31
11	露出補正	P.76	25	シャッタースピード	P.31
12	ISO 感度	P.79	26	残り記録時間	P.164
13	測光方式	P.65	27	記録時間	P.164
14	シャープネス	P.66	28	フレームレート	P.90

メモ

- 残り記録枚数は、撮影する被写体によってファイル容量が増減するため、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。
- 同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
- 連続撮影（録音）時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。
- 残り記録枚数が 1 万枚以上のときは「9999」と表示されます。

再生するときの画面

静止画モード　　動画モード

	名称	参照先		名称	参照先
1	プロテクト	P.96	8	画質	P.60
2	DPOF	P.99	9	画像サイズ	P.60
3	モードの種類	–	10	ファイル番号	–
4	再生元	P.41	11	電池	P.16
5	再生ファイル数	–	12	撮影した日付	P.75 P.117
6	総ファイル数	–	13	記録時間または経過時間	–
7	撮影時（記録時）の設定	–	14	インジケーター	–

メモ

使用中、操作やカメラの状態に関するメッセージが表示されることがあります。

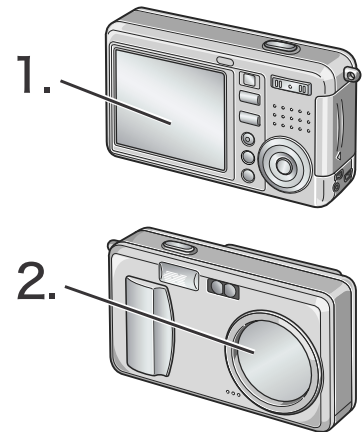
撮影の準備をする

電源を入れて撮影できるように準備します。

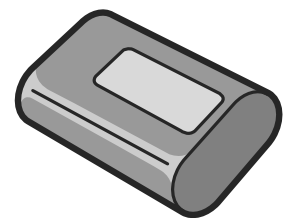
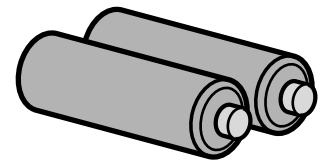
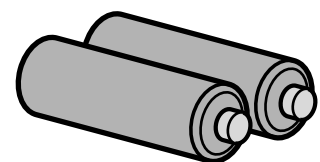
メモ

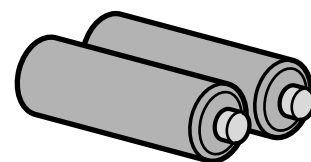
すでにお使いのお客様は、電池を着脱する前に、以下の方法で電源がオフになっていることを確認してください。

1. 液晶モニターが消灯していることを確認する
2. 1. を確認した上で、レンズカバーが閉じていることを確認する

電源をオフにする方法については、P.24 をご覧ください。

使用できる電池

カメラには、次の電池が使用できます。用途に合わせて使い分けてください。

・**リチャージャブルバッテリーDB-50(付属)**
リチウムイオン電池です。バッテリーチャージャーで充電して繰り返し使用できるので、経済的です。持続時間が長いので、旅行のときなどに便利です。

・**単三アルカリ乾電池(LR6)(市販)**
どこでも入手しやすいので、旅行のときなどに便利です。ただし、寒冷地などの低温環境では、撮影可能枚数が少なくなります。電池を手で温めるなどして使用してください。より長い時間カメラをご使用いただくには、リチャージャブルバッテリーの利用をお勧めします。

・**単三ニッケル乾電池(市販)**
充電式ではありませんが、デジタルカメラで使用した場合、単三アルカリ乾電池に比べて持続時間が長く、便利です。

・**単三ニッケル水素電池(市販)**

充電して繰り返し使用できるので、経済的です。充電には市販の充電器をご使用ください。
ただし、ご購入直後や 1ヶ月以上使用しないで放置すると"不活性状態"となっている場合があり、電池本来の性能が発揮されないため、その場合には 2 〜 3 回充電を繰り返してから再度ご使用ください。また、カメラを使用しないでいるときも、自己放電により容量が徐々に低下するため、ご使用の前には再度充電を行ってください。

・**単三オキシライド乾電池(市販)**

単三アルカリ乾電池に比べて持続時間が長い電池です。

なお、電池の他にも、AC アダプター(別売り)がご使用いただけます(→P.160)。

使用できない電池

カメラでは、次の電池が使用できません。
マンガン乾電池(R6)、ニッカド電池、CR-V3

メモ

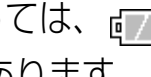
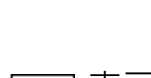
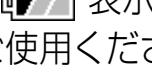
撮影可能枚数(電池の持続)の目安

電池の種類	枚数
リチャージャブルバッテリー(DB-50)	約 500 枚
単三アルカリ乾電池(LR6)	約 200 枚

・撮影枚数は CIPA 規格に準拠した測定条件によるものです。
(温度 23 ℃、液晶モニター ON、30 秒ごとに望遠端と広角端で交互に撮影、2 回に 1 回フラッシュ発光、10 枚撮影するごとに電源を OFF/ON を繰り返し)
・単三アルカリ乾電池 (LR6) の撮影可能枚数は、松下電池工業株式会社製の単三形アルカリ電池を使用しています。
・シンクロモニターモードにすると、さらに撮影可能枚数を増やすことができます。
・枚数はあくまでも目安です。設定、再生等の動作時間が長くなると、その分撮影可能時間(枚数)が短くなります。

参照

・リチャージャブルバッテリーをセットするには→ P.21
・AC アダプターを使用するには→ P.160

注意

- 長い期間カメラをご使用にならない場合には、電池を抜いてカメラを保管してください。
- 市販のアルカリ乾電池（LR6）の場合、電池の銘柄、製造日からの保存期間により電池寿命が短い場合があります。また、アルカリ電池はその特性上、低温時には使用時間が極端に短くなります。
- なお、市販のニッケル水素電池はご購入時には充電されていません。ご使用の前に充電してお使いください。
  購入直後や長期の保存後の充電時は、満充電にならないことがあります。充電・放電を繰り返してからご使用ください。詳細は電池、充電器の説明書をご覧ください。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。

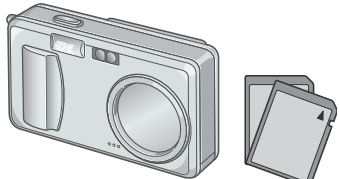
電池の残量表示

液晶モニターの左下には、電池の残量を示すマークが表示されます。残量がなくなる前に、新しい電池をご用意ください。

電池マーク	説明
	電池の残量はまだ十分あります。
	電池の容量が減りはじめました。新しい電池をご用意ください。
	電池の残量がわずかになりました。電池の交換をお勧めします。

注意

- 単三ニッケル水素電池、単三ニッケル乾電池、単三オキシライド乾電池をご使用の場合、電池の種類や条件によっては、 表示が出なかったり、 表示や 表示がすぐに出ることがあります。あらかじめ、お手持ちの電池でご確認の上、ご使用ください。
- AC アダプターをご使用の場合、 表示になることがありますが、故障ではありません。そのまま引き続きご使用ください。

SD メモリーカード（市販）について

記録データは、カメラ本体に内蔵されているメモリーか、SD メモリーカード（市販）に記録されます。内蔵メモリーの容量は、28MBです。
静止画・動画・音声をたくさん撮りたい場合や、高画質で撮りたい場合には、容量の多いSDメモリーカードを使ったほうが便利です。

メモ

記録先について

SD メモリーカードをセットしていないときには、内蔵メモリーに記録され、SD メモリーカードをセットしているときには SD メモリーカードに記録されます。

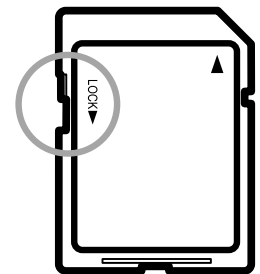
本体のみのとき	SD メモリーカードがセットされているとき
内蔵メモリーに記録	SD メモリーカードに記録

注意

- SD メモリーカードがセットされているときは、SD メモリーカードがいっぱいになっても、内蔵メモリーには記録されません。
- SD メモリーカードの金属端子部を汚さないように注意しましょう。

メモ

誤って記録データを消さないようにするには

カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にしておくと、記録データの削除や初期化ができなくなります。解除すれば（スイッチを元の位置に戻す）、削除も初期化もできるようになります。
大切なデータを記録したときには、「LOCK」にしておきましょう。
なお、「LOCK」の状態にすると SD メモリーカードへの記録もできなくなるので、撮影ができません。撮影時には「LOCK」を解除してください。

参照

- 再生時の SD メモリーカードと内蔵メモリーの切り替えについて→ P.41
- 記録できる枚数について→ P.164

リチャージャブルバッテリーを充電する

リチャージャブルバッテリーは使用する前に充電する必要があります。

1. バッテリーの⊕⊖印とバッテリーチャージャーの⊕⊖印を合わせてセットする

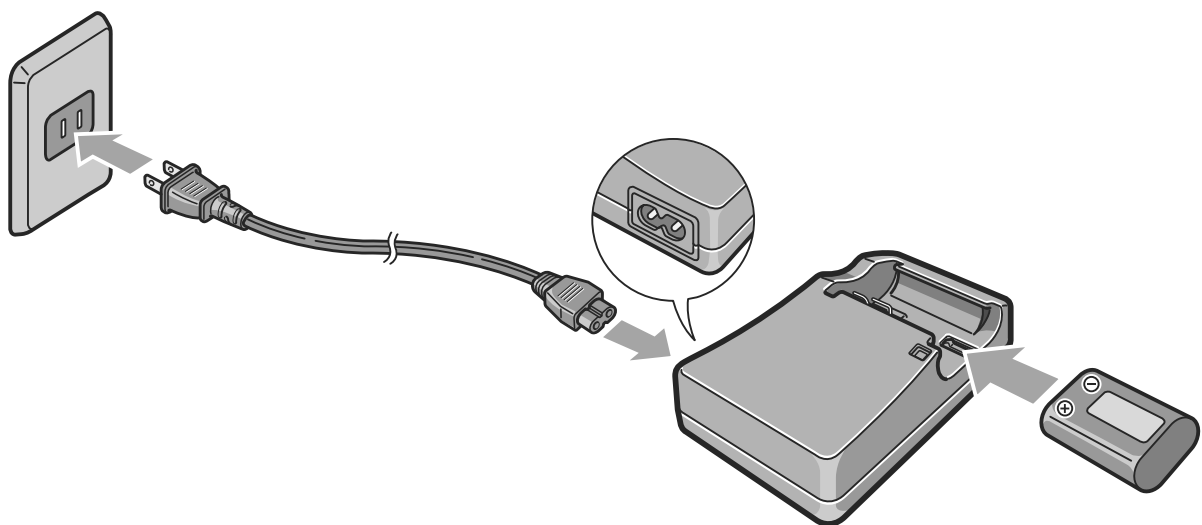
この時、バッテリーのラベル面は上になっています。

注意

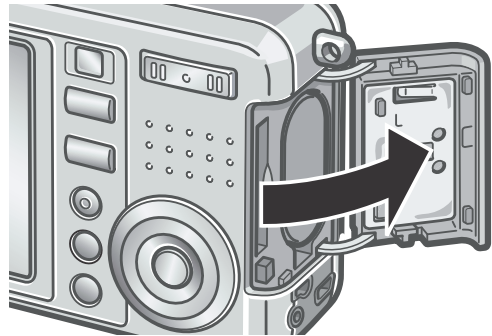
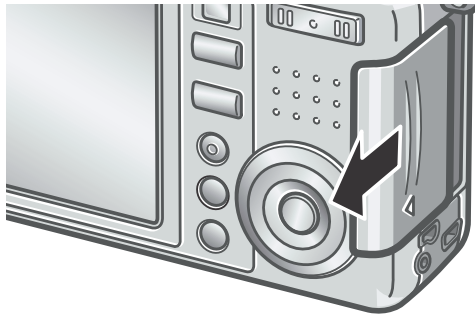
⊕と⊖を逆にセットしないでください。

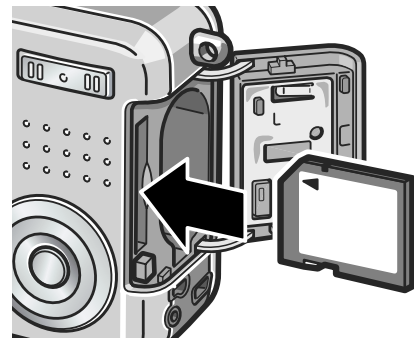
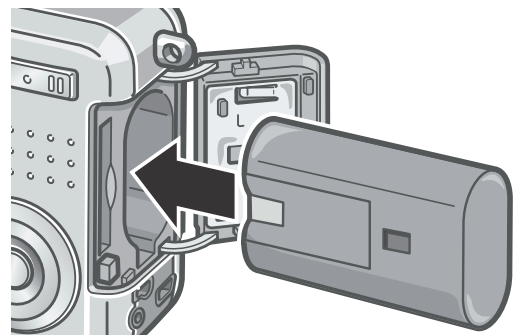
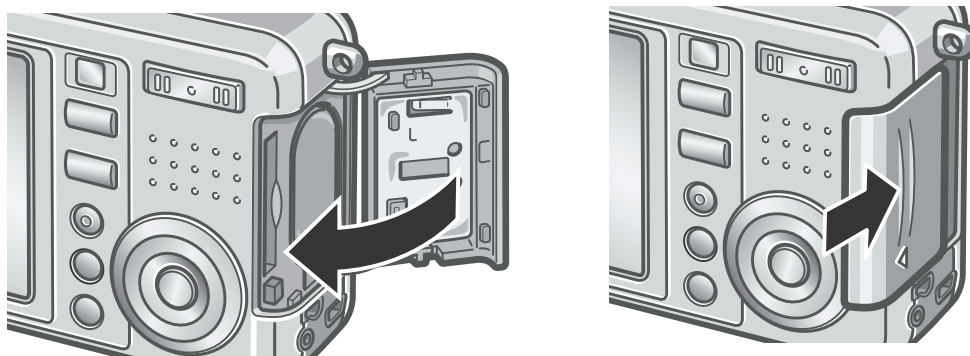
2. コンセントに電源プラグを差し込む

充電が開始され、下表のように充電できます。充電が終了したら、電源プラグをコンセントから抜いてください。
バッテリーの残容量により充電時間は異なります。

充電ランプ	内容
点灯	充電開始
消灯	充電完了
点滅	バッテリーチャージャーまたはバッテリー異常（電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。）

リチャージャブルバッテリーと SD メモリーカードをセットする

リチャージャブルバッテリー(DB-50)は、本カメラで使用できる充電池です。持続時間が長く、充電により繰り返し使用でき便利です。すでにお使いのお客様は、セットする前に、電源がオフになっていることを確認してください。

1. バッテリー/ カードカバーをスライドさせて開ける

2. SD メモリーカードの向きに気を付けて、「カチッ」と音がするまでSDメモリーカードを奥へ挿入する

先にリチャージャブルバッテリーをセットしてもかまいません。

3. リチャージャブルバッテリーを挿入する

4. バッテリー/カードカバーを閉じて、スライドさせる

注意

- 長時間カメラをご使用にならない場合には、リチャージャブルバッテリーを抜いてカメラを保管してください。
- 抜いたバッテリーは涼しい場所に保管してください。
- 充電には専用バッテリーチャージャーをご使用ください。

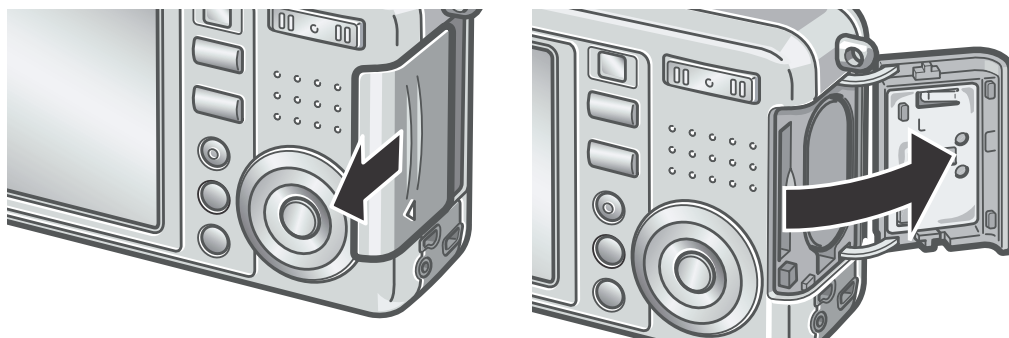
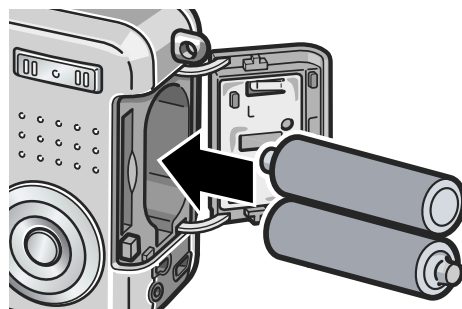
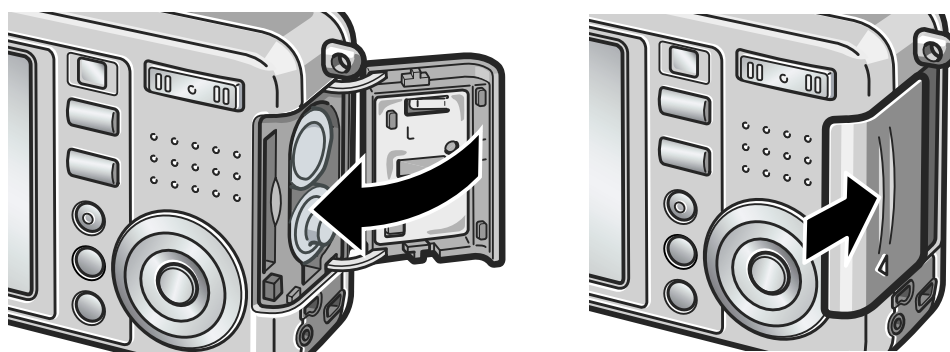
リチャージャブルバッテリーの充電時間	
DB-50	約 3 時間（25 ℃）

参照

SD メモリーカードを初期化するには→ P.108

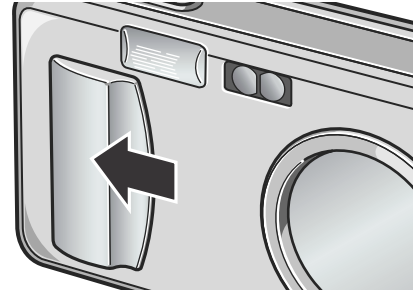
乾電池（市販）をセットする

すでにお使いのお客様は、セットする前に、電源がオフになっていることを確認してください。

1. バッテリー/ カードカバーをスライドさせて開ける

2. 電池の向きに気を付けて、電池を2本入れる

3. バッテリー/カードカバーを閉じて、スライドさせる

電源をオン・オフする

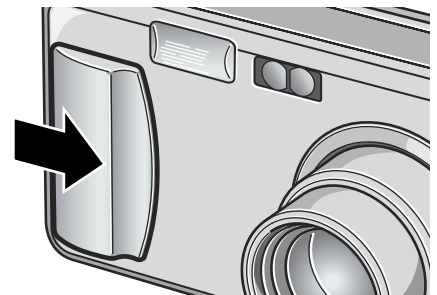
電源をオンにするには

1. 電源スイッチをスライドさせて、レンズカバーを開く

起動音が鳴り、オートフォーカス / フラッシュランプが、数秒間点滅します。

再生モードで使うときには

レンズカバーが閉じたままで再生ボタンを押すと、再生モードの状態で電源がオンになり、カメラを再生モードで使用できます。

電源をオフにするには

1. 電源スイッチをスライドさせて、レンズカバーを閉じる

注意

フラッシュを使用する設定になっている場合は、フラッシュを使用しない設定の場合よりも、電源をオンにしてから撮影可能状態になるまでの時間が、長くかかります。

メモ

オートパワーオフについて

設定した時間内にカメラのボタンを押す操作をしないと、節電のために自動的に電源がオフになります（オートパワーオフ）。引き続きカメラを使用したいときには、いったんレンズカバーを閉じ、もう一度レンズカバーをスライドさせて開けてください。

参照

オートパワーオフの設定を変えるには→ P.112

日時を合わせる

はじめて電源をオンにしたときは、日時の設定画面に進みます。

1. ▲▼◀▶ ボタンを押して、年・月・日・時・分を設定する

▲▼ で数値を変更し、◀▶ で項目を移動します。

出荷時の設定

2. [書式]で日時の書式を選ぶ

▲▼ で書式を選択します。

3. 画面の表示を確認し、OKボタンを押す

日時が設定されます。

メモ

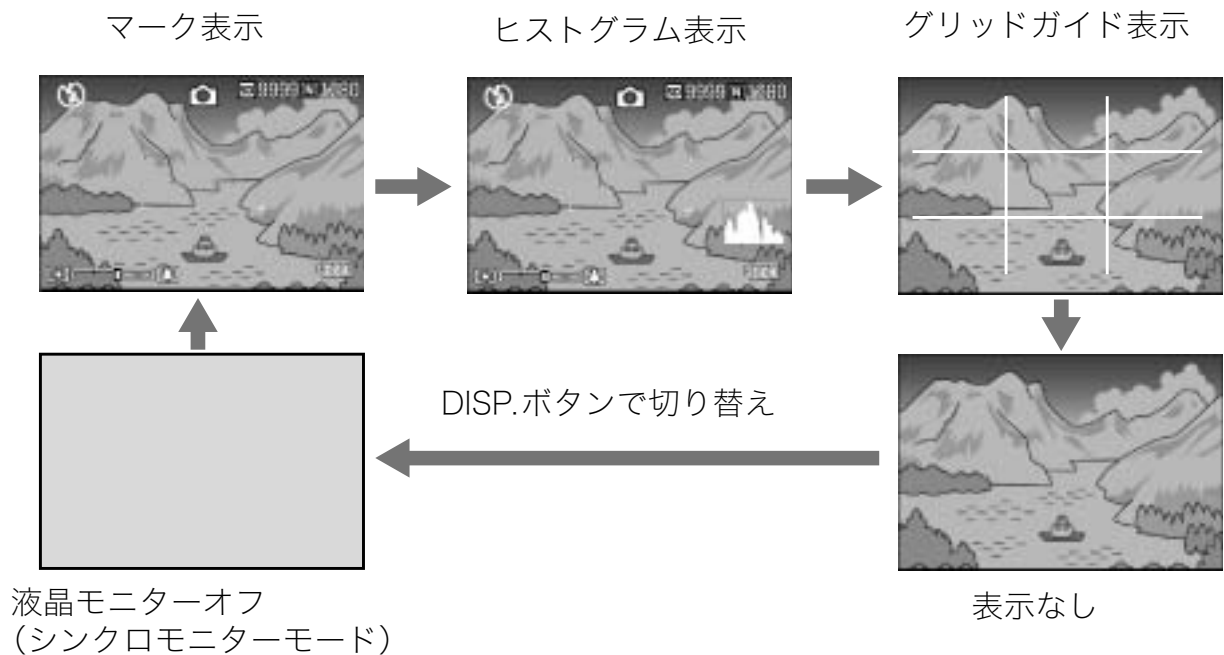
電池を取り出してから約 1 週間経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。再度、設定しなおしてください。

参照

・日時を修正するには→ P.117
・日時を入れて撮影するには→ P.75

DISP.

画面表示を切り替える

DISP. ボタンを押すと、マークの表示 / 非表示を切り替えるなど、画面の表示状態を変更することができます。
DISP.ボタンは、1回押すごとに、ヒストグラム表示→グリッドガイド表示→表示なし→液晶モニターオフ→通常のマーク表示→ヒストグラム表示→･･･と切り替わります。

画面の輝度を最大にする

DISP.ボタンを押し続けると、画面の輝度が最大になります。
輝度が最大のときに DISP. ボタンを押し続けると、LCD 輝度調節（P.110）で設定した明るさに戻ります。

用語説明

グリッドガイド表示
液晶モニターに、撮影時の補助線を表示します。実際の画像には記録されません。

シンクロモニターモード
カメラ操作時以外は、液晶モニターをオフにする機能です。節電に効果のあるモードです。シャッターボタンを半押しすると、液晶画面がオンになり、押し切ったあとに確認画面が表示され、液晶画面がオフになります。

ヒストグラム表示について

ヒストグラム表示にすると、液晶モニター画面の右下にヒストグラムが表示されます。
ヒストグラムは、縦軸は画素数、横軸は左からシャドー(暗い)、中間調、ハイライト(明るい)という明るさの階調を示したグラフです。
ヒストグラムを活用することによって、まわりの明るさによる液晶モニターの見えかたに影響されることなく、画像の明るさを判断できます。また、画像の白とびや黒つぶれを防ぐ助けになります。

ヒストグラムで、右側だけにグラフの山が盛り上がり、ほかには何もないとすると、ハイライト部だけの画素数が多い、露出オーバーの画像です。

また、左側だけにグラフの山があると、シャドー部だけの画素数が多い、露出がアンダーの画像ということになります。
露出補正時の参考にお使いください。

メモ

- ヒストグラム表示はあくまでも目安です。フラッシュを使用したときや、周囲が暗いときなど、撮影の状況によってはヒストグラムに表示された露出と撮影した画像が異なることがあります。
- 露出補正の範囲には限りがあります。そのため、調整しきれないことがあります。
- ヒストグラムは、必ずしも中央が高い山型の状態が適正となるわけではありません。
  例：意図的に露出オーバーや露出アンダーにするときなど

参照

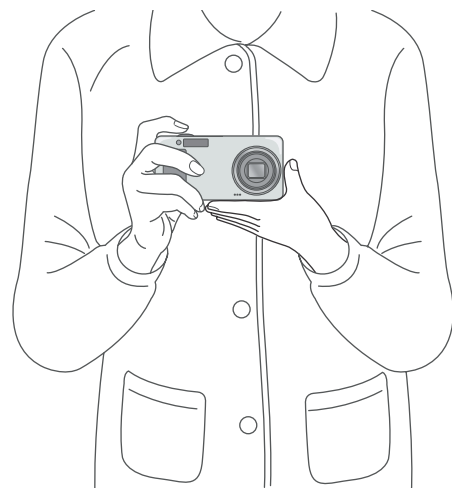
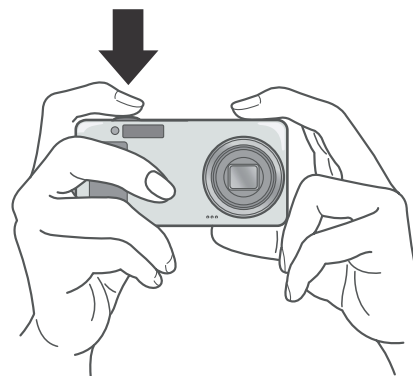
露出補正について→ P.76

撮影する

準備ができたら、さっそく撮影してみましょう。

カメラの構えかた

カメラは次のように正しく構えて撮影しましょう。

1. カメラを両手でしっかりと持ち、両ひじを軽く身体につける

2. シャッターボタンに指を当てる

メモ

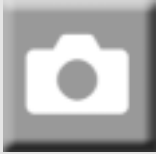
指や髪、ストラップなどがレンズやフラッシュ発光部にかからないようにしましょう。

手ブレを防ぐには

シャッターボタンを押したときにカメラが動いてしまうと、静止画が鮮明に写りません(手ブレ)。液晶モニターに のマークが表示されたときには、手ブレしやすい状態を示しています。
手ブレを防ぐには、カメラを両手でしっかりと持って撮影したり、三脚を使用したりします。
また、次のような場合には、手ブレが起きやすいので注意しましょう。

・フラッシュを使わずに、暗い場所で撮る。
・スローシンクロモード(→P.37)を使って、暗い場所で撮る。
・ズームを使って撮る。

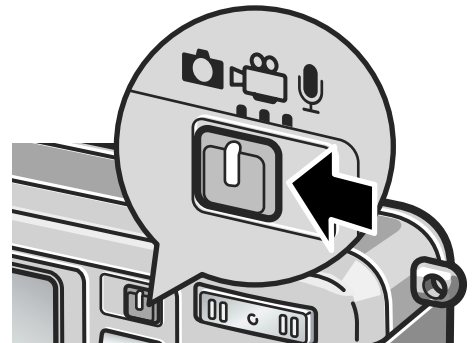
手ブレマーク( )が表示されたら、次のことを試してみましょう。

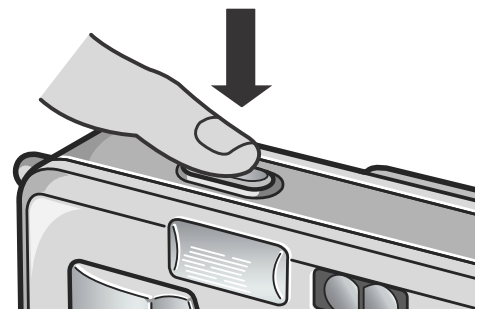
・フラッシュを使う(フラッシュモードを「強制発光」にしてみる)(→P.37)
・ISO感度を上げてみる(→P.79)
・セルフタイマーを使う(→P.84)

一瞬を逃さない撮りかた（一気押し）

シャッターボタンは２段階になっています。
一気にシャッターボタンを押しきる操作を“一気押し”、半分まで押す操作を“半押し”といいます。
一気押しで撮影すると、高速でピント調整が行われ、シャッターチャンスを逃さない撮影ができます。

1. 電源スイッチをスライドさせて、レンズカバーを開き、電源をオンにする

電源の入れかたについては、P.24 を参照してください。

2. モード切替スイッチを📷に合わせる

3. 液晶モニターを見ながら構図を決める

4. 被写体が中央にくるようにして、シャッターボタンを静かに押しきる

メモ

- 撮影された静止画は、一定時間液晶モニターに静止状態で表示され、記録が行われます。（→ P.115）
- 一気押しの場合には、手ブレを起こしやすくなります。カメラを両手でしっかりと持って撮影してください。

ピント合わせを確認して撮る（半押し）

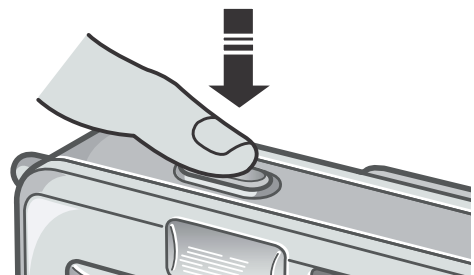
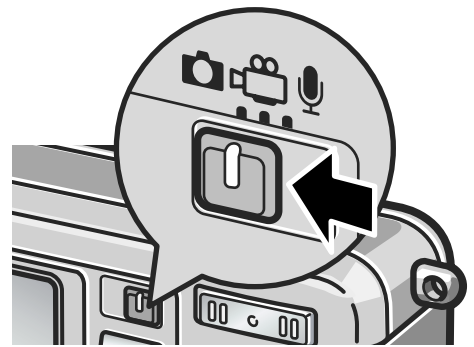
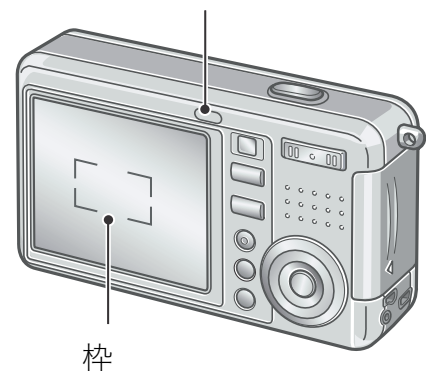
半押しを使う場合には、半押しによって自動的にピント合わせが行われ、さらにシャッターボタンを押しきったときに撮影できます。
被写体が中央にない場合の撮影時(→P.33)に便利です。

1. 電源スイッチをスライドさせて、レンズカバーを開き、電源をオンにする

電源の入れかたについては、P.24 を参照してください。

2. モード切替スイッチを📷に合わせる

3. 液晶モニターを見ながら構図を決める

4. 画面中央部でピント合わせが行われるので、写したい被写体が画面中央にくるようにして、シャッターボタンを半押しする

ピント合わせが行われ、露出、ホワイトバランスが固定されます。
ピントが合わない場合には、液晶モニター中央部の枠は、赤く点灯し、液晶モニター右上のオートフォーカス / フラッシュランプが緑色に点滅します。

	枠の色	オートフォーカス / フラッシュランプ
ピント合わせ前	白	消灯
ピントが合ったとき	緑	緑点灯
ピントが合わなかったとき	赤点滅	緑点滅

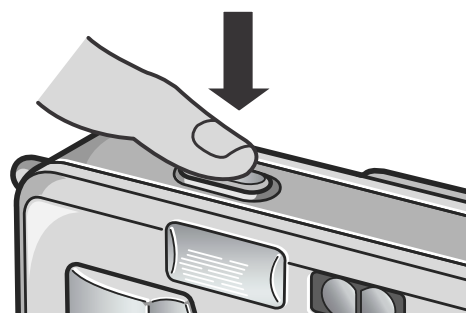
ピント合わせを行った部分に、緑色の枠が表示されます。

場合によっては、複数の枠が表示されます。

メモ

マクロ撮影時に、ピントを合わせたい位置を指定したい場合は、AF ターゲット移動機能を使います。（→ P.83）

5. シャッターボタンをそのまま静かに押しきる

撮影された静止画は、一瞬液晶モニターに静止状態で表示され、記録が行われます。

メモ

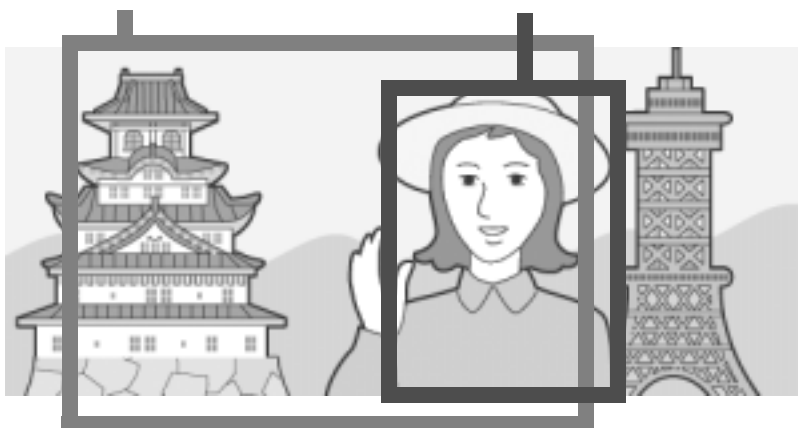
- 手ブレを防ぐために、シャッターボタンを押すときは、静かに押しましょう。
- マークが表示された場合には、手ブレしやすい状態であることを示しています。カメラを固定するようにしっかりと構えて、再度ピント合わせを行ってください。
- 暗い場所での撮影では、ピント合わせの性能（オートフォーカスの精度）を上げるため、撮影直前にフラッシュが予備発光します。フラッシュモードが発光禁止に設定されている場合には、予備発光は行われません。
- セットアップメニューで [画像確認時間] が OFF に設定されているときは、撮影された静止画が液晶モニターに表示されることはありません。

参照

画像確認時間を変更するには→ P.115

被写体が中央にないときには（フォーカスロックで撮る）

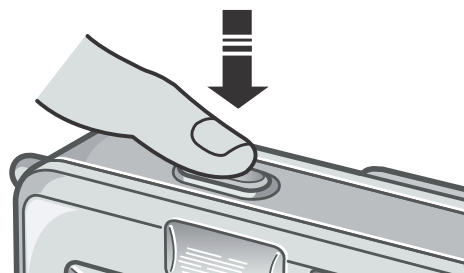
被写体が構図の中央にないときには、ピント調整後に構図を決めます（フォーカスロック）。

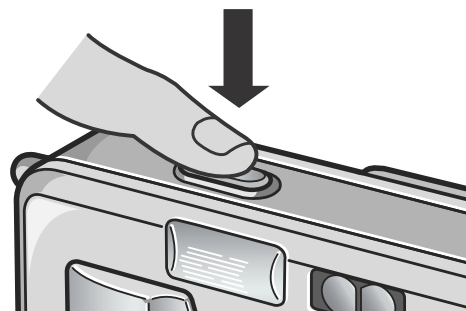
例：ピントを人物に合わせたまま、背景の城を撮影したいとき

最終的な静止画

1. 電源スイッチをスライドさせて、レンズカバーを開き、電源をオンにする

電源の入れかたについては、P.24 を参照してください。

2. モード切替スイッチを📷に合わせる

3. 被写体が液晶モニターの中央にくるようにして、シャッターボタンを半押しする

4. **半押しのままカメラを動かして構図を決める**

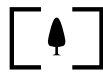
5. **シャッターボタンをそのまま静かに押しきる**

メモ

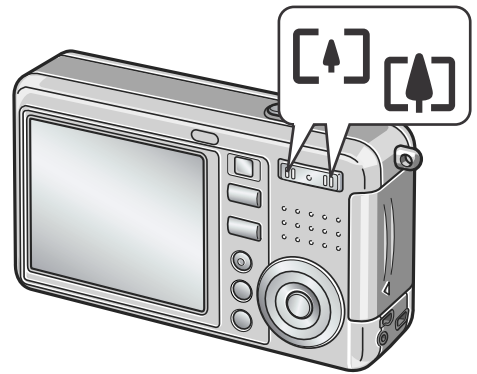
マクロ撮影時には、AF ターゲット移動機能を使うと、カメラを動かすことなく、フォーカスロックを行うことができます。三脚を使用している場合に便利です。

参照

・マクロ撮影について→ P.36
・AF ターゲット移動機能について→ P.83

ズームを使って撮る

[W](広角)/[T](望遠)ボタンを使うと、被写体までの距離を変えずに、被写体の大きさを変えて写すことができます。[W] ボタンを押すと、液晶モニターに見える範囲が広くなります。[T] ボタンを押すと、液晶モニターに見える被写体が大きくなります。

1. 撮影できる状態で、[W] ボタンや [T] ボタンを押す

液晶モニターのズームバーでズームの状況が確認できます。

2. 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

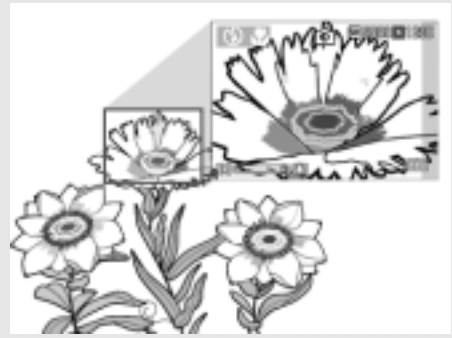
3. シャッターボタンを押し切る

メモ

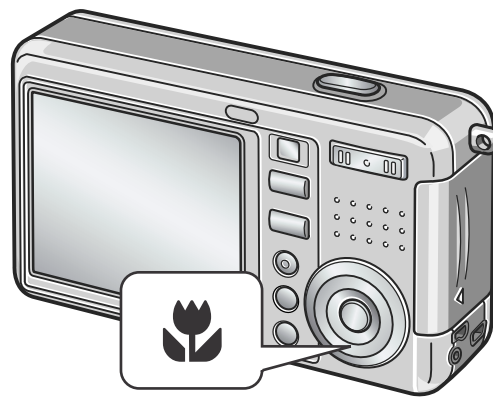
デジタルズームを使う

デジタルズームを行うと、[T](望遠)ボタンを押して設定した拡大倍率(最大 4.8 倍)より、さらに被写体を拡大できます(最大 3.6 倍まで)。
デジタルズームを使うには、ズームバーの表示で、ズームが [T](望遠)側の端まできたときに、いったん [T] ボタンから指を離し、再び [T] ボタンを押し続けます。

接写で撮る（マクロ撮影）

🌷(マクロ)ボタンを使うと、レンズを被写体に接近させて撮影できます(マクロ撮影)。
最短約 1cm まで近づけることができるので、小さな被写体の撮影に便利です。

1. 撮影できる状態で、🌷(マクロ)ボタンを押す

液晶モニター中央に一瞬 🌷 が大きく表示され消えた後、上部に 🌷 が表示されます。

2. 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

3. シャッターボタンを押し切る

マクロモードを解除するには、もう一度 🌷 ボタンを押します。

メモ

- ズームを使用しているときには、レンズ先端から次の距離までのマクロ撮影ができます。
  広角時：レンズ先端　約 1cm
  望遠時：レンズ先端　約 13cm
- マクロ撮影を行う場合には、液晶モニターで被写体を確認してください。
- マクロ撮影では、カメラを動かさずにカメラのボタン操作だけでフォーカスロックができる AF ターゲット移動機能が使用できます。三脚を使った撮影時に便利です。(→ P.83)

フラッシュを使う

⚡(フラッシュ)ボタンを使うと、フラッシュモードを切り替えることができます。購入時には、発光禁止に設定されています。
フラッシュの光が届く距離(レンズ先端より)は、ISO 設定がAUTOの状態で、約0.2～2.7m(広角)、約0.13～2.1m(望遠)です。

フラッシュモードの種類

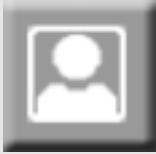
	発光禁止	フラッシュを発光しません。
AUTO	オート	逆光や被写体が暗いときには、自動的にフラッシュを発光します。
	赤目軽減	人物を撮影するときに、人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。
	強制発光	必ずフラッシュを発光します。
SLOW	スローシンクロ	シャッタースピードを遅くして発光します。人物を入れた夜景の撮影に適します。三脚の使用をおすすめします。

1. モード切替スイッチを 📷 に合わせる

2. ⚡(フラッシュ)ボタンを押して、フラッシュモードを切り替える

液晶モニター中央に、一瞬フラッシュモードのマークが大きく表示され消えた後、左上にフラッシュモードのマークが表示されます。
フラッシュ充電中はオートフォーカス / フラッシュランプが点滅します。充電が完了すると消灯し、撮影が可能になります。

メモ

- ⚡（フラッシュ）ボタンを押して変更するまで、設定内容は保持されます。
- 動画、連写では、発光禁止になります。
- 暗い場所での撮影では、ピント合わせの性能（オートフォーカスの精度）を上げるため、撮影直前にフラッシュが予備発光することがあります。フラッシュモードが発光禁止に設定されている場合には、予備発光は行われません。
- リチウムイオン電池以外をお使いのときは、フラッシュ充電中は、液晶モニターの表示が消えます。

シーンに合わせて撮る

SCENE モードを使うと、6 種類の静止画モードが選択でき、自動的にシーンに適した設定で撮影できます。

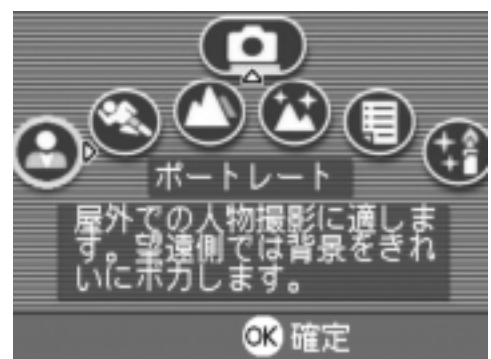
	ポートレート	人物を撮るときに使います。
	スポーツ	動きのあるものを撮るときに使います。
	遠景	緑や青空の多い風景を撮るときに使います。
	夜景	夜景を撮るときに使います。 人物を入れた撮影もできます。
	文字	会議でホワイトボードに書かれたメモを撮影するときなどに使用します。
	高感度	薄暗い場所で撮るときに使います。液晶モニターも見やすくなります。

1. モード切替スイッチを 📷 に合わせる

2. ▲ボタンを押す

静止画モード選択画面が表示されます。

3. ▼ボタンを押して、SCENEメニューに移動する

4. ◀▶ボタンを押して、オレンジ色枠表示を移動し、モードを選ぶ

5. OK ボタンを押す

液晶モニター上部にモードのマークが表示されます。

6. シャッターボタンを押す

▲ ボタンを押すと、静止画モード選択画面が表示され、モードを変更できます。
通常撮影モードに戻るには、静止画モード選択画面で ▲ ボタンを押して [通常撮影] を選び、OK ボタンを押します。

メモ

夜景モードでは、以下の条件がそろったときにフラッシュを発光します。
- フラッシュ設定がオートのとき
- 周囲が暗くフラッシュが必要と判断したとき
- 近い距離に人物などの被写体があるとき

参照

- 画質や画像サイズを変更したいときには→ P.60
- 文字のモードで、文字の濃淡を変更したいときには→ P.82
- SCENE モード時の撮影設定メニュー項目一覧→ P.162
- SCENE モード時の機能の組み合わせについて→ P.161

再生する

撮った静止画をすぐ確認する（クイックレビュー）

撮った静止画は、液晶モニターを使ってすぐに見ることができます。うまく撮れていなかったときには、その場で削除できます。

1. 撮影モードのまま、(クイックレビュー)ボタンを押す

液晶モニターに最後に撮った静止画が表示されます。

クイックレビュー時の動作	
ボタン	撮影モードに戻ります。
ボタン	静止画を拡大表示します。 拡大表示中は、▲▼◀▶ ボタンで表示箇所を移動することができます。
ボタン	ボタンで拡大した静止画を縮小表示します。
OK ボタン	ボタンで拡大した静止画を最大倍率で拡大して表示します。 最大倍率で表示されているときは、全体表示に戻します。
ボタン	表示中のファイルを削除することができます。ボタンを押すと確認する画面が表示されますので、[削除]を選び OK ボタンを押してください。

メモ

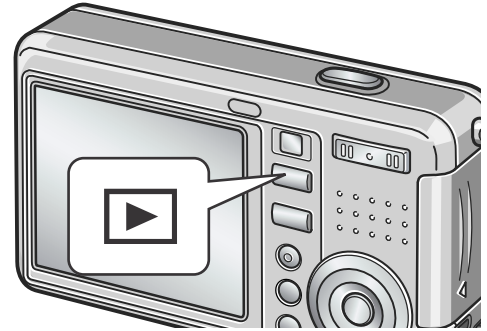
- いったん電源をオフにすると、静止画モードで ボタンを押しても、撮影した静止画は表示されません。
- 文字モード（→ P.38）で撮影した静止画をクイックレビューで表示すると、実際に記録された静止画より若干画質が低い状態で表示されることがあります。

撮った静止画を見る

再生モードを使うと、撮った静止画を確認することができます。削除、拡大表示もできます。

1. 再生ボタンを押す

再生モードに切り替わり、最後に撮った静止画が表示されます。
◀▶ ボタンで、順番に静止画を見ることができます。
再生モードから静止画モード(または動画モード/音声モード)に戻るには、もう一度再生ボタンを押します。

前へ　次へ

メモ

再生モードでの電源オンについて

電源がオフの状態（レンズカバーが閉じた状態）で再生ボタンを押すと、レンズカバーは閉じたまま、再生モードで電源がオンになります。
撮影を行わない場合には、この状態で静止画などの再生やセットアップメニューでの設定ができます。

再生元について

SD メモリーカードをセットしていないときには、内蔵メモリーから再生され、SD メモリーカードをセットしているときには SD メモリーカードから再生されます。

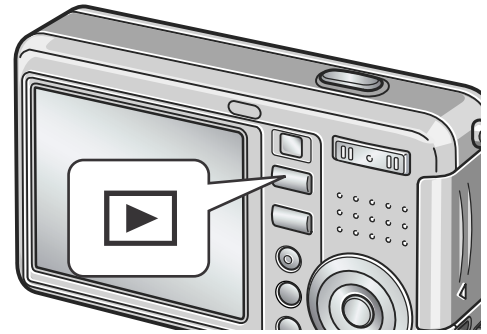
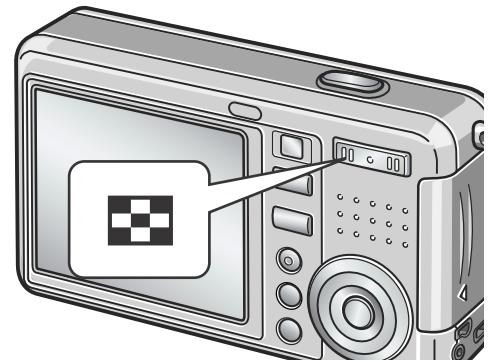
参照

- 動画を再生するには→ P.91
- 音声を再生するには→ P.93
- 音声付き静止画を再生するには→ P.74

3コマ表示で再生する

再生画面は3コマ表示にすることができます。3コマ表示では、静止画を選択して、その静止画を1枚表示にしたり、削除することができます。

1. 再生ボタンを押す

最後に撮った静止画が表示されます。

2. ▦(サムネイル表示)ボタンを押す

3コマ表示に変わります。中央の大きなコマが現在選択されている静止画です。
文字モードで撮影したファイルは、青い四角で表示されます。

一枚表示するには

1. ◀▶ ボタンを押して静止画を選ぶ

2. 🔍(拡大表示)ボタン、またはOKボタンを押す

再生時の画面切り替えについて

再生画面は次のように切り替わります。

メモ

3 コマ表示で次の操作を行った場合、通常の再生画面（1 枚表示）に戻り、その操作を実行します。

- 削除する（P.48）
- メニューを表示する（P.94）
- 動画を再生する（P.91）
- 音声を再生する（P.93）

参照

いらない静止画を削除するには→ P.48

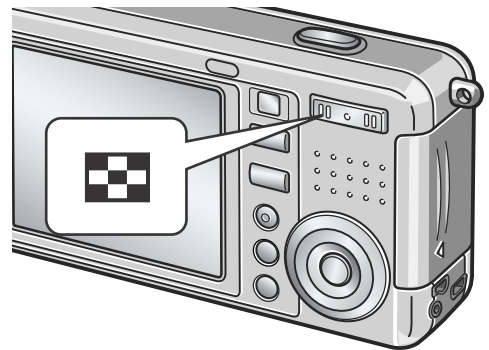
一覧にして見る（サムネイル表示）

撮った静止画を一覧(12 枚ごと)にして見ることができます。
選択されている静止画を削除したり、1 枚表示したりすることができます。

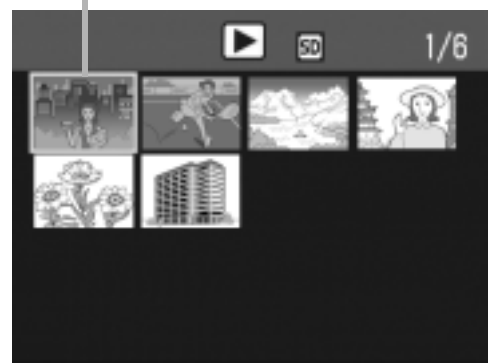
1. 再生ボタンを押す

最後に撮った静止画が表示されます。

2. (サムネイル表示)ボタンを押す

3 コマ表示に変わります。

3. (サムネイル表示)ボタンを押す

画面が 12 分割されて、静止画が 12 枚表示されます。
音声ファイルと文字モードで撮影したファイルは、青い四角で表示されます。

選択されている静止画

一枚表示するには

1. ▲▼◀▶ ボタンを押して静止画を選ぶ

2. (拡大表示)ボタンを2回押す、またはOKボタンを押す

参照

・選択されている静止画を削除するには→ P.49
・3 枚表示するには→ P.42

静止画を拡大表示する

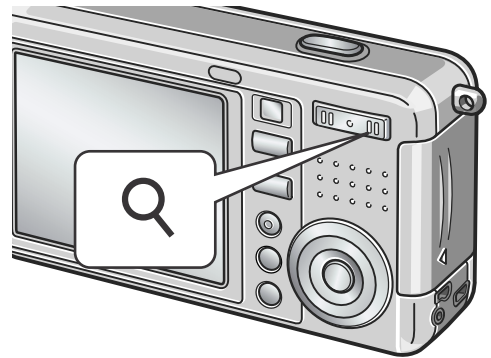
表示している静止画を拡大表示することができます。
画像サイズが2560×1920と2048×1536のときは8倍まで、1280×960のときは6.7倍まで、640×480では3.4倍まで拡大できます。

1. 再生ボタンを押す

最後に撮った静止画が表示されます。

2. ◀▶ボタンを押して拡大表示したい静止画を表示する

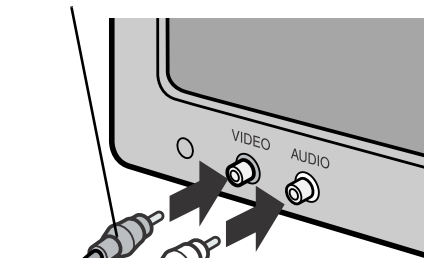
3. 🔍(拡大表示)ボタンを押す

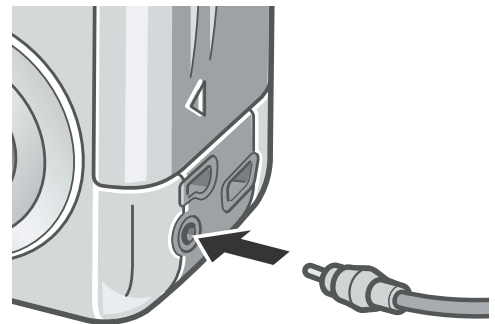
静止画が拡大されます。

画像拡大時の動作	
🔍 ボタン	静止画を拡大表示します。 拡大表示中は、▲▼◀▶ ボタンで表示箇所を移動することができます。
⊞ ボタン	🔍 ボタンで拡大した静止画を縮小表示します。
OK ボタン	静止画を最大倍率で拡大して表示します。 最大倍率で表示されているときは、元の大きさに戻します。

テレビの画面で見る

撮影した静止画を、テレビの画面に表示して見ることができます。テレビの画面には液晶モニターと同じ内容が表示されます。
テレビの画面に表示するには、カメラに付属しているAVケーブルを使ってカメラとテレビを接続します。
静止画をテレビで見るには、次のように操作します。

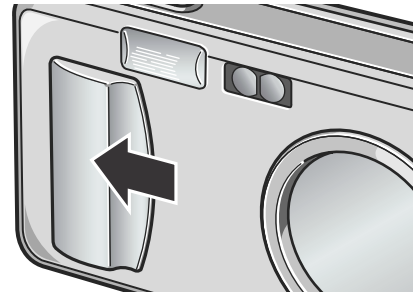
1. テレビのビデオ入力端子にAVケーブルをしっかり接続する

このときAVケーブルの白色のプラグをテレビの音声入力端子(白色)に、黄色のプラグをテレビの映像入力端子(黄色)に差し込んでください。

2. カメラの電源がオフになっていることを確認する

3. ビデオ出力端子にAVケーブルをしっかり接続する

4. テレビを「ビデオ」が表示できる状態にする(入力モードを「ビデオ」にする)

詳しくはテレビの説明書を参照してください。

5. 電源スイッチをスライドさせてレンズカバーを開くか、再生ボタンを押して電源をオンにする

AV ケーブルで本機を接続している間は液晶モニターの表示はオフ(消えた状態)になり、スピーカーの音が消えます。

メモ

・ビデオの入力端子に AV ケーブルを接続して、撮影した内容をビデオに録画することもできます。

・テレビなどの機器での再生方式は NTSC 方式（日本などで使用されている）に設定されています。接続する機器が PAL 方式（ヨーロッパ等で使用されている）の場合には、カメラのセットアップメニューで PAL 方式に設定してから接続してください。

参照

ビデオ方式の設定を変更する→ P.119

削除する

いらない静止画を消す

不要な静止画や失敗した静止画を、SD メモリーカードまたは内蔵メモリー内から削除することができます。
次の３種類の方法で削除できます。
・１枚（1 ファイル）削除する
・すべてを一度に削除する
・複数を選択して一度に削除する

1. 再生ボタンを押す

2. 1枚削除の場合は、◀▶ボタンを使って削除したい静止画を表示する

3. 🗑（削除）ボタンを押す

4. ▲▼ボタンを押して、[1 ファイル削除] か [全削除] を選ぶ

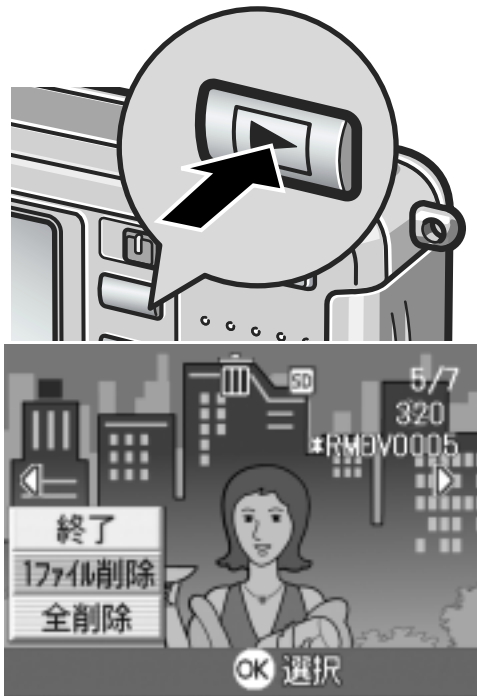
[1 ファイル削除] の場合には、◀▶ ボタンを使って削除する静止画を変更できます。

5. OK ボタンを押す

[1 ファイル削除] の場合

処理中のメッセージが表示され、削除が完了すると、手順4.の画面に戻る

[全削除] の場合

削除の確認画面が表示されるので、▶ボタンを押して [はい] を選び、OK ボタンを押す

メモ

3 コマ表示の状態（→ P.42）で、削除したい静止画を中央に表示し、🗑（削除）ボタンを押しても、静止画を削除できます。

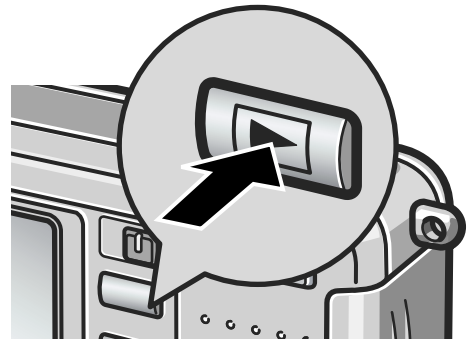
複数を一度に削除する

1. 再生ボタンを押す

2. ⊞(サムネイル表示)ボタンを2回押す

画面が12分割されて、静止画が12枚表示されます。

3. ▲▼◀▶ボタンを押して、削除したい静止画を選び、🗑(削除)ボタンを押す

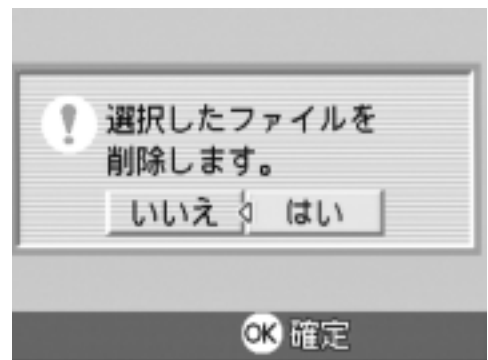
静止画の左上にゴミ箱のマークが表示されます。

4. 手順3.を繰り返して、削除したい静止画をすべて選択する

間違えて選択したときには、その静止画で 🗑（削除）ボタンを再度押すと解除できます。

5. OKボタンを押す

6. ▶ボタンを押して[はい]を選び、OKボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、削除が完了すると、一覧の画面に戻ります。

2章

いろいろな撮りかた・再生をしたいとき

ダイレクトプリントで印刷する........................ 52
いろいろな撮りかた 57
連写で撮る.. 85
動画を撮影・再生する 89
音声を記録・再生する 92
再生モード時のその他の機能........................... 94

ダイレクトプリントで印刷する

ダイレクトプリント機能について

ダイレクトプリント機能は、カメラとプリンターを直接USB ケーブルで接続して、カメラ内の静止画をプリンターから印刷する機能です。撮影した静止画を、パソコンを使わずに手軽に印刷できます。

注意

- 動画（.AVI）は、印刷できません。音声付き静止画（.JPG と .WAV）の場合には、静止画（.JPG）のみ印刷されます。
- 文字モード画像（TIFF）は、ご使用のプリンターによっては印刷できない場合があります。また、印刷できても印刷内容は保証できません。

メモ

- 本カメラでは、ダイレクトプリントの統一規格である PictBridge（ピクトブリッジ）を採用しています。
- ダイレクトプリント機能を使うには、プリンターが PictBridge に対応している必要があります。ご使用のプリンターの説明書でご確認ください。
- カメラのセットアップメニュー［USB 接続］（P.122）が［マスストレージ］のままでは、ご使用のプリンターによってはダイレクトプリントできない場合があります。その場合は、［オリジナル］を選択して下さい。

カメラとプリンターを接続する

カメラとプリンターの接続には、付属のUSBケーブルを使います。

1. カメラの電源がオフになっていることを確認する

2. プリンターの電源がオフになっていることを確認する

プリンターには用紙をセットして、印刷できる状態にしておきます。

3. 付属の専用USBケーブルの一方をプリンターのUSBポートに接続する

4. 付属の専用USBケーブルのもう一方を、カメラのUSB端子に接続する

5. プリンターの電源をオンにする

メモ

カメラとプリンターの接続を外すときには、カメラとプリンターの電源がオフになっていることを確認し、USB ケーブルをカメラとプリンターから外してください。

静止画を印刷する

PictBridge 対応プリンターへ、カメラから静止画を送り、印刷することができます。
SD メモリーカードをセットしていないときには、内蔵メモリー内の静止画が印刷され、SD メモリーカードをセットしているときにはSDメモリーカード内の静止画が印刷されます。

注意

印刷が完了するまで、USB ケーブルを外さないでください。

メモ

送信中に「プリンターエラー」のメッセージが表示された場合には、プリンターの状態を確認し、印刷できる状態になるように対処してください。

1 枚またはすべての静止画を印刷する

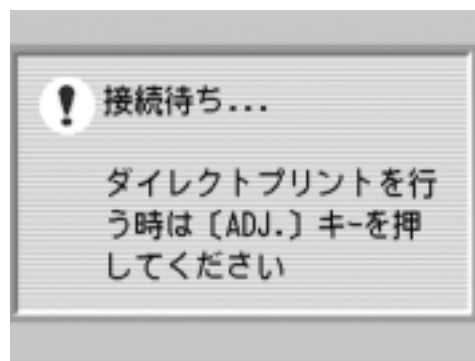
1. プリンターが印刷できる状態であることを確認する

「接続待ち」画面が表示されます。

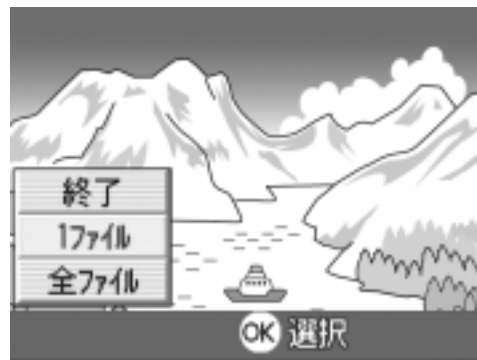
2. ADJ.ボタンを押す

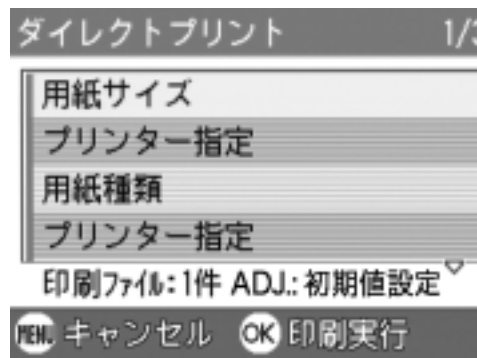
プリンターとカメラが接続されると、ダイレクトプリント再生モードの画面が表示されます。

3. ◀▶ボタンで、印刷したい静止画を表示する

4. ADJ.ボタンを押す

5. ▲▼ボタンを押して、[1ファイル]または[全ファイル]を選ぶ

6. OKボタンを押す

ダイレクトプリントのメニューが表示されます。

7. ▲▼ボタンで項目を選び、▶ボタンで詳細項目を表示する

選択できる項目がない場合は、▶ボタンを押しても詳細項目は表示されません。

選択できる項目は次のとおりです。各項目は、プリンターが対応しているときのみ表示されます。

項目名	働き
用紙サイズ	用紙のサイズを設定します。
用紙種類	用紙の種類を設定します。
レイアウト	1枚に何コマ印刷するかを設定します。
日付印字	日付（撮影日）の印字の有無を設定します。日付の書式は、**SETUP**モードの日時設定で設定した書式になります。
ファイル名印字	ファイル名を印刷するかどうかを設定します。
印刷補正	画像データ（静止画）をプリンター側で最適化して印刷するかどうかを設定します。
画像印刷サイズ	印刷する画像のサイズを設定します。
印刷品質	印刷品質を設定します。

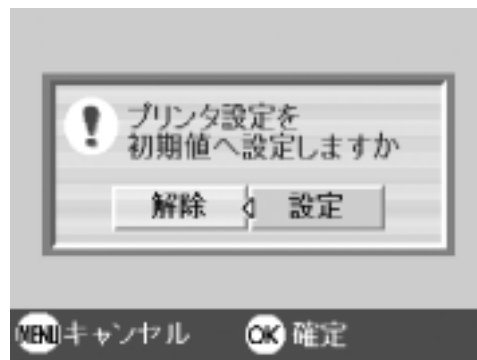
8. ▲▼ボタンで詳細項目を選び、OKボタンを押す

ダイレクトプリントのメニューに戻ります。

9. 手順7.と8.を繰り返して、変更したい項目の値を変更する

メモ

手順 7. の画面で ADJ. ボタンを押すと、設定した項目を次回接続時の初期値に設定することができます。右の画面が出たら、[設定] を選び、OK ボタンを押してください。

[解除] を選ぶと、次回接続時の各項目の設定は、最後に設定した値に戻ります。

10. OK**ボタンを押す**

静止画がプリンターに送られ、「送信中」画面が表示されます。
送信を中断したい場合には、MENU ボタンを押してください。

送信が完了すると、カメラはダイレクトプリント再生モードの画面に戻り、プリンターで印刷が開始されます。

複数の静止画を印刷する

1. プリンターが印刷できる状態であることを確認する

「接続待ち」画面が表示されます。

2. ADJ.ボタンを押す

プリンターとカメラが接続されると、ダイレクトプリント再生モードの画面が表示されます。

3. ▦(サムネイル表示)ボタンを２回押す

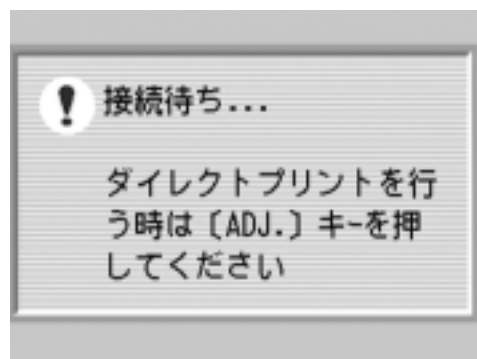
画面が 12 分割されて、静止画が 12 枚表示されます。

4. ▲▼◀▶ボタンを押して、印刷したい静止画を選ぶ

5. OK**ボタンを押す**

6. ▲▼ボタンを押して印刷枚数を指定する

▲ ボタンを押すと枚数が増え、▼ ボタンを押すと枚数が減ります。

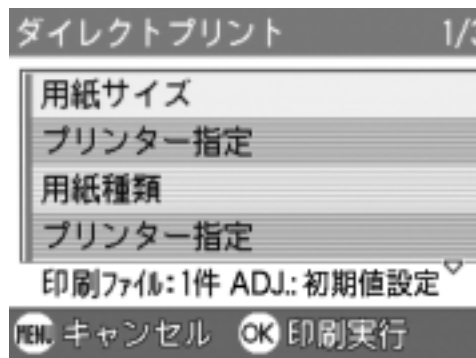
7. ◀▶ボタンを押して印刷したい静止画を選ぶ

8. ▲▼ボタンを押して印刷枚数を選ぶ

9. 手順7.と8.を繰り返して、印刷したい静止画をすべて選択して、印刷枚数を指定する

10. MENU ボタンを押す

ダイレクトプリントのメニューが表示されます。

11. ▲▼ボタンで項目を選び、▶ボタンで詳細項目を表示する

選択できる項目がない場合は、▶ ボタンを押しても詳細項目は表示されません。
選択できる項目については、P.54 をご覧ください。

12. ▲▼ボタンで詳細項目を選び、OK ボタンを押す

ダイレクトプリントのメニューに戻ります。

13. 手順11.と12.を繰り返して、変更したい項目の値を変更する

14. OK ボタンを押す

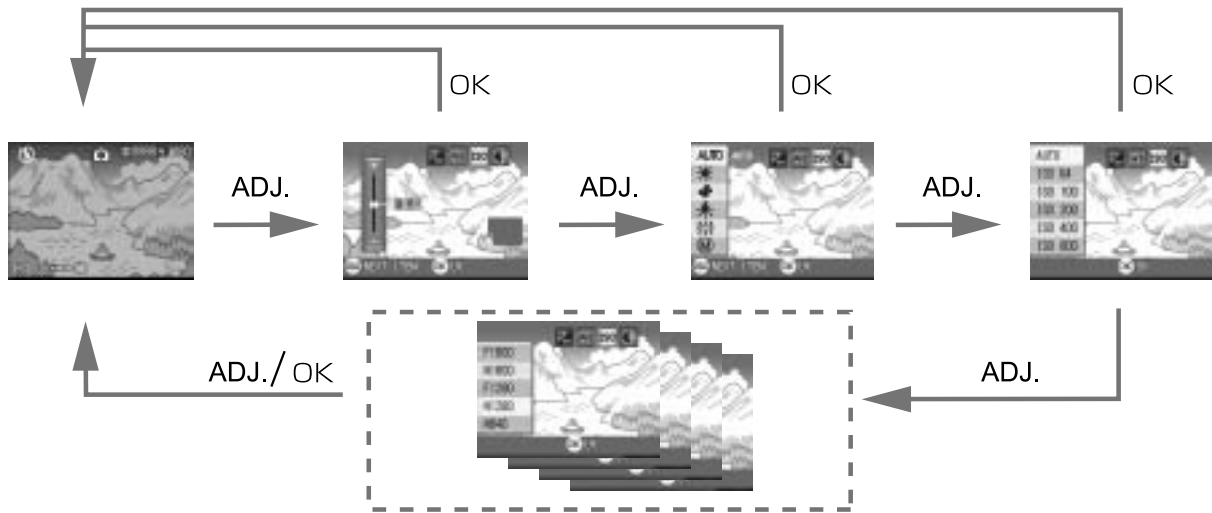
静止画がプリンターに送られ、「送信中」画面が表示されます。
送信を中断したい場合には、MENU ボタンを押してください。
すべての静止画の送信が完了すると、カメラはダイレクトプリント再生モードの画面に戻ります。

メモ

- プリンターのマーク（🖶）が表示されている画像が印刷されます。印刷を中止した場合はプリンターのマークの表示を確認してください。
- 1枚の用紙に、同じ静止画を複数枚印刷することもできます。
- 選択できる項目はプリンター側の機能により異なります。
- 詳細項目で「プリンター指定」を選ぶと、プリンター側の設定値（初期値）で印刷されます。

いろいろな撮りかた

ADJ.（アジャスト）ボタンの使いかた

ADJ. ボタンを使うと、少ないボタン操作で、露出補正、ホワイトバランス、ISO 感度の設定ができます。また、ADJ. ボタンには、露出補正、ホワイトバランス、ISO 感度以外の機能を登録することができます。使用頻度の高い機能を登録しておけば、少ないボタン操作で設定ができるようになり、便利です。

機能を登録する操作は、セットアップメニュー（P.106）で行います。

ADJ. ボタンで設定できる項目

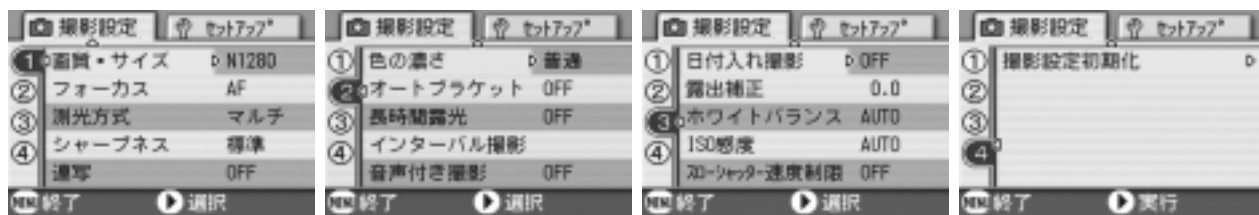
SCENE モード、動画モード時には、ADJ. ボタンで設定できる項目が異なります。

静止画モード	露出補正、ホワイトバランス、ISO 感度
動画モード	ホワイトバランス
SCENE モード [文字]	文字濃度
SCENE モード [文字] 以外	露出補正、ホワイトバランス

参照

・露出補正→ P.76
・ホワイトバランス→ P.77
・ISO 感度→ P.79
・文字濃度→ P.82
・ADJ. ボタンに機能を設定するには→ P.111

撮影設定メニューについて

撮影設定メニューを使うと、次の表にある項目を設定して、撮影することができます。

※下表の選択肢の内、[ ] 囲みを付けている値は、購入時の初期設定値です。

設定項目	選択肢	参照
画質・サイズ	F2560, N2560, F2048, N2048, F1280,[N1280], N640	P.60
フォーカス	[AF], MF, スナップ , ∞	P.62
測光方式	[マルチ], 中央 , スポット	P.65
シャープネス	シャープ , [標準], ソフト	P.66
連写	[OFF], 連写 , S 連写 , M 連写	P.85
色の濃さ	[普通], 濃い , 薄い、白黒	P.67
オートブラケット	[OFF], ON, WB-BKT	P.68
長時間露光	[OFF], 1 秒 , 2 秒 , 4 秒 , 8 秒	P.71
インターバル撮影	[0 秒], 5 秒～ 3 時間	P.72
音声付き撮影	[OFF], ON	P.74
日付入れ撮影	[OFF], 日付 , 日時	P.75
露出補正	-2.0 ～ +2.0	P.76
ホワイトバランス	[AUTO], （屋外）,（曇天）,（白熱灯）,（白熱灯 2）,（蛍光灯）,（ワンプッシュ）	P.77
ISO 感度	[AUTO], ISO64, ISO100, ISO200, ISO400, ISO800	P.79
スローシャッター速度制限	[OFF], ON	P.80
撮影設定初期化	――――	P.81

メモ

撮影設定メニューからセットアップメニューを表示することができます。詳しくは、P.106 を参照してください。

参照

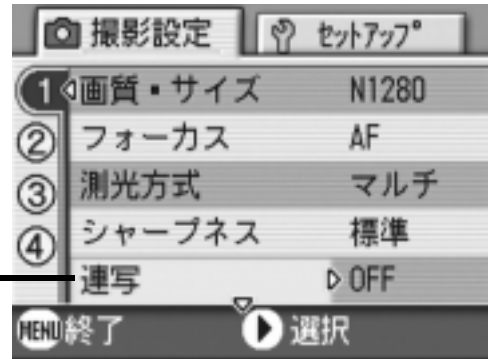
動画モード、SCENE モード時の撮影設定メニュー項目について→ P.162

撮影設定メニューの操作方法

1. **撮影できる状態で、**MENU **ボタンを押す**

撮影設定メニューが表示されます。

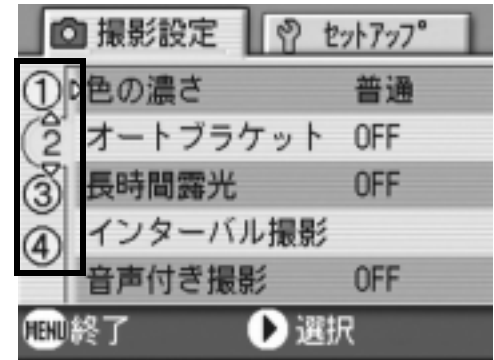
2. **▲▼ボタンを押して、設定項目を選ぶ**

設定項目は４画面あります。

一番下の項目で ▼ ボタンを押すと、
次の画面が表示されます。

画面番号で画面を切り替えるには

① ◀ ボタンを押すと、画面左側にある画面番号が選択できるようになります。

② 画面番号が選択できる状態で ▲▼ ボタンを押すと、画面を切り替えることができます。

③ 画面を切り替えたら、▶ ボタンを押して、設定項目の選択へ戻ります。

3. **設定項目を選択したら、**OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**

設定項目の選択肢が表示されます。

4. **▲▼ボタンを押して、選択肢を選ぶ**

5. OK **ボタンまたは◀ボタンを押す**

6. **手順5.で◀ボタンを押した場合には、**MENU **ボタンを押す**

撮影設定メニューが消え、撮影できます。

画質モード / 画像サイズを選ぶには（画質・サイズ）

記録された静止画のファイルの大きさは、画質モードと画像サイズの設定によって変わります。
画質モードには、N(Normal)、F(Fine)の２種類があります。

選択できるモードの種類		
マーク	モード	内容
N	Normal モード	画像の圧縮率は高くなりファイルのサイズは小さくなります。通常は、このモードで撮影します。
F	Fine モード	画像の圧縮率は低くなりファイルのサイズは大きくなりますが、Normal モードより高画質になります。

画質モードと画像サイズの組み合わせ

		サイズ			
		2560 × 1920	2048 × 1536	1280 × 960	640 × 480
モード	F（Fine）	F2560	F2048	F1280	ー
	N（Normal）	N2560	N2048	N1280	N640
用途		パソコンに取り込んで、画像を補正したり、大きく印刷したりする場合に適しています。	大きく印刷する場合に適しています。	枚数を多く撮る場合に適しています。	1 枚の SD メモリーカードに最も多くの枚数を記録できます。メールに添付したり、ホームページ用の画像に使用する場合に適しています。

太枠内は画面に表示されるときの名称です。

動画モードの場合は、320 × 240、160 × 120から選択できます。

参照

内蔵メモリー /SD メモリーカードに記録できる枚数→ P.164

1. **モード切替スイッチを 📷 に合わせる**

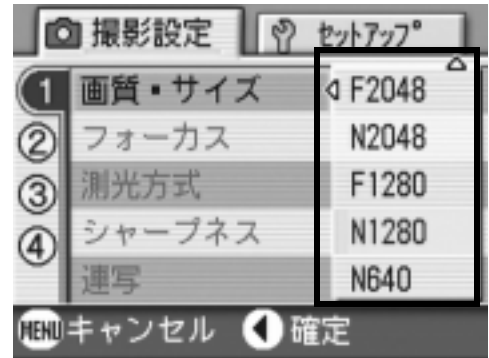
2. MENU **ボタンを押す**

撮影設定メニューが表示されます。

3. **▼ボタンを押して[画質・サイズ]を選び、**OK**ボタンまたは▶ボタンを押す**

4. **▲▼ボタンを押して、画質・サイズを選ぶ**

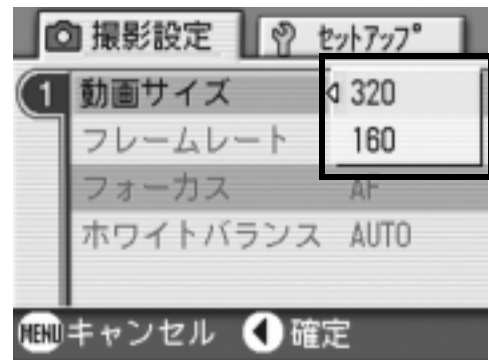
5. OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**

画質・サイズの設定が完了します。

静止画モードのとき

6. **手順5.で◀ボタンを押した場合には、**MENU **ボタンを押す**

撮影設定メニューが消え、画面に設定値が表示されます。
以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

動画モードのとき

2

いろいろな撮りかた・再生をしたいとき

手動でピントを合わせて撮影する（フォーカス）

オートフォーカスでピントが合わないときには、手動でピントを合わせること（マニュアルフォーカス）ができます。
マニュアルフォーカスでは、撮影距離を固定して撮影することができます。固定の場合には、スナップまたは無限遠（∞）のいずれかに固定できます。

メモ

- SCENE モードではマニュアルフォーカスは使用できません。
- マニュアルフォーカスでは、マクロモードにしなくても、マクロ撮影が必要な距離の被写体にピントを合わせることができます。

マニュアルフォーカスを設定する

1. **モード切替スイッチを 📷 に合わせる**
2. MENU **ボタンを押す**
   撮影設定メニューが表示されます。
3. **▼ボタンを押して[フォーカス]を選び、**OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**
4. **▲▼ボタンを押して、[MF]を選ぶ**
5. OK **ボタンまたは◀ボタンを押す**
   フォーカスの設定が完了します。

6. **手順5.で◀ボタンを押した場合には、**MENU **ボタンを押す**
   メニューが消え、画面に MF と表示されます。

マニュアルフォーカスで撮影する

1. 必要に応じて、▼ ボタンを押す

▼ ボタンを押すと拡大表示になり、ピントが合わせやすくなります。

2. OK ボタンを押して、フォーカスバー/ズームバー表示をフォーカスバー表示にする

OK ボタンを押すたびに、フォーカスバー表示とズームバー表示が切り替わります。

3. [▲][▲]ボタンを押してピントを合わせる

[▲] ボタンを押すと遠距離方向に移動します。
[▲] ボタンを押すと近距離方向に移動します。
以降、設定を変更するまで、このマニュアルフォーカスで撮影されます。

4. シャッターボタンを押して撮影する

メモ

- ズームバー表示のときには、[▲][▲] ボタンでズームバーを操作することができます。
- インターバル撮影時は、OK ボタンでのズーム操作、マニュアルフォーカス操作の切り替えはできません。

撮影距離を固定して撮影する

撮影距離を、近距離または無限遠に固定して、撮影することができます。
無限遠は、遠くの風景などを撮影するときに使います。
撮影距離を固定して撮影するには、次のように操作します。

1. **モード切替スイッチを 📷 に合わせる**
2. MENU **ボタンを押す**

   撮影設定メニューが表示されます。
3. **▼ボタンを押して[フォーカス]を選び、**OK**ボタンまたは▶ボタンを押す**
4. **▲▼ボタンを押して、[スナップ]または[∞](無限遠)を選ぶ**

   [スナップ] を選択すると、約 2.5m に固定されます。
   [∞] を選択すると、無限遠に固定されます。

5. OK **ボタンまたは◀ボタンを押す**

   フォーカスの設定が完了します。
6. **手順5.で◀ボタンを押した場合には** MENU **ボタンを押す**

   撮影設定メニューが消え、画面に設定値が表示されます。
   以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

測光方式を変えるには（測光方式）

露出値を決めるときの測光方式（どの範囲で測光するか）を変更することができます。
測光方式には、マルチ、中央、スポットの３種類があります。

選択できるモードの種類		
マーク	モード	内容
（マーク表示なし）	マルチ	撮影範囲全体を 256 に分割して、それぞれで測光して総合的に判断します。
	中央	中央部分に重点を置きつつ、全体を測光して判断します。 中央と周辺の明るさが異なるときに使います。
	スポット	中央部分のみで測光して判断します。 中央の明るさに強制的に合わせたいときに使います。逆光やコントラストの差が著しいときなどに役立ちます。

1. モード切替スイッチを 📷 に合わせる

2. MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが表示されます。

3. ▼ボタンを押して[測光方式]を選びOKボタンまたは▶ボタンを押す

4. ▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ

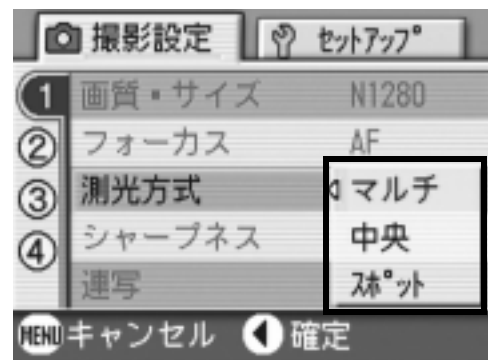
5. OK ボタンまたは◀ボタンを押す

測光方式の設定が完了します。

6. 手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが消え、画面に設定値が表示されます。
以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

2

いろいろな撮りかた・再生をしたいとき

静止画の質感を変えるには（シャープネス）

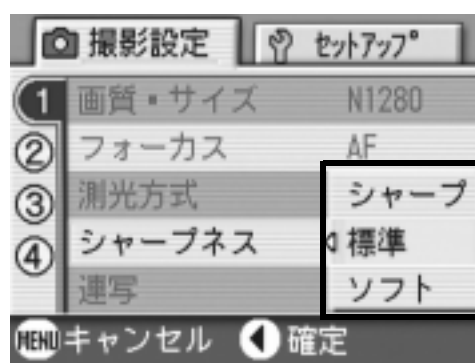
静止画の質感をシャープにしたりソフトにしたりすることができます。

1. **モード切替スイッチを 📷 に合わせる**
2. MENU **ボタンを押す**

   撮影設定メニューが表示されます。
3. **▼ボタンを押して[シャープネス]を選び、**OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**
4. **▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ**

5. OK **ボタンまたは◀ボタンを押す**

   シャープネスの設定が完了します。
6. **手順5.で◀ボタンを押した場合には、**MENU **ボタンを押す**

   撮影設定メニューが消え、画面に設定値が表示されます。
   以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

色の濃さを設定するには（色の濃さ）

撮影する静止画の色の濃さを、普通、濃い、薄い、白黒の 4 種類から選択できます。

1. **モード切替スイッチを 📷 に合わせる**

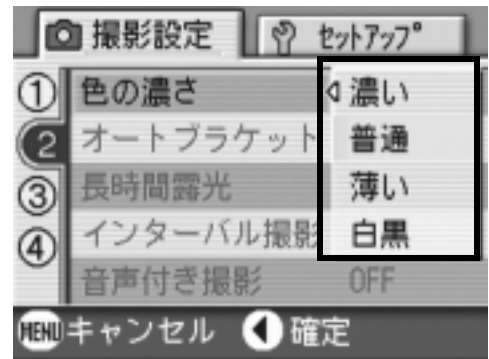
2. MENU **ボタンを押す**

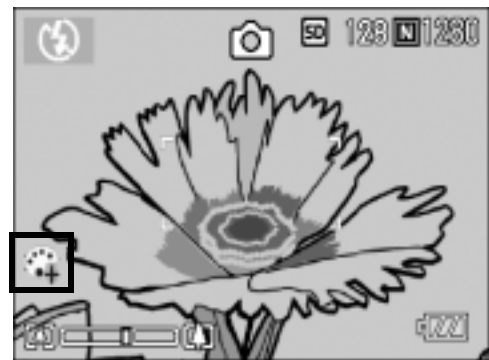
撮影設定メニューが表示されます。

3. **▼ボタンを押して[色の濃さ]を選び、**OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**

4. **▲▼ボタンを押して、色の濃さを選ぶ**

5. OK **ボタンまたは◀ボタンを押す**

色の濃さの設定が完了します。

6. **手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENUボタンを押す**

撮影設定メニューが消え、[標準] 以外を設定した場合には、画面に設定値が表示されます。
以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。液晶モニターの表示にも、設定値が反映されます。

露出を変化させて連続撮影するには（オートブラケット）

オートブラケットは、設定されている露出を基準に -0.5EV、± 0、+0.5EVと3段階の露出で、自動的に3枚連続して撮影する機能です。

メモ

音声付き撮影時には、使用できません。

1. モード切替スイッチを 📷 に合わせる

2. MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが表示されます。

3. ▼ボタンを押して[オートブラケット]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

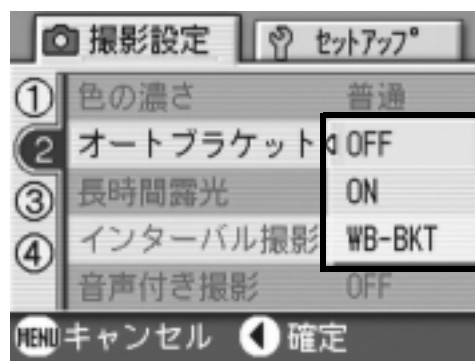
4. [ON]を選び、OKボタンまたは◀ボタンを押す

5. 手順4.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが消え、画面に [AB] が表示されます。

6. シャッターボタンを押す

設定されている露出補正値を基準に、-0.5EV、± 0、+0.5EV で 3 枚連続撮影されます。
撮影直後に液晶モニターに表示される3枚の静止画は、左から -0.5EV（暗い）、基準の補正値、+0.5EV（明るい）です。
以降、変更もしくは電源をオフにするまで、この設定で撮影されます。

参照

・露出補正値を変更するには→ P.76
・ホワイトバランスを変更するには→ P.77

ホワイトバランスを変化させて連続撮影するには（ホワイトバランスブラケット）

設定されているホワイトバランスの値よりも、赤みがかった画像、青みがかった画像、現在の設定値の画像の3枚が自動的に記録されます。
適切なホワイトバランスが判断できない場合に使用すると便利です。

1. **モード切替スイッチを 📷 に合わせる**
2. MENU **ボタンを押す**

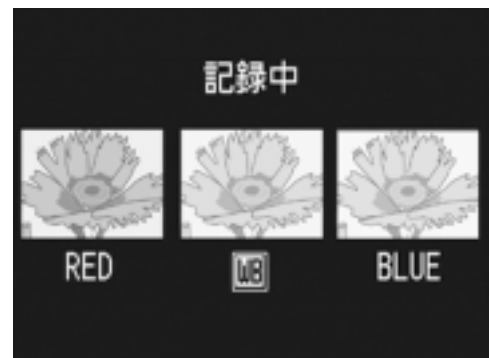
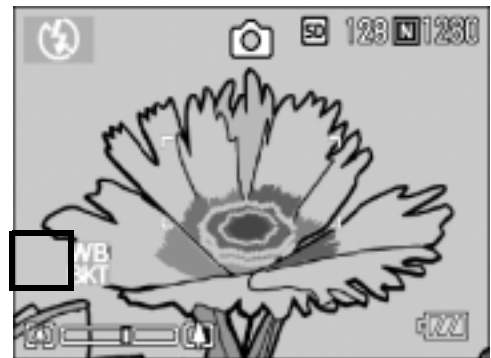
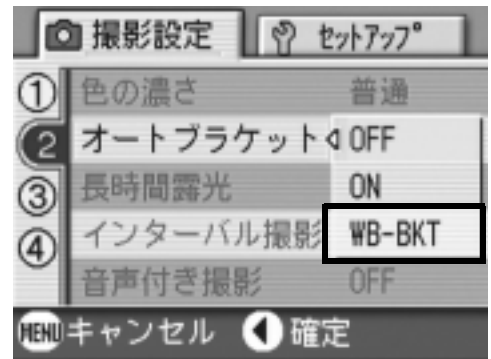
   撮影設定メニューが表示されます。
3. **▼ボタンを押して[オートブラケット]を選び、**OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**
4. **▲▼ボタンを押して、[WB-BKT]を選ぶ**

5. OK **ボタンまたは◀ボタンを押す**

   ホワイトバランスブラケット撮影の設定が完了します。
6. **手順5.で◀ボタンを押した場合には、**MENU **ボタンを押す**

   撮影設定メニューが消え、画面に [WB-BKT] と表示されます。

7. **シャッターボタンを押す**

   設定されているホワイトバランス値を基準に、赤みがかった画像、現在の設定値の画像、青みがかった画像で3枚記録されます。
   以降、変更または電源をオフにするまで、この設定で撮影されます。

メモ

- 連写撮影時（P.85）、オートブラケット撮影時（P.68）には使用できません。
- フラッシュは発光禁止になります。
- 長時間露光（P.71）の設定は OFF になります。
- ［色の濃さ］を［白黒］に設定している場合、ホワイトバランスブラケットは、設定することはできますが、動作しません。

参照

ホワイトバランスを変更するには→ P.77

長時間露光を設定するには（長時間露光）

長時間露光は、1秒、2秒、4秒、8秒から選択できます。
長時間露光を設定すると、夜景を写したときに、花火や車などの被写体の軌跡を撮影することができます。

1. モード切替スイッチを 📷 に合わせる

2. MENUボタンを押す

撮影設定メニューが表示されます。

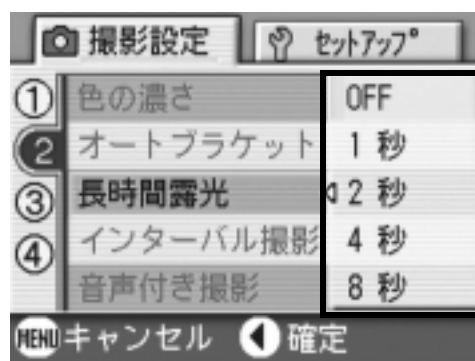
3. ▼ボタンを押して[長時間露光]を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押す

4. ▲▼ボタンを押して、露光時間を選ぶ

5. OKボタンまたは◀ボタンを押す

長時間露光の設定が完了します。

6. 手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENUボタンを押す

撮影設定メニューが消え、画面に設定値が表示されます。
以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

メモ

・長時間露光を設定したときには、シャッタースピードが遅くなり、手ブレを起こすことがあります。カメラを両手でしっかり固定させるか、三脚等を使用して撮影してください。
・長時間露光を設定して撮影した場合、撮影中は液晶モニターの表示が消えます。

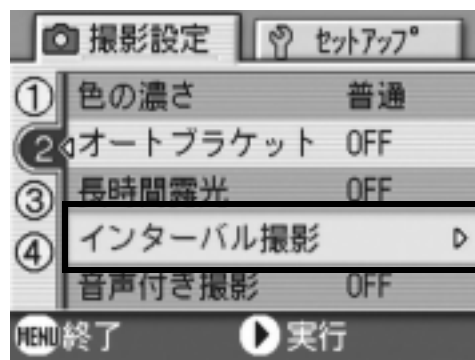
一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影）

設定した時間間隔で、自動的に撮影することができます。
撮影間隔は、5秒～3時間の間で5秒単位で設定できます。

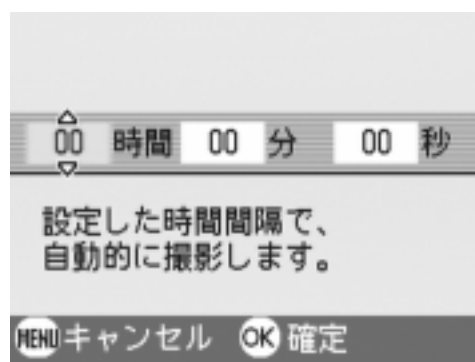
1. モード切替スイッチを 📷 に合わせる

2. MENUボタンを押す

撮影設定メニューが表示されます。

3. ▼ボタンを押して[インターバル撮影]を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押す

4. ▲▼ボタンを押して時間を設定する

5. ▶ボタンを押して分の設定へ移動し、▲▼ボタンを押して、分を設定する

6. ▶ボタンを押して秒の設定へ移動し、▲▼ボタンを押して、秒を設定する

7. OKボタンを押す

インターバル撮影の設定が完了し、画面にインターバルと表示されます。

8. シャッターボタンを押す

設定した間隔で、次々に撮影されます。

9. 撮影を中止するときには、OKボタンを押す

インターバル撮影の設定は、電源をオフにすると解除されます。

注意

撮影の設定によって次の撮影が可能となるまでの時間が、インターバル撮影で設定した時間よりも長くなる場合は、インターバル撮影で設定した時間よりも撮影間隔が長くなります。

メモ

- 手順 5. では、▲▼ ボタンを押し続けると、高速で分の数値を増減させることができます。
- 電源に電池を使用している場合には、電池切れになることがあります。AC アダプター（別売り）の使用をお勧めします。
- インターバル撮影中でも、シャッターボタンを押すと通常の撮影ができます。ただし、インターバル撮影モードはそのまま保持されます。最後の撮影の後、インターバル撮影で設定した時間が経過すると次の撮影が行われます。
- インターバル撮影に設定した場合は、連写の設定が [連写]、[M 連写] に設定されていても、自動的に連写 OFF に切り替わります。

音声付き撮影をするには（音声付き撮影）

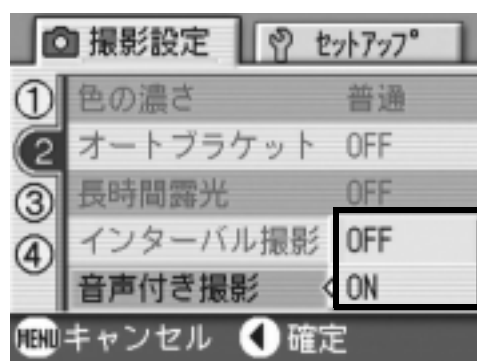
静止画に音声を付けて撮影することができます。最大 8 秒まで記録できます。

1. **モード切替スイッチを 📷 に合わせる**
2. MENU **ボタンを押す**

   撮影設定メニューが表示されます。
3. **▼ボタンを押して[音声付き撮影]を選び、**OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**
4. **▲▼ボタンを押して、[ON]を選ぶ**
5. OK **ボタンまたは◀ボタンを押す**
6. **手順5.で◀ボタンを押した場合には、**MENU **ボタンを押す**

   撮影設定メニューが消えます。

7. **シャッターボタンを押して撮影する**

   撮影後に録音状態になります。
8. **シャッターボタンを押して録音を止める**

メモ

音声付きの静止画を再生するには、通常の音声なしの静止画と同じ操作で静止画を表示します。OK ボタンを押すと音声が再生されます。

▲▼ ボタンを押すと、音量調整バーが表示され、▲▼ ボタンの操作で音量調整ができます。

参照

静止画を表示するには→ P.41

静止画に日付を入れるには（日付入れ撮影）

静止画の右下に日付（年/月/日）または日時（年/月/日 時:分）を入れることができます。

1. **モード切替スイッチを 📷 に合わせる**

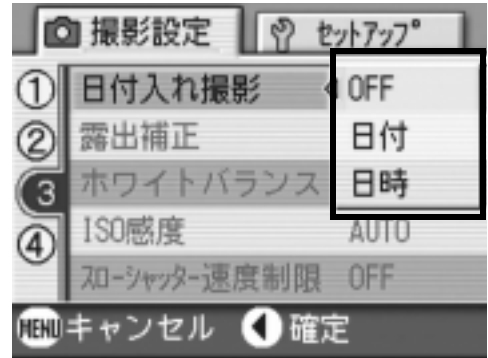
2. MENU **ボタンを押す**

撮影設定メニューが表示されます。

3. **▼ボタンを押して、[日付入れ撮影]を選び、**OK**ボタンまたは▶ボタンを押す**

4. **▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ**

5. OK **ボタンまたは◀ボタンを押す**

日付入れ撮影の設定が完了します。

6. **手順5.で◀ボタンを押した場合には、**MENU **ボタンを押す**

撮影設定メニューが消え、画面に DATE が表示されます。
以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

メモ

- 日付時刻が設定されていないと日付入れ撮影はできません。まず、日付時刻を設定してください（P.117）。
- 動画に日付を入れることはできません。
- サムネイル画像には、日付は表示されません。

露出を変えるには（露出補正）

静止画の写りを全体的に明るくしたり、暗くしたりするのが露出の設定です。
通常、撮影範囲の中央に被写体があると自動的に逆光補正を行い、適切な露出で撮影できます。
ただし、次のような場合や、意図的に露出を変えて撮影をしたいときには、露出を変更して撮影することができます。なお、露出は、-2.0 ～ +2.0 までの間で設定できます。露出は、+ になるほど明るくなり、- になるほど暗くなります。

逆光撮影の場合
背景が非常に明るい場合など、被写体が暗く（露出アンダーに）なってしまうことがありますので、＋側に調整します。

白っぽい被写体を写す場合
全体的に暗くなる（露出アンダー）ため、＋側に調整します。

黒っぽい被写体を写す場合
全体的に明るくなる（露出オーバー）ため、－側に調整します。
スポットライトが当たった人物を写すときなども同様です。

設定の変更は、撮影設定メニューまたは ADJ. ボタンのいずれかを使って行います。
ここでは、手順の簡単な ADJ. ボタンの操作を説明します。
撮影設定メニューを使って操作する場合は、「撮影設定メニューの操作方法」（→ P.59）を参照して操作してください。

1. モード切替スイッチを 📷 に合わせる

2. ADJ.ボタンを押す

露出補正バーが表示されます。

3. ▲▼ボタンを押して、値を設定する

4. OK ボタンを押す

露出補正の設定が完了し、画面に設定値が表示されます。

メモ

明るすぎる環境での撮影時などでは、露出オーバーとなり露出補正もできないことがあります。その場合には、「!AE」のマークが表示されます。

自然光や照明光を使うには（ホワイトバランス）

白い被写体が白く写るように調整を行います。
購入時には、ホワイトバランスは「AUTO」（自動）に設定されているので、通常は変更の必要はありませんが、単一色の被写体や、複数の光源下にある被写体を撮影するときなど、ホワイトバランスの調整がうまく合いにくい場合には、設定を変更します。

選択できるモードの種類		
マーク	モード	内容
AUTO	オート	自動的に調整します。
	屋外	屋外（晴天）での撮影時
	曇天	曇天や日影等での撮影時
	白熱灯	白熱灯の下での撮影時
	白熱灯 2	白熱灯の下での撮影時（白熱灯モードに比べて赤みを残して撮影します）
	蛍光灯	蛍光灯の下での撮影時
	ワンプッシュ	手動設定を行います。

設定の変更は、撮影設定メニューまたは ADJ. ボタンのいずれかを使って行います。
ここでは、手順の簡単な ADJ. ボタンの操作を説明します。
撮影設定メニューを使って操作する場合は、「撮影設定メニューの操作方法」（→ P.59）を参照して操作してください。

1. モード切替スイッチを に合わせる

2. ADJ.ボタンを２回押す

ホワイトバランスのメニューが表示されます。

3. ▲▼ボタンを押して、 以外のモードを選ぶ

この状態でシャッターボタンを押すこともできます。

4. OK ボタンを押す

ホワイトバランスの設定が完了し、画面にマークが表示されます。
以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

2
いろいろな撮りかた・再生をしたいとき

ホワイトバランスを手動設定するには（ワンプッシュ）

1. モード切替スイッチを 📷 に合わせる

2. ADJ.ボタンを2回押す

ホワイトバランスのメニューが表示されます。

3. ▲▼ボタンを押して、Ⓜ（ワンプッシュ）を選ぶ

4. 撮影する照明の下で、紙などの白い被写体にカメラを向ける

5. MENU ボタンを押す

ホワイトバランスが設定されます。

6. OK ボタンを押す

ホワイトバランスの設定が完了し、画面にマークが表示されます。
以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。
手順 5. で MENU ボタンを押すと、設定したホワイトバランスで画面が再表示されます。思いどおりにならなかった場合には、手順 4. と 5. を繰り返して、何度でも設定変更ができます。

メモ

オートモードの場合、被写体に白色系の部分が少ないと、ホワイトバランスが合わないことがあります。このようなときには、被写体に白色系のものを入れて撮影してください。

注意

フラッシュ撮影の場合、オートモード以外ではホワイトバランスが合わないことがあります。この場合は、オートモードに切り換えてフラッシュ撮影をしてください。

撮影感度を設定するには（ISO 感度）

ISO 感度は、フィルムの光に対する敏感さを表す値です。数字が大きいほど高感度になります。高感度は、暗い場所や動きの速いものを撮影するときに適し、手ぶれが起こりにくくなります。ただし、画像が荒くなりザラついた感じになります。

ISO感度は、次の6種類の設定から選択できます。
AUTO、ISO64、ISO100、ISO200、ISO400、ISO800

デジタルカメラの場合には、距離/明るさ/ズーム/マクロによってカメラが自動的に明るさを変化させます（AUTO）。通常は、AUTO のままで撮影します。

設定の変更は、撮影設定メニューまたは ADJ. ボタンのいずれかを使って行います。
ここでは、手順の簡単な ADJ. ボタンの操作を説明します。
撮影設定メニューを使って操作する場合は、「撮影設定メニューの操作方法」（→ P.59）を参照して操作してください。

1. **モード切替スイッチを 📷 合わせる**
2. **ADJ.ボタンを３回押す**

   ISO 感度のメニューが表示されます。

3. **▲▼ボタンを押して、ISO感度を選ぶ**

   この状態でシャッターボタンを押すこともできます。

4. OK**ボタンを押す**

   ISO 感度の設定が完了し、画面に設定値が表示されます。
   以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

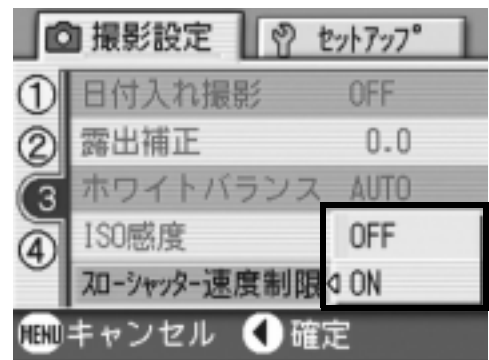
メモ

広角ズームで ISO 感度に AUTO を選択している場合は、フラッシュを使用すると ISO160 相当、フラッシュを使用しないと ISO100 相当の感度になります。

シャッタースピードを制限するには（スローシャッター速度制限）

この機能を [ON] にすると、最長シャッタースピードを次の値に制限することができます。
広角時：1/8秒
望遠時：1/30秒
[OFF] の場合の、最長シャッタースピードは、1秒です。

1. **モード切替スイッチを 📷 に合わせる**
2. MENU **ボタンを押す**
   撮影設定メニューが表示されます。
3. **▼ボタンを押して[スローシャッター速度制限]を選び、**OK**ボタンまたは▶ボタンを押す**

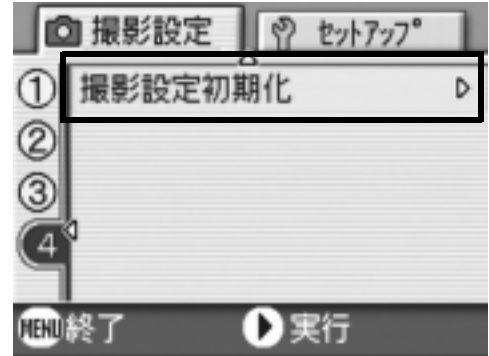
4. **▲▼ボタンを押して、[ON] または [OFF] を選ぶ**
5. OK **ボタンまたは◀ボタンを押す**
   スローシャッター速度制限の設定が完了します。
6. **手順5.で◀ボタンを押した場合には、**MENU **ボタンを押す**
   撮影設定メニューが消え、画面に設定値が表示されます。
   以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

メモ

・長時間露光の設定時は、長時間露光が優先されます。
・SCENE モードの夜景モード選択時は、夜景モードが優先されます。
・フラッシュがスローシンクロに設定されている時は、最長シャッタースピードが 1 秒になります。

撮影設定メニューの設定を元に戻す（撮影設定初期化）

撮影設定メニューの設定を初期値に戻すには、次のように操作します。

1. **モード切替スイッチを 📷 に合わせる**
2. MENU **ボタンを押す**
3. **▲▼ボタンを押して[撮影設定初期化]を選び、**OK **または▶ボタンを押す**
4. **[はい]が選ばれていることを確認して、**OK **ボタンを押す**

   初期化中のメッセージが表示され、完了するとモードの画面に戻ります。

参照

電源をオフにしても設定値が保持される機能一覧→ P.163

2

いろいろな撮りかた・再生をしたいとき

文字撮影のときの濃淡を変えるには（文字濃度）

SCENEモードの文字モードで撮影する場合の、文字の濃淡を変更することができます。
濃淡は、濃い、標準、淡いから選択できます。

設定の変更は、撮影設定メニューまたはADJ.ボタンのいずれかを使って行います。
ここでは、手順の簡単なADJ.ボタンの操作を説明します。
撮影設定メニューを使って操作する場合は、「撮影設定メニューの操作方法」（→P.59）を参照して操作してください。

1. モード切替スイッチを 📷 に合わせる

2. ▲ボタンを押す

静止画モード選択画面が表示されます。

3. ▼ボタンを押して、SCENEメニューに移動する

4. ◀▶ボタンを押して、文字モードに合わせ、OKボタンを押す

5. ADJ.ボタンを押す

文字濃度のメニューが表示されます。

6. ▲▼ボタンを押して、濃度を選ぶ

この状態でシャッターボタンを押すこともできます。

7. OKボタンを押す

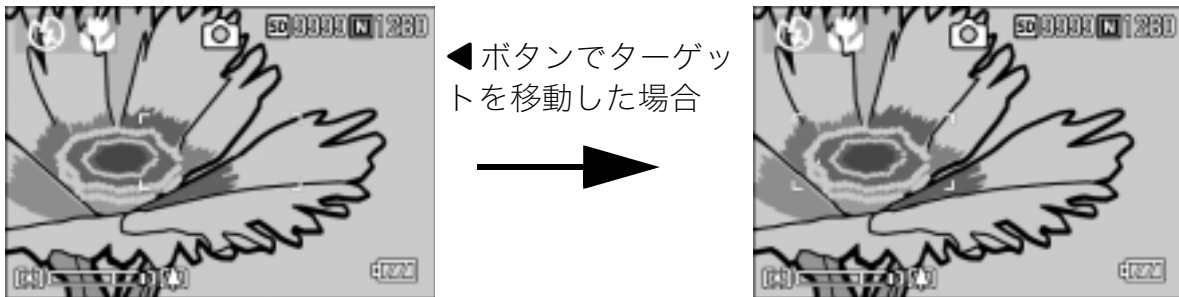
文字濃度の設定が完了します。
文字濃度の設定値は画面上には表示されません。以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

参照

文字を撮影するには→P.38

AF ターゲット移動機能を使う

マクロ撮影時には、AF ターゲット移動機能を使うことにより、カメラを動かすことなく、カメラの ▲▼◀▶ キーでフォーカスロック(→P.33)を行い、撮影ができます。
三脚を使用していて、フォーカスロックでマクロ撮影したいという場合に、便利です。
AF ターゲット移動機能では、液晶モニター中央部に表示される十字を、▲▼◀▶ キーでピントを合わせたい被写体に移動することにより、撮影します。

◀ボタンでターゲットを移動した場合

1. 撮影できる状態で、(マクロ)ボタンを押す

画面上側にマクロモードのマークが表示されます。

2. ADJ.ボタンを4回押す

ADJ. ボタンに 4 番目の機能を設定しているときは 5 回押します。

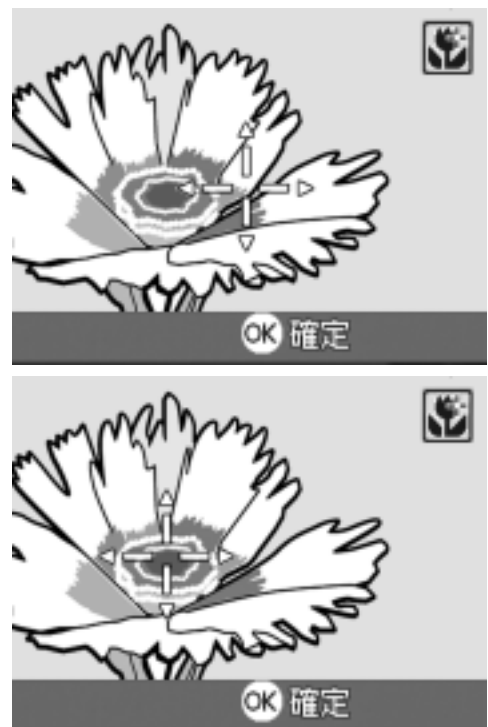
3. ▲▼◀▶キーでピントを合わせたい被写体に十字を移動する

4. OK ボタンを押す

5. シャッターボタンを半押しする

十字の位置にピント合わせが行われます。

6. シャッターボタンをそのまま静かに押しきる

以降、マクロモードを解除するまで、AF ターゲット移動機能で設定した位置にピント合わせが行われます。

⏲ セルフタイマーを使う

セルフタイマーは、10秒後、2秒後の2種類から選択できます。
手ブレを防ぎたいときには2秒に設定すると便利です。

1. モード切替スイッチを 📷 に合わせる

2. ⏲(セルフタイマー)ボタンを押す

液晶モニター中央に、一瞬セルフタイマーのマークが大きく表示され消えた後、左側にセルフタイマーのマークが表示されます。
マークの右側にある「10」は秒数を示しています。この状態でシャッターボタンを押すと、10 秒後に撮影されます。

3. シャッターボタンを押す

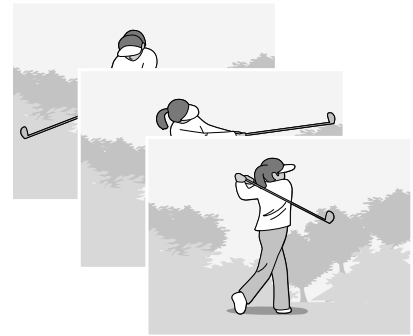
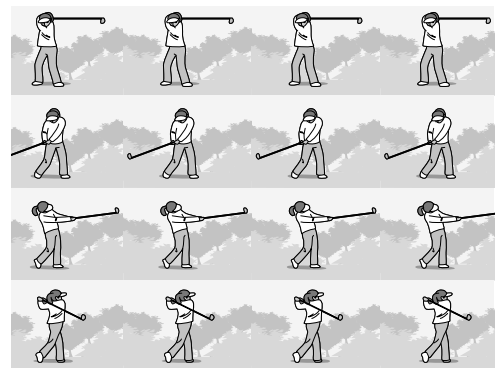
ピントが固定され、フラッシュが発光し、セルフタイマーがスタートします。
シャッターが切れると、セルフタイマーのモードが解除されます。

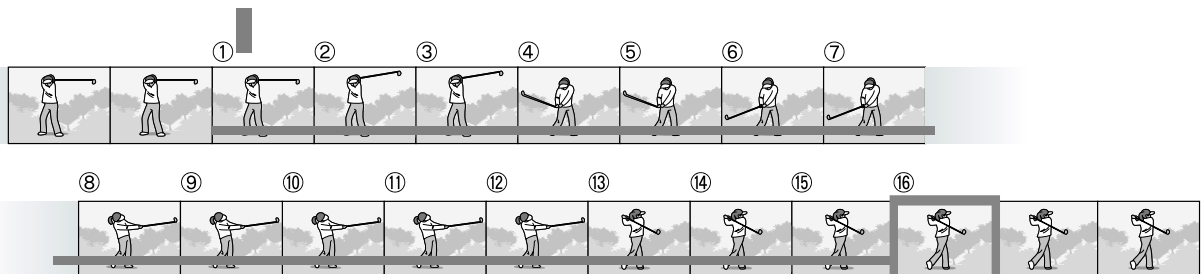
メモ

- ⏲（セルフタイマー）ボタンは、1 回押すごとに、10 秒→ 2 秒→セルフタイマー解除→ 10 秒→ 2 秒→・・・と切り替わります。
- セルフタイマーの設定は、電源をオフにすると解除されます。
- 2 秒の場合は、セルフタイマー表示用のフラッシュは発光しません。

連写で撮る

連写に設定すると、連続撮影ができます。
連写には 次の3種類があります。

連写
シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。
静止画は通常の撮影時と同じように、1枚ずつ記録します。

S(ストリーム)連写
シャッターボタンを一気押しした瞬間から撮影間隔 1/7秒で約2.2秒間(16枚)連続撮影します。16 枚の静止画を 1 組にして、1つの画像ファイル(2560×1920ピクセル)として記録します。

M(メモリー逆戻り)連写
シャッターボタンを離した瞬間からさかのぼった約 2.2 秒を連続撮影します。
16枚の静止画を1組にして、1つの画像ファイル(2560×1920ピクセル)として記録します。

2
いろいろな撮りかた・再生をしたいとき

メモ

- S 連写 /M 連写のときは、ISO 感度を 64,100 に設定しても AUTO になります。
- 連写を使って撮影するときの連続撮影可能枚数は、画像サイズにより異なります。

F2560	N2560	F2048	N2048	F1280	N1280	N640
3 枚	3 枚	3 枚	3 枚	13 枚	13 枚	13 枚

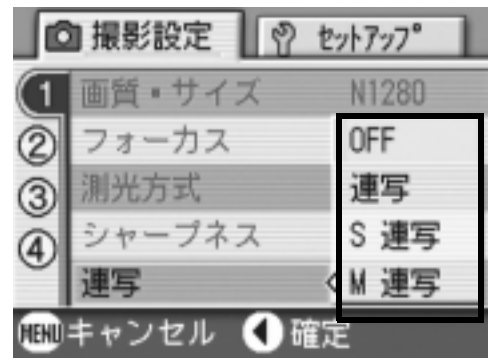
1. モード切替スイッチを 📷 に合わせる

2. MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが表示されます。

3. ▼ボタンを押して[連写]を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押す

4. ▲▼ボタンを押して、[連写]、[S連写]、[M連写]のいずれかを選ぶ

5. OKボタンまたは◀ボタンを押す

6. 手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが消え、画面にマークが表示されます。

連写のとき

7. 構図を決めて、シャッターボタンを押したままにする

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。

8. シャッターボタンを離して連写を終了する

連写を再生するには、再生モードにして（→ P.41）、◀▶ ボタンで再生したい静止画を選択します。

S 連写のとき

7. 構図を決めて、シャッターボタンを押す

自動的に 16 枚連続して撮影されます。

M 連写のとき

7. 構図を決めて、シャッターボタンを押したままにする

カメラが被写体を記憶（メモリー）します。

8. シャッターボタンを離す

連写が終了し、直前の約 2.2 秒間（16 枚）を 1 枚の静止画として記録します。

メモ

- 通常の 1 枚ごとの撮影に戻したいときには、上記の手順 1. 〜 3. を行い、手順 4. で [OFF] を選択して OK ボタンを押します。
- M 連写では、シャッターボタンを押しはじめてから、2.2 秒以内にシャッターボタンを離した場合は、シャッターボタンを押してから離すまでが撮影記録されます（連続撮影枚数は、16 枚より少なくなります）。
- フラッシュは、発光禁止になります。

S 連写／ M 連写した静止画を拡大して見る

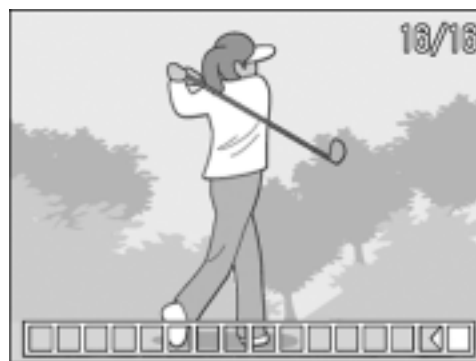
S 連写、M 連写で撮影した静止画（16 枚 1 組になった画像ファイル）を表示している際、16 枚の中の 1 枚（コマ）を拡大表示することができます。拡大表示後は、1 コマずつコマ送りすることもできます。
S 連写、M 連写で撮影した 1 コマを拡大表示して見るには、次のように操作します。

1. 再生ボタンを押す

最後に撮ったファイルが表示されます。

2. ◀▶ボタンを使ってS連写またはM連写で撮影した静止画を表示する

3. Q（拡大表示）ボタンを押す

連写した先頭の1コマが拡大表示されます。
液晶モニターの下部にはコマ位置を示すバーが表示されます。
◀▶ ボタンを押すと、コマを移動することができます。16 枚の表示に戻すには、OK ボタンを押します。

メモ

DISP ボタンを押すたびに、液晶モニター下部のバーの表示、グリッドガイド表示、表示なしを切り替えることができます。

参照

S 連写、M 連写で撮影するには→ P.85

動画を撮影・再生する

動画を撮影する

音声付き動画を撮影できます。
画像サイズは、320 × 240、160 × 120のいずれかが選択できます。
また、1 秒間に撮影するフレーム数(フレームレート)は、30 フレーム、15 フレームのいずれかが選択できます。
撮影した動画は、1つのAVIファイルとして記録されます。

1. モード切替スイッチを (動画モード)に合わせる

2. シャッターボタンを押す

動画の撮影が開始されます。
次にシャッターボタンを押すまで撮影されます。

3. シャッターボタンを押して撮影を停止する

注意

- 動画撮影中に操作音が記録されることがあります。
- 1 回あたりの撮影可能時間は、お使いのカードにより異なります。また撮影可能時間内でも、お使いのカードによっては、撮影を終了する場合があります。

メモ

- フラッシュは発光禁止になります。
- 動画撮影中、ズーム機能は、デジタルズームのみ使用できます。
- 手順 2. でシャッターボタンを押した時点で、ピント合わせが行われ、ホワイトバランスが固定されます。
- 残り記録時間は、動画記録中にメモリーの残容量から再計算されるため、一様に変化しないことがあります。

参照

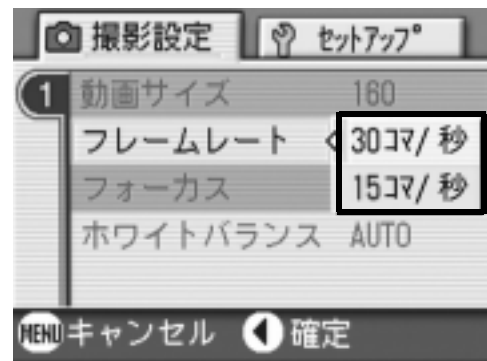
- 動画の画像サイズを変更するには→ P.60
- フレームレートを変更するには→ P.90
- デジタルズームについて→ P.35
- 動画モード時の撮影設定メニュー項目一覧→ P.162

フレームレートを設定する

動画モードで1秒間に撮影されるフレーム数（フレームレート）は、30フレーム、15フレームのいずれかから選択できます。

1. **モード切替スイッチを 🎥 に合わせる**
2. MENU**ボタンを押す**

   撮影設定メニューが表示されます。
3. **▼ボタンを押して[フレームレート]を選び、**OK**ボタンまたは▶ボタンを押す**
4. **▲▼ボタンを押して、[30コマ/秒]または[15コマ/秒]を選ぶ**
5. OK**ボタンまたは◀ボタンを押す**

   フレーム数の設定が完了します。

6. **手順5.で◀ボタンを押した場合には、**MENU**ボタンを押す**

   撮影設定メニューが消え、画面に設定値が表示されます。
   以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

メモ

動画を記録できる時間はSDメモリーカードの容量により異なります。
記録時間は、下表のようになります。

	内蔵	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB
15コマ/秒 320×240	1分23秒	1分27秒	2分57秒	5分59秒	11分56秒	24分4秒	46分17秒
30コマ/秒 320×240	42秒	44秒	1分30秒	3分2秒	6分4秒	12分13秒	23分30秒
15コマ/秒 160×120	5分1秒	5分18秒	10分51秒	21分57秒	43分44秒	88分7秒	169分27秒
30コマ/秒 160×120	2分38秒	2分48秒	5分45秒	11分37秒	23分10秒	46分42秒	89分48秒

動画を再生する

動画を再生するには、次のように操作します。

1. 再生ボタンを押す

最後に撮ったファイルが表示されます。
動画の場合には、最初の 1 フレームが静止画像で表示されます。

2. ◀▶ボタンで見たい動画にする

▶ ボタンを押すと、次のファイルを表示できます。
◀ ボタンを押すと、1 つ前のファイルを表示できます。

3. OK ボタンを押す

再生が始まります。
液晶モニターに、再生経過を示すインジケーターや経過時間が表示されます。

早送り	再生中に [T] ボタンを押す
巻き戻し	再生中に [W] ボタンを押す
一時停止 / 再生	OK ボタンを押す
スロー再生	一時停止中に [T] ボタンを押し続ける
スロー戻し	一時停止中に [W] ボタンを押し続ける
次のフレームの表示	一時停止中に [T] ボタンを押す
前のフレームの表示	一時停止中に [W] ボタンを押す
音量を調節する	再生中に ▲▼ ボタンを押す

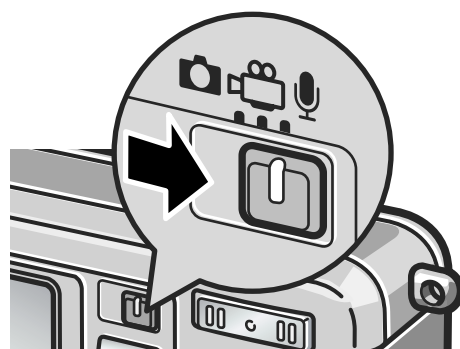
用語説明

動画のフレーム
動画のフレームはコマともいいます。動画はたくさんのフレームで構成され、それらが高速で表示されるために動いているように見えます。

音声を記録・再生する

音声を記録する

音声を記録することができます。
記録した音声は、WAVファイルとして記録されます。

1. モード切替スイッチを (音声モード)に合わせる

2. シャッターボタンを押す

音声の記録が開始されます。

3. シャッターボタンを押して記録を終了する

メモ

音声を記録できる時間は SD メモリーカードの容量により異なります。
記録時間は、下表のようになります。

容量	記録時間
28MB（内蔵メモリー）	61 分 32 秒
32MB	64 分 38 秒
64MB	132 分 13 秒
128MB	267 分 17 秒
256MB	532 分 38 秒
512MB	1073 分 11 秒

音声を再生する

音声を再生するには、次のように操作します。

1. **再生ボタンを押す**

最後に撮ったファイルが表示されます。

2. **◀▶ボタンで再生したい音声ファイル(スピーカーの絵の画面)にする**

▶ ボタンを押すと、次のファイルを表示できます。
◀ ボタンを押すと、1 つ前のファイルを表示できます。

3. OK **ボタンを押す**

再生が始まります。

早送り	再生中に [🌲] ボタンを押す
巻き戻し	再生中に [🌲] ボタンを押す
一時停止 / 再生	OK ボタンを押す
音量を調節する	再生中に ▲▼ ボタンを押す

再生モード時のその他の機能

再生設定メニューについて

再生メニューを使うと、次の表にある機能が使用できます。

設定項目	選択肢	参照
スライドショー	――――――――	P.95
プロテクト	1ファイル選択・解除、全ファイル選択・解除、複数ファイル選択	P.96
DPOF	1ファイル選択・解除、全ファイル選択・解除、複数ファイル選択	P.99
画像サイズ変更	1280, 640	P.102
CARDへコピー	――――――――	P.103

メモ

再生設定メニューからセットアップメニューを表示することができます。詳しくは、P.106を参照してください。

再生メニューの操作方法

1. 再生ボタンを押して、再生モードにする

2. MENUボタンを押す

再生メニューが表示されます。

3. ▲▼ボタンを押して、設定項目を選ぶ

4. 設定項目を選択したら、OKボタンまたは▶ボタンを押す

各機能の画面が表示されます。

自動的に順に表示する（スライドショー）

撮影した静止画や動画、音声を、順番に液晶モニターに表示することができます。この機能をスライドショーと呼びます。
スライドショーで見るには、次のように操作します。

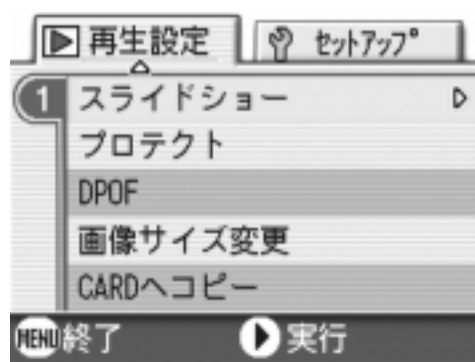
1. 再生ボタンを押す

最後に撮ったファイルが表示されます。

2. MENU **ボタンを押す**

再生メニューが表示されます。

3. [スライドショー]が選択されていることを確認し、OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**

スライドショーが開始され、ファイルが順に再生されます。
途中で中止したいときには、カメラのいずれかのボタンを押します。
中止するまで、繰り返しスライドショーが続きます。

メモ

- 静止画は、3 秒ごとに表示されます。
- 動画は、1 フレームだけではなく、撮影した内容がすべて表示されます。
- 音声ファイルも再生されます。

削除できないように設定する（プロテクト）

記録したファイルを誤って削除してしまわないように、保護する(プロテクトする)ことができます。

注意

プロテクトしたファイルは、削除することはできませんが、初期化を行った場合には、プロテクト設定の有無にかかわらず、すべて消去されます。

ファイルをプロテクトする

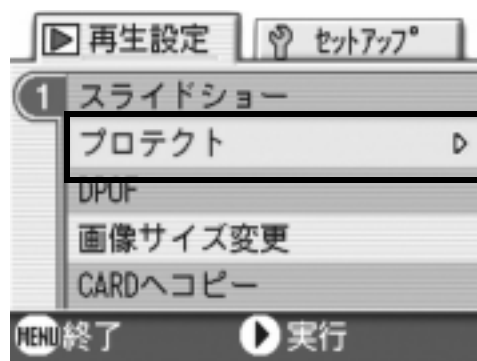
1. **再生ボタンを押す**

   最後に撮ったファイルが表示されます。

2. **◀▶ボタンを押してプロテクトしたいファイルを表示する**

3. MENU **ボタンを押す**

   再生設定メニューが表示されます。

4. **▼ボタンを押して、[プロテクト]を選び、**OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**

5. **[1 ファイル]が選ばれていることを確認して、**OK **ボタンを押す**

プロテクトが設定され、画面の左上にプロテクト設定を示すマークが表示されます。

すべてのファイルをプロテクトする

すべてのファイルにプロテクトを設定するには、次のように操作します。

1. **再生ボタンを押す**
2. MENU **ボタンを押す**

   再生メニューが表示されます。
3. **▼ボタンを押して、[プロテクト]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す**

4. **▲▼ボタンを押して、[全ファイル]を選ぶ**
5. **[選択]が選ばれていることを確認して、OK ボタンを押す**

   プロテクトが設定され、画面の左上にプロテクト設定を示すマークが表示されます。
   すべてのファイルのプロテクトを解除するには、プロテクトの設定の手順 5. で [解除] を選択します。

メモ

すべてにプロテクトが設定されている場合だけでなく、複数のファイルに設定されているプロテクトを一度に解除することもできます。

複数のファイルを一度にプロテクトする

選択したファイルに対して、一度にプロテクトの設定を行うには、次のように操作します。

1. **再生ボタンを押す**
2. **(サムネイル表示)ボタンを2回押す**

   画面が12分割されて、静止画が12枚表示されます。
3. **▲▼◀▶ボタンを押して、プロテクトしたい1枚目のファイルを選ぶ**
4. MENU**ボタンを押す**

   再生メニューが表示されます。
5. **▼ボタンを押して、[プロテクト]を選び、**OK**ボタンまたは▶ボタンを押す**
6. **▲▼◀▶ボタンを押して、次にプロテクトの設定をしたいファイルを選び、**OK**ボタンを押す**

   ファイルの右上にプロテクト設定のマークが表示されます。

7. **手順6.を繰り返して、プロテクトの設定をしたいファイルをすべて選択する**

   間違えた場合は、そのファイルでOKボタンを再度押すと選択が解除できます。
8. MENU**ボタンを押す**

   処理中のメッセージが表示され、設定が完了すると、一覧の画面に戻ります。

メモ

複数のファイルのプロテクトを解除するには、上記の手順で、解除したいファイルを選択して実行します。

参照

サムネイル表示の詳細について→ P.44

プリントサービスを利用する（DPOF：ディーポフ）

SD メモリーカードに記録した静止画は、デジタルカメラプリントサービス取り扱い店にお持ちいただくと、プリントすることができます。
プリントサービスを利用するには、プリントに必要な情報を設定する必要があります。その設定をDPOF(ディーポフ)設定と呼びます。
DPOF 設定を行うと、1 静止画につき 1 枚印刷するという情報が設定されます。
ただし、複数の画像を選択して一度に設定する場合には、印刷枚数を指定できます。

表示している静止画に DPOF 設定する

1. **再生ボタンを押す**
2. **設定したい静止画を表示する**
3. MENU **ボタンを押す**
   再生設定メニューが表示されます。
4. **▼ボタンを押して、[DPOF] を選び、**OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**

5. **[1 ファイル] が選ばれていることを確認して、**OK **ボタンを押す**
   DPOF 設定が行われ、画面の左上に DPOF 設定を示すマークが表示されます。

メモ

1 枚ずつ DPOF 設定を解除するには、設定と同じように操作します。

すべての静止画に DPOF 設定する

すべての静止画に対して DPOF 設定をするには、次のように操作します。

1. **再生ボタンを押す**

2. MENU **ボタンを押す**

再生メニューが表示されます。

3. **▼ボタンを押して、[DPOF] を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す**

4. **▲▼ボタンを押して、[全ファイル] を選ぶ**

5. **[選択] が選ばれていることを確認して、OK ボタンを押す**

DPOF 設定が行われ、画面の左上に DPOF 設定を示すマークが表示されます。

メモ

・すべての静止画の DPOF 設定を解除するには、設定の手順 5 で [解除] を選択します。

・すべてに DPOF 設定されている場合だけでなく、複数の静止画の DPOF 設定を一度に解除することもできます。

複数の静止画に DPOF 設定する

選択した静止画に対して、DPOF 設定を行うには、次のように操作します。

1. **再生ボタンを押す**

2. **▣(サムネイル表示)ボタンを２回押す**

画面が 12 分割されて、ファイルのサムネイルが表示されます。

3. **▲▼◀▶ボタンを押して、DPOF設定したい１枚目の静止画を選ぶ**

4. MENU **ボタンを押す**

再生メニューが表示されます。

5. **▼ボタンを押して、[DPOF] を選び、**OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**

6. **▲▼ボタンを押して印刷枚数を指定する**

▲ ボタンを押すと枚数が増え、▼ ボタンを押すと枚数が減ります。

7. **◀▶ボタンを押して、次にDPOF設定をしたい静止画を選ぶ**

8. **▲▼ボタンを押して印刷枚数を指定する**

▲ ボタンを押すと枚数が増え、▼ ボタンを押すと枚数が減ります。

9. **手順7.〜8.を繰り返して、DPOF設定をしたい静止画をすべて選択する**

10. MENU **ボタンを押す**

処理中のメッセージが表示され、設定が完了すると、一覧の画面に戻ります。

画像サイズ縮小する（画像サイズ変更）

撮影した静止画の画像サイズを縮小して、画像サイズの異なるファイルを追加作成できます。

注意

画像サイズ変更ができるのは、静止画および音声付きの静止画です。動画は画像サイズ変更できません。

メモ

可能な画像サイズ変更は、次の種類です。

元のサイズ	変更可能なサイズ	
F2560/N2560/F2048/N2048	N1280	N640
F1280/N1280		N640

画像サイズを変更するには、次のように操作します。

1. **再生ボタンを押す**
2. MENU **ボタンを押す**

   再生設定メニューが表示されます。
3. **▼ボタンを押して、[画像サイズ変更]を選び、**OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**
4. **▲▼ボタンを押して、[1280] または[640] を選ぶ**
5. OK **ボタンを押す**

   画像サイズ変更が行われ、画像サイズ変更によって作成された静止画が表示されます。

参照

撮影時の画像サイズを変更するには→ P.60

内蔵メモリーの内容をカードへコピーする（CARD へコピー）

内蔵メモリーの内容を SD メモリーカードへコピーすることができます。

1. **電源をオフにする**

2. **SDメモリーカードをセットする**

3. **電源をオンにする**

4. **再生ボタンを押す**

5. MENU **ボタンを押す**

再生設定メニューが表示されます。

6. **▼ボタンを押して、[CARDへコピー]を選び、**OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**

処理中のメッセージが表示され、コピーが完了すると、再生画面に戻ります。

メモ

- コピー先の SD メモリーカードの容量が足りない場合には、容量不足を示すメッセージが表示されます。容量に収まる枚数だけコピーする場合には [はい] を選んで OK ボタンを押してください。コピーを取り消す場合には [いいえ] を選んで OK ボタンを押してください。
- SD メモリーカードから内蔵メモリーへのコピーはできません。

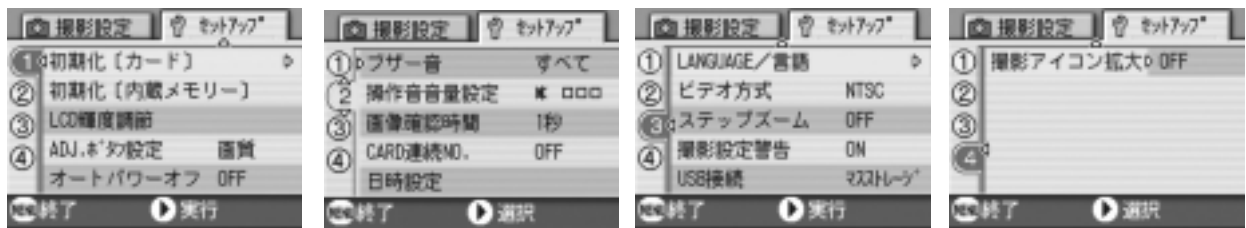
3 章

カメラの設定を変更したいとき

カメラの設定を変更する 106

カメラの設定を変更する

セットアップメニューについて

撮影設定メニュー(→ P.58)や再生設定メニュー(→ P.94)からセットアップメニューを表示して、カメラの設定変更ができます。
セットアップメニューを使うと、次の表にある項目を設定することができます。

設定項目	選択肢	参照
初期化 [カード]	――――――――	P.108
初期化 [内蔵メモリー]	――――――――	P.109
LCD 輝度調節	――――――――	P.110
ADJ. ボタン設定	[OFF], 画質（ ）, AF/MF, SHARP, 測光方式（ ）	P.111
オートパワーオフ	OFF, [1 分], 5 分 , 30 分	P.112
ブザー音	［すべて］, シャッター音	P.113
操作音音量設定	なし（□□□）, 小（■□□）, [中]（■■□）, 大（■■■）	P.114
画像確認時間	OFF, [1 秒], 2 秒 , 3 秒	P.115
CARD 連続 No.	ON, [OFF]	P.116
日時設定	――――――――	P.117
LANGUAGE/ 言語	[日本語], ENGLISH, DEUTSCH, FRANÇAIS, ITALIANO, ESPAÑOL, 簡体中文 , 繁体中文 , 한국어	P.118
ビデオ方式	[NTSC], PAL	P.119
ステップズーム	ON, [OFF]	P.120
撮影設定警告	[ON], OFF	P.121
USB 接続	マスストレージ , [オリジナル]	P.121
撮影アイコン拡大	[OFF], ON	P.126

セットアップメニューの操作方法

セットアップメニューの表示方法と使いかたは、次のようになります。

メモ

機能によっては、選択肢の選択方法がここで説明する内容と異なる場合があります。詳しい操作方法は、各機能の説明を参照してください。

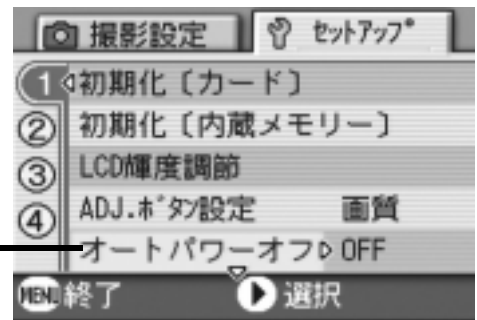
1. MENU **ボタンを押す**

撮影設定メニューまたは再生メニューが表示されます。

2. ▶ボタンを押す

セットアップメニューが表示されます。

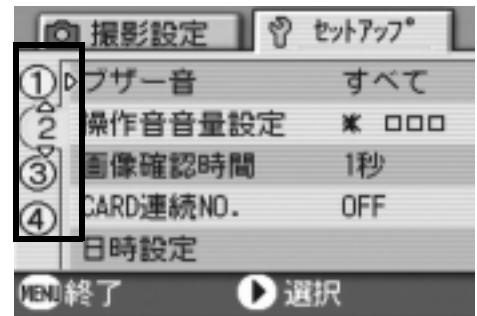
3. ▲▼ボタンを押して、設定項目を選ぶ

設定項目は 4 画面あります。

一番下の項目で ▼ ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

画面番号で画面を切り替えるには

① ◀ ボタンを押すと、画面左側にある画面番号が選択できるようになります。

② 画面番号が選択できる状態で ▲▼ ボタンを押すと、画面を切り替えることができます。

③ 画面を切り替えたら、▶ ボタンを押して、設定項目の選択へ戻ります。

4. 設定項目を選択したら、OK **ボタンまたは▶ボタンを押す**

設定項目の選択肢が表示されます。

5. ▲▼ボタンを押して、選択肢を選ぶ

6. OK **ボタンまたは◀ボタンを押す**

7. 手順6.で◀ボタンを押した場合には、MENU **ボタンを押す**

メニューが消え、撮影または再生できます。

SD メモリーカードを使えるようにする（初期化 [カード]）

「使用できないCARDです。」等のエラーメッセージが表示されたり、パソコンなど他の機器で初期化してしまった場合には、SD メモリーカードを初期化してから使用する必要があります。
初期化とは、画像データが書き込めるような状態にする処理のことです。

注意

画像の記録されているカードを初期化すると、内容がすべて消えてしまいます。

参照

内蔵メモリーの初期化について→ P.109

初期化するには、次のように操作します。

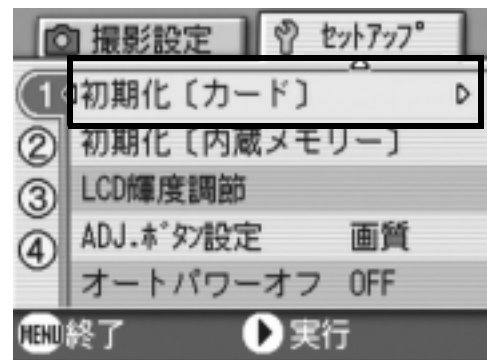
1. セットアップメニューを表示する

操作手順は、P.107を参照してください。

2. ▼ボタンを押して[初期化[カード]]を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押す

初期化の確認画面が表示されます。

3. ◀▶ボタンを押して[はい]を選び、OKボタンを押す

初期化が行われ、完了するとセットアップメニューに戻ります。
SD メモリカードが、入っていない場合には、メッセージが表示されます。いったん電源をオフにしてから、SD メモリーカードをセットして、再度初期化の操作を行ってください。

メモ

誤って画像を消さないようにするには

カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にしておくと、撮影や画像の削除、初期化ができなくなります。
解除すれば（スイッチを元の位置に戻す）、削除も初期化もできるようになります。

内蔵メモリーを初期化する（初期化 [内蔵メモリー]）

「内蔵メモリーを初期化してください。」というエラーメッセージが表示された場合には、内蔵メモリーを初期化する必要があります。

注意

内蔵メモリーを初期化すると、内蔵メモリーに記録されている画像はすべて消去されます。消去したくない画像が含まれているときは、初期化する前に、リコー修理受付センターにご相談ください。

初期化をするには、次のように操作します。

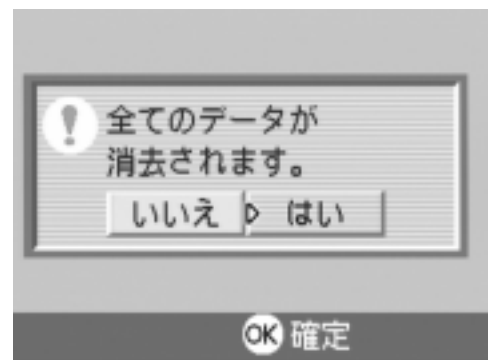
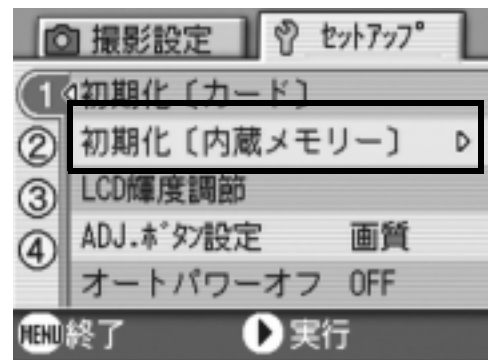
1. **セットアップメニューを表示する**

   操作手順は、P.107を参照してください。

2. **▼ボタン[初期化[内蔵メモリー]]を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押す**

   初期化の確認画面が表示されます。

3. **◀▶ボタンを押して[はい]を選び、OKボタンを押す**

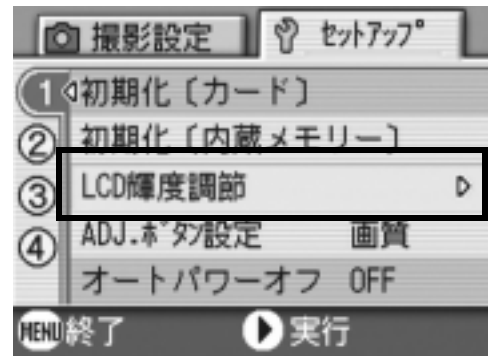
   初期化が行われ、完了するとセットアップメニューに戻ります。

液晶モニターの明るさを調節する（LCD 輝度調節）

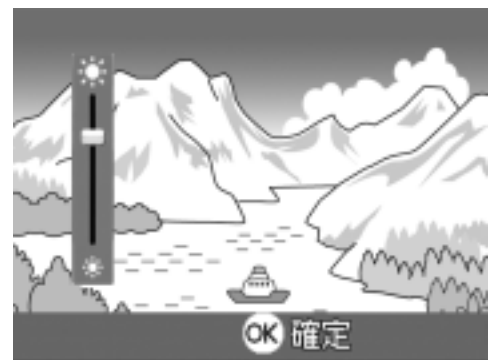
液晶モニターの明るさを調整するには、次のように操作します。

1. **セットアップメニューを表示する**

操作手順は、P.107を参照してください。

2. **▼ボタンを押して、[LCD輝度調節]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す**

LCD 輝度調節バーが表示されます。

3. **▲▼ボタンを押して、明るさを調節する**

側に変更すると、暗くなります。側に変更すると、明るくなります。バーの後ろに表示されている画面の明るさが、設定値にしたがって変化します。

4. **設定したい明るさになったら、OK ボタンを押す**

セットアップメニューに戻ります。
以降、変更するまで、この設定で表示されます。

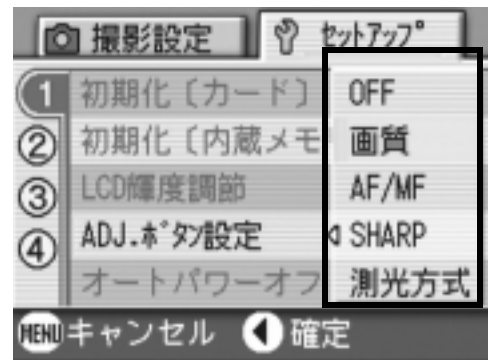
ADJ.ボタンに機能を設定する（ADJ.ボタン設定）

ADJ.ボタンは、1回押すごとに、露出補正→ホワイトバランスやISO感度の順に各機能の設定画面を表示します。
[ADJ.ボタン設定]では、ADJ.ボタンを4回目に押したときに働く機能を設定することができます。

設定できる値	参照先
OFF* 購入時の設定	
画質（画質・サイズ）	P.60
AF/MF（フォーカス）	P.62
SHARP（シャープネス）	P.66
測光方式	P.65

ADJ.ボタンに機能を設定するには、次のように操作します。

1. **セットアップメニューを表示する**
   操作手順は、P.107を参照してください。

2. **▼ボタンを押して、[ADJ.ボタン設定]を選び、**OK**ボタンまたは▶ボタンを押す**
3. **▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ**
4. OK**ボタンまたは◀ボタンを押す**
5. **手順4.で◀ボタンを押した場合には、**MENU**ボタンを押す**
   以降、変更するまで、この設定です。

メモ

[ADJ.ボタン設定]で機能を設定した場合には、マクロ撮影時にADJ.ボタンで使うことのできるAFターゲット移動機能（→P.83）は、ADJ.ボタンを5回目に押したときに働きます。

参照

ADJ.ボタンの使いかた→P.57

オートパワーオフの設定を変える（オートパワーオフ）

設定した時間内にカメラの操作をしないと、節電のために自動的に電源がオフになります(オートパワーオフ)。
購入時のオートパワーオフは1分に設定されていますが、この設定を変更することができます。

設定できる値
OFF（オートパワーオフ機能は働きません）
1分 * 購入時の設定
5分
30分

オートパワーの設定を変えるには、次のように操作します。

1. セットアップメニューを表示する

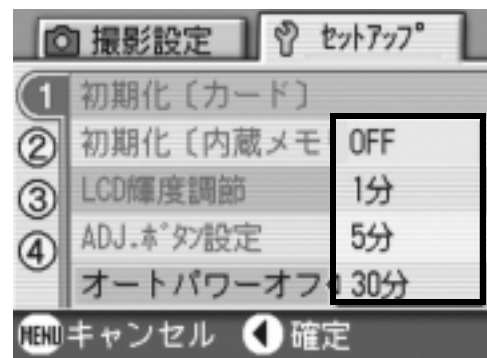
操作手順は、P.107を参照してください。

2. ▼ボタンを押して、[オートパワーオフ]を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押す

3. ▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ

4. OKボタンまたは◀ボタンを押す

5. 手順4.で◀ボタンを押した場合には、MENUボタンを押す

以降、変更するまで、この設定です。

メモ

- オートパワーオフで電源がオフになったとき、引き続きカメラを使用したい場合には、いったん電源スイッチをスライドさせてレンズカバーを閉じ、再度電源スイッチをスライドさせてレンズカバーを開き、電源をオンにします。なお、再生ボタンを押すとレンズカバーは開きませんが、電源がオンになり、再生モードで使用できます。
- オートパワーオフは、パソコンと接続しているときには働きません。
- インターバル撮影をするときには、ここでの設定は無効になり、オートパワーオフは働きません。

ブザー音の設定を変える（ブザー音）

カメラの操作中には、起動音、シャッター音、フォーカスが合ったときの音、警告音の４種類のブザー音が鳴ります。

起動音	:	カメラの電源をオンにしたときに鳴ります。
シャッター音	:	シャッターボタンを押したときに鳴ります。
フォーカスが合ったときの音	:	シャッターボタンを半押しして、ピントが合ったときに「ピピッ」という音が鳴ります。
警告音	:	実行できない動作を行おうとしたときに「ピピピピピ」という音が鳴ります。

設定できる値
シャッター音（シャッター音、警告音）
すべて（すべて鳴らす）＊購入時の設定

ブザー音の設定を変更するには、次のように操作します。

1. **セットアップメニューを表示する**

操作手順は、P.107を参照してください。

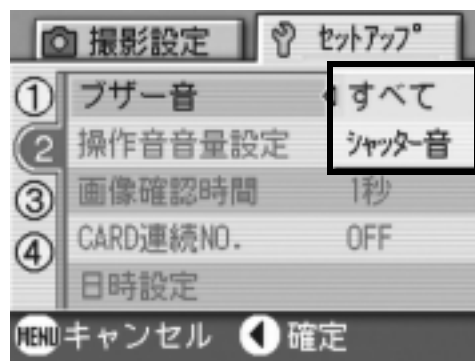
2. **▼ボタンを押して、[ブザー音]を選び、Oボタンまたは▶ボタンを押す**

3. **▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ**

4. OK**ボタンまたは◀ボタンを押す**

5. **手順4.で◀ボタンを押した場合には、**MENU**ボタンを押す**

以降、変更するまで、この設定です。

参照

音量を調整するには→ P.114

ブザー音の音量を変える（操作音音量設定）

ブザー音の音量を変更できます。

設定できる値
□□□（なし）
■□□（音量小）
■■□（音量中）＊購入時の設定
■■■（音量大）

ブザー音の音量を変更するには、次のように操作します。

1. セットアップメニューを表示する

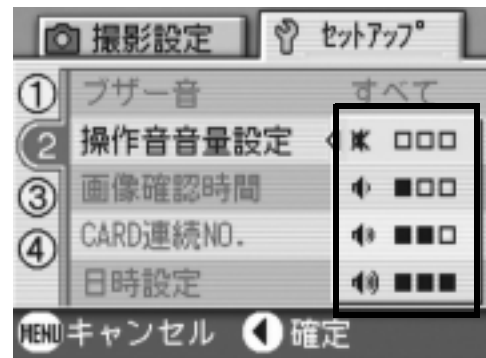
操作手順は、P.107を参照してください。

2. ▼ボタンを押して、[操作音音量設定]を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押す

3. ▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ

4. OKボタンまたは◀ボタンを押す

5. 手順4.で◀ボタンを押した場合には、MENUボタンを押す

以降、変更するまで、この設定です。

画像確認時間を変える（画像確認時間）

シャッターボタンを押した直後に、撮影した静止画が確認のために表示されます。
確認時間は、購入時には 1 秒に設定されていますが、設定を変更することができます。

設定できる値
OFF（確認のための表示を行わない）
1 秒 * 購入時の設定
2 秒
3 秒

確認時間を変更するには、次のように操作します。

1. セットアップメニューを表示する

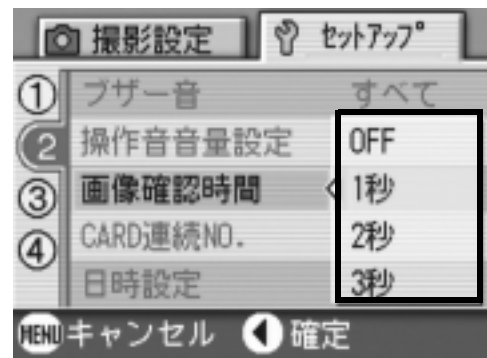
操作手順は、P.107を参照してください。

2. ▼ボタンを押して、[画像確認時間]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

3. ▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ

4. OK ボタンまたは◀ボタンを押す

5. 手順4.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

以降、変更するまで、この設定です。

ファイル名の設定を変える（CARD 連続 NO.）

撮影した静止画には、自動的に連番のファイル名が付き、内蔵メモリーや SD メモリーカードに記録されます。
SD メモリーカードを入れ替えた場合のファイル名を、前のカードからの 連番にするか、しないかを設定できます。

設定できる値	
ON（連番にする）	撮影した静止画に、R0010001.jpg ～ R9999999.jpg までの、「R」の後に 7 桁の通し番号が付いたファイル名が、自動的に付きます。 SD メモリーカードを別のカードに替えたときにも、前のカード からの連番でファイル名が付くように設定されています。
OFF（連番にしない）＊ 購入時の設定	新しいカードをセットするたびに、RIMG0001.jpg ～ RIMG9999.jpg までのファイル名が付きます。 RIMG9999 を超えると、それ以上は記録できません。

ファイル名の設定を変更するには、次のように操作します。

1. セットアップメニューを表示する

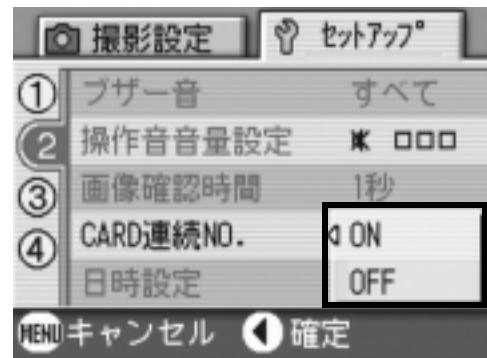
操作手順は、P.107を参照してください。

2. ▼ボタンを押して、[CARD連番NO.]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

3. ▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ

4. OK ボタンまたは◀ボタンを押す

5. 手順4.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

以降、変更するまで、この設定です。

メモ

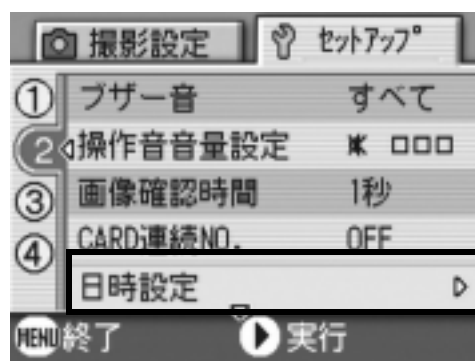
・内蔵メモリーに記録する場合には、常に [CARD 連番 NO.] の設定が [OFF] の場合と同じにファイル名が付けられます。
・パソコンに転送する際に、パソコンの転送先に同じファイル名のファイルがある場合は、上書きを避けるために新しいファイル名に置き換えられて保存されます。
・USB ケーブル（付属）を使ってカメラからパソコンに転送した場合は、[CARD 連続 NO.] を ON にしていても、ファイル名は「RIMG****.jpg」（**** は番号）で保存されます。

日付時刻を設定する（日時設定）

静止画に日付や時刻を入れて撮影することができます。
ここでは、セットアップメニューからの日付時刻の設定方法を説明します。

1. セットアップメニューを表示する

操作手順は、P.107を参照してください。

2. ▼ボタンを押して、[日時設定]を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押す

3. ▲▼◀▶ボタンを押して、年・月・日・時・分を設定する

▲▼ ボタンを押し続けると、高速で数値を増減させることができます。

4. [書式]で日時の書式を選ぶ

5. 画面の表示を確認し、OKボタンを押す

日時が設定されて、セットアップメニューに戻ります。

メモ

電池を取り出してから約 1 週間経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。再度、設定しなおしてください。

表示言語を変える（LANGUAGE/ 言語）

液晶モニターに表示される言語を変更することができます。

設定できる値
日本語（日本語）＊購入時の設定
ENGLISH（英語）
DEUTSCH（ドイツ語）
FRANÇAIS（フランス語）
ITALIANO（イタリア語）
ESPAÑOL（スペイン語）
簡体中文（中国語：簡体字）
繁体中文（中国語：繁体字）
한국어（韓国語）

表示言語を変えるには、次のように操作します。

1. セットアップメニューを表示する

操作手順は、P.107を参照してください。

2. ▼ボタンを押して、[LANGUAGE/言語]を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押す

言語選択画面が表示されます。

3. ▲▼◀▶ボタンを押して、設定値を選ぶ

4. OKボタンを押す

以降、変更するまで、この設定で表示されます。

テレビで見るときの再生方式を変える（ビデオ方式）

付属のAVケーブルでテレビにカメラを接続して、テレビの画面で静止画や動画を見ることができます。
テレビなどの機器でのビデオ方式はNTSC方式(日本などで使用されている)に設定されています。接続する機器がPAL方式(ヨーロッパ等で使用されている)の場合には、PAL方式に設定してから接続します。

設定できる値
NTSC* 購入時の設定
PAL

再生方式を変更するには、次のように操作します。

1. セットアップメニューを表示する

操作手順は、P.107を参照してください。

2. ▼ボタンを押して、[ビデオ方式]を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押す

3. ▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ

4. OKボタンまたは◀ボタンを押す

5. 手順4.で◀ボタンを押した場合には、MENUボタンを押す

以降、変更するまで、この設定です。

メモ

AVケーブルをカメラに接続している間は、液晶モニターの表示が消えます。

参照

テレビの画面で静止画を見るには→ P.46

ステップズームの設定を変更する（ステップズーム）

ズームの焦点距離を、5 段階（35mm フィルムカメラ換算でおよそ 28mm、35mm、50mm、85mm、135mm）に固定することができます（ステップズーム）。

設定できる値
OFF* 購入時の設定
ON

ステップズームを使用する（オン）か、使用しないか（オフ）を設定するには、次のように操作します。

1. **セットアップメニューを表示する**
   操作手順は、P.107を参照してください。
2. **▼ボタンを押して、[ステップズーム]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す**
3. **▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ**
4. OK **ボタンまたは◀ボタンを押す**
5. **手順4.で◀ボタンを押した場合には、** MENU **ボタンを押す**
   以降、変更するまで、この設定です。

メモ

マクロモード選択時、ステップズームの焦点距離は 4 段階（35mm フィルムカメラ換算でおよそ 35mm、50mm、85mm、135mm）になります。

参照

ズームを使うには→ P.35

設定変更の警告を表示する（撮影設定警告）

次の機能の初期設定を変更した場合に、変更した機能のアイコンを点滅させたり、電源投入時に変更があったことを知らせる警告メッセージを約5秒間表示するように設定できます。

・ホワイトバランス
・フォーカス
・ISO 感度
・露出補正
・長時間露光

アイコン点滅中にカメラのキー操作を行うと、アイコンは点灯に変わります。
警告メッセージ表示中にカメラのキー操作を行うと、メッセージは消えます。

設定できる値
OFF
ON* 購入時の設定

撮影設定警告を行うか（オン）、行わないか（オフ）を設定するには、次のように操作します。

1. セットアップメニューを表示する

操作手順は、P.107を参照してください。

2. ▼ボタンを押して、[撮影設定警告]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

3. ▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ

4. OK ボタンまたは◀ボタンを押す

5. 手順4.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

以降、変更するまで、この設定です。

USB 通信方式を変える（USB 接続）

USB通信方式を変更する（セットアップメニューの[USB接続]で[マスストレージ] を選択する）と、カメラからパソコンに USB ケーブルを使って画像を転送する際に、付属のアプリケーションや USB ドライバーなどをインストールしなくてもカメラの中のファイルを参照できるようになります。
通常は[オリジナル]を選択しておきます。[オリジナル]の設定にしておくと、付属の RICOH Gate La や Caplio Transfer Software を使って、パソコンへ画像の転送ができます。

モード	マスストレージ	オリジナル
取り込み方法	カメラ内の SD メモリーカード / 内蔵メモリーのファイルを、外付けドライブとして直接操作できます。	RICOH Gate La を使ったパソコンへの自動転送ができます。 Caplio Transfer Software を使った Ridoc Desk 2000 Lt （Windows のみ）への転送ができます。 マウンターによるパソコンへの転送ができます。（Mac OS）
Caplio CD-ROM からのインストール	必要ありません。	必要です。
対応 OS（以下すべて日本語版）		
Windows 98/98 SE	×	○
Windows 2000 Professional	○	○
Windows Me	○	○
Windows XP Home Edition	○	○
Windows XP Professional	○	○
Mac OS 8.6	×	○
Mac OS 9.0 ～ 9.2.2	○	○
Mac OS X 10.1.2 ～ 10.3	○	○
対象	OS のファイル操作に慣れている方 USB ドライバーなどをインストールしたくない方	パソコンへの取り込みを自動化したい方 Windows98/98 Second Edition をお使いの方 Mac OS 8.6 をお使いの方

注意

- [マスストレージ] 時は RICOH Gate La や Caplio Transfer Software による転送はできません。
- [マスストレージ] 時に行えるファイル操作はカメラからの読み込みのみです。カメラへの書き込みや、削除はできません。
- カメラのセットアップメニュー［USB 接続］が［マスストレージ］のままでは、ご使用のプリンターによってはダイレクトプリントできない場合があります。その場合は、［オリジナル］を選択して下さい。

USB通信方式を変更するには、次のように操作します。

1. セットアップメニューを表示する

操作手順は、P.107を参照してください。

2. ▼ボタンを押して、[USB接続] を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

3. ▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ

4. OK ボタンまたは◀ボタンを押す

5. 手順4.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

以降、変更するまで、この設定です。

参照

カメラをパソコンに USB ケーブルで接続して、画像を転送するには→『使用説明書（ソフトウェア編）』

マスストレージモードで画像を転送するには

1. **セットアップメニューの[USB接続]を[マスストレージ]に変更する**

2. **カメラの電源がオフになっていることを確認する**

3. **付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する**

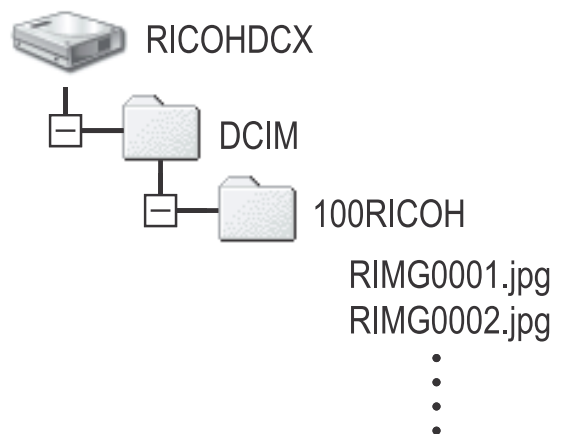
4. **USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する**

カメラの電源がオンになります。
カメラをドライブとして認識するために必要なファイルが自動的に読み込まれます。
準備が終わると、Windows の場合は [マイコンピュータ] に、Macintosh の場合はデスクトップにドライブとして表示されます。

RICOHDCX (O:)

Windows XPでの表示例

5. **表示されたドライブから、任意の場所にファイルをコピーする**

ドライブのフォルダ構成は右図のようになっています。
内蔵メモリーの内容が表示されているときは、ドライブ名は「RICOHDCI」になります。

注意

転送中は USB ケーブルを抜かないでください。

メモ

表示される内容は、SD メモリーカードがセットされているときは SD メモリーカードのファイルを、SD メモリーカードがセットされていないときは内蔵メモリーのファイルを表示します。

カメラとパソコンの接続を解除する（Windows の場合）

表示はWindows XPの例です。他のOSでは用語が異なりますが、操作は同じです。

1. **タスクバーの右端にある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをダブルクリックする**

2. **[USB大容量記憶装置デバイス]を選び、[停止]をクリックする**
3. **[USB大容量記憶装置デバイス]が選ばれていることを確認して、[OK]をクリックする**
4. **[OK]をクリックする**

カメラとパソコンの接続を解除する（Macintosh の場合）

1. **表示されたドライブを「ゴミ箱」に入れる**

アイコンを大きく表示するには（撮影アイコン拡大）

撮影画面のアイコンを大きく表示します。
この設定では、次のアイコンが大きく表示されます。
・フラッシュ
・マクロ撮影
・セルフタイマー
・ホワイトバランス
・フォーカス
・露出補正
・ISO感度

なお、アイコンを大きく表示した場合、次のものは表示されません。
・ズームバー/フォーカスバー
・日付/時刻
・シャープネス
・色の濃さ

撮影画面のアイコンを大きく表示するには、次のように操作します。

1. セットアップメニューを表示する

操作手順は、P.107を参照してください。

2. ▼ボタンを押して[撮影アイコン拡大]を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押す

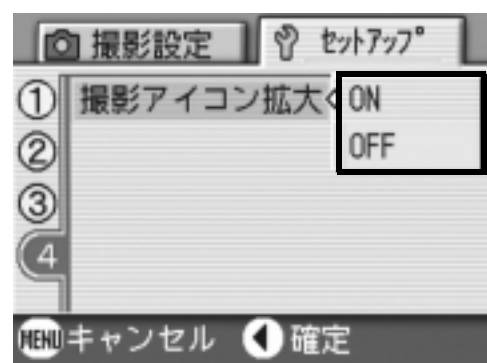
3. ▲▼ボタンを押して、[ON]を選ぶ

4. OKボタンまたは◀ボタンを押す

撮影アイコン拡大の設定が完了します。

5. 手順4.で◀ボタンを押した場合には、MENUボタンを押す

以降、変更するまで、この設定で表示されます。

4章

ソフトウェアをインストールするとき

ソフトウェアをインストールする（Windows をご使用の場合）.. 128
ソフトウェアをインストールする（Macintosh をご使用の場合）.. 143

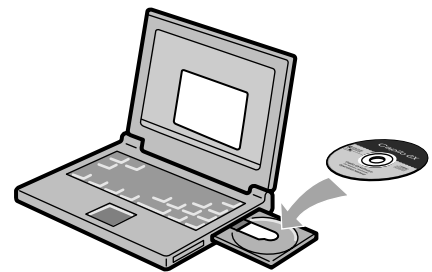
ソフトウェアをインストールする（Windowsをご使用の場合）

画像をパソコンに取り込むためのソフトウェアをパソコンに入れます（この操作を「インストール」といいます。）

参照

画像をパソコンに取り込む方法については、Caplio Software CD-ROM に収められている『使用説明書（ソフトウェア編）』を参照してください。『使用説明書（ソフトウェア編）』の表示方法については、P.130 を参照してください。

注意

必ずカメラとパソコンをケーブルでつなぐ前に、ソフトウェアをパソコンに入れてください。

Caplio Software CD-ROM でインストールできるソフトウェア

Caplio Software CD-ROM をパソコンにセットすると、次の画面が自動的に表示されます。

項目名	内容	参照先
Caplio ソフトウェア のインストール	カメラや画像を取り扱うために必要なソフトウェアをすべてインストールできます。	P.132
Caplio レスキューの起動	Caplio レスキューを起動することができます。	P.155
使用説明書（ソフトウェア編）を見る	『使用説明書（ソフトウェア編）』（PDF）を表示することができます。	P.130
CD-ROM の内容を見る	付属の CD-ROM 内のファイル一覧を表示することができます。	P.130

項目名	内容	参照先
RICOH ホームページへ	リコーのホームページを表示することができます。（インターネットに接続できる状態の場合）	-
Caplio ホームページへ	リコーのデジタルカメラ Caplio シリーズのホームページを表示することができます。（インターネットに接続できる状態の場合）	-
DIGICLIP ホームページへ	リコーの画像活用ソフトウェア DIGICLIP シリーズのホームページを表示することができます。（インターネットに接続できる状態の場合）	-

[Caplio ソフトウェア のインストール] をクリックすると・・・(→ P.132)

次のソフトウェアがインストールされます。

ソフトウェア名	Windows		説明
	XP	98	
RICOH Gate La	○	○	画像を一括して取り込めます。
ImageMixer	○	○	撮影した画像を表示 / 編集したり、Video CD を作成することができます。 動画を扱うには DirectX（→ P.137）が必要です。
USB ドライバー	○	○	カメラとパソコンを接続するときに使います。
WIA ドライバー	○		画像を取り込むときに使います。
マウンター			カメラとパソコンを接続するときに使います。
Caplio レスキュー	○	○	パソコンのソフトウェアのトラブルシューティング（操作に困ったときのアドバイスを表示する）を表示します。
List Editor	○	○	本機種では使用しません。他の Caplio シリーズのカメラをお使いの場合に使用します。
Caplio Setting	○	○	
Caplio Server	○	○	

XP:Windows XP　　98:Windows 98/98SE/Me/2000

参照

本機には、パソコン内の画像を表示したり、編集したりできるソフトウェア ImageMixer が付属しています。ImageMixer の使いかたについては、ImageMixer の画面上に表示される「？」ボタンをクリックして表示されるマニュアルを参照してください。
なお、ImageMixer についての最新の情報は、開発元の株式会社ピクセラのホームページ（http://www.imagemixer.com）を参照してください。

[使用説明書（ソフトウェア編）を見る] をクリックすると・・・

CD-ROM 内の『使用説明書(ソフトウェア編)』(PDF ファイル)を表示することができます。Windows をお使いの方で、すでに Acrobat Reader がパソコンにインストールされている場合はダブルクリックするだけで表示できます。
Acrobat Reader がインストールされていない場合は、Acrobat Readerをインストールする必要があります(→P.136参照)。

[CD-ROM の内容を見る] をクリックすると・・・

CD-ROM内のフォルダやファイルを確認できます。
CD-ROM には、Caplio ソフトウェア以外に、次のソフトウェアが収められています。Windows 環境では、これらのソフトウェアをご使用いただけます。
各ソフトウェアのインストールについては、下表の「参照」に記載したページをご覧ください。

ソフトウェア名	説明	参照
Acrobat Reader	『使用説明書（ソフトウェア編）』を読むために必要なソフトウェアです。	P.136
DirectX	ImageMixer で動画を再生するために必要なソフトウェアです。	P.137
Ridoc Desk 2000 Lt	ビジネス文書を管理するためのソフトウェアです。文書の更新を監視する Auto Document リンクを使って、カメラ内の画像を Ridoc に登録することもできます。	P.138
Caplio Transfer Software	画像を Ridoc に登録したり、カメラメモつきの画像をカメラメモの内容によって分類し、パソコンのフォルダに転送・保存したりするためのソフトウェアです。カメラメモは、本カメラでは使用できません。	P.140

参照

- Acrobat Reader については、Acrobat Reader のヘルプを参照してください。
- Ridoc Desk 2000 Lt については、Ridoc Desk 2000 Lt に付属の『はじめてガイド』、『セットアップガイド』、『Ridoc Auto Document リンクガイド』（以上 PDF ファイル）、およびヘルプを参照してください。
- Auto Document リンクについては、『Ridoc Auto Document リンクガイド』（PDF ファイル）を参照してください。
- ImageMixer は「ImageMixer」フォルダ内の Setup.exe をダブルクリックすることで、ImageMixer のみをインストールすることができます。

付属ソフトウェアを使うために必要な環境

付属ソフトウェアを使うためには、次の環境が必要です。
ご使用のパソコンやパソコンの説明書等で、ご確認ください。

対応 OS	Windows 98/98 Second Edition（日本語版）
	Windows 2000 Professional（日本語版）
	Windows Me（日本語版）
	Windows XP Home Edition（日本語版）/Professional（日本語版）
CPU	Pentium® III　500MHz 以上
メモリー	Windows 98/98SE：128MB 以上
	Windows 2000：128MB 以上
	Windows Me：128MB 以上
	Windows XP：256MB 以上
インストール時のハードディスクの空き容量	Windows 98/98SE：500MB 以上
	Windows 2000：500MB 以上
	Windows Me：500MB 以上
	Windows XP：500MB 以上
ディスプレイの解像度	800 × 600 ドット以上
ディスプレイの表示色	65000 色以上
CD-ROM ドライブ	上記パソコン本体で使用可能な CD-ROM ドライブ
USB ポート	上記パソコン本体で使用可能な USB ポート

注意

- OS をアップグレードしたパソコンの場合，正常に USB 機能が動作しないことがありサポートできません。
- OS のシステム環境の変化やサービスパックなどのリリースにより、正しく動作しないことがあります。
- 拡張機能（PCI バスなど）を利用して増設した USB ポートへの接続はサポートできません。
- HUB 等の他の USB 機器との組合せで使用した場合、正しく動作しないことがあります。
- 動画などの大きなファイルを扱う場合は、より大きなメモリー環境で利用することをお薦めします。

参照

SD メモリーカードを使ってパソコンに画像を取り込むときには→『使用説明書（ソフトウェア編）』

ソフトウェアをパソコンに入れる

注意

- まだ、カメラとパソコンを接続しないでください。もし、ソフトウェアを入れる前にカメラとパソコンを接続して画面に［新しいハードウェアの追加ウィザード］画面が表示されてしまった場合には、［キャンセル］をクリックしてカメラとパソコンの接続を外してから、インストールの操作を行ってください。
- インストール中に、従来機種の Caplio ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールするようにメッセージが表示された場合は、メッセージに従って、従来機種の Caplio ソフトウェアをアンインストールしてから、再度インストールしてください。新しい Caplio ソフトウェアをインストールしても、画像の取り込みなど、従来機種もこれまでと同様にお使いいただけます。（アンインストール方法→ P.141）
- Windows XP、Windows 2000 の場合、インストールは管理者権限を持ったユーザーが行ってください。

メモ

ここでは Windows XP の画面例を使用しています。

1. パソコンを起動し、CD-ROM ドライブに、付属の Caplio SoftwareCD-ROM をセットする

パソコンの画面に、自動的に右の画面が表示されます。

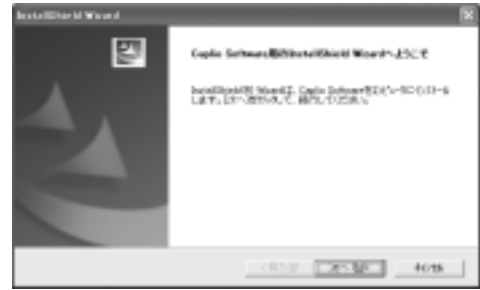
2. [Caplioソフトウェアのインストール]をクリックする

しばらくすると［設定言語の選択］画面が表示されます。

3. 言語を選択し、[OK]をクリックする

［InstallShield ウィザードへようこそ］画面が表示されます。

4. [次へ]をクリックする

[インストール先の選択]画面が表示されます。

5. インストール先を確認して[次へ]をクリックする

[プログラムフォルダの選択]画面が表示されます。

6. プログラムフォルダを確認して[次へ]をクリックする

Caplio レスキュー（トラブルシューティングソフトウェア）を起動するショートカットをデスクトップに作成するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

7. [はい]または[いいえ]をクリックする

[はい][いいえ]のどちらを選択しても、[スタート]メニューの[プログラム]-[Caplio Software]-[Caplio レスキュー(トラブルシューティング)]にプログラムが登録されます。
続けてImageMixerのインストーラが起動します。

8. [完了]をクリックする

9. パソコンを再起動する

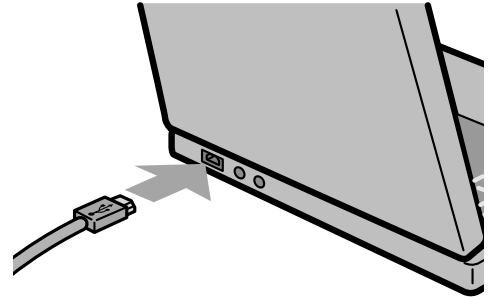
参照

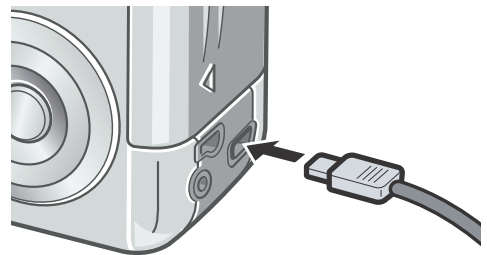
ソフトウェアをパソコンから削除（アンインストール）するには→ P.141

カメラとパソコンを接続する

ソフトをパソコンに入れたら、カメラとパソコンを接続します。

1. カメラの電源がオフになっていることを確認する

2. 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

3. USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する

カメラの電源がオンになります。

Windows XP の場合

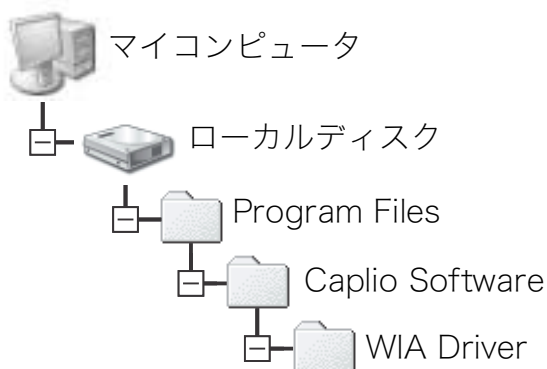
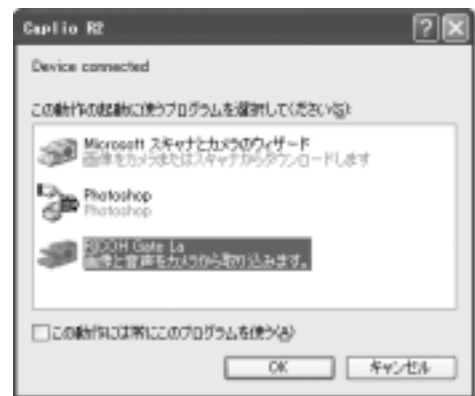
はじめてカメラと PC を USB ケーブルで接続すると [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。

1. [ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）] を選択する

2. 付属のCaplio SoftWare CD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

自動的に WIA Driver のインストールが開始されます。なお、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されたときに、すでに CD-ROM がパソコンにセットされていた場合には、[次へ] を選択するとインストールが開始されます。

メモ

WIA Driver は、インストーラの初期設定では以下の場所にも保存されています。

3. [RICOH Gate La] を選択し、[この動作には常にこのプログラムを使う] にチェックを入れて、[OK] をクリックする

Windows XP の「スキャナとカメラのウィザード」機能を使ってカメラから画像を取り込みたい場合には、[Microsoft スキャナとカメラのウィザード] を選択してください。
[この動作には常にこのプログラムを使う] にチェックを付けなければ、取り込みの際に毎回 [Caplio R2] 画面が表示されて取り込みの方法（RICOH Gate La またはスキャナとカメラのウィザード）を選択できます。
Windows XP Service Pack2 をお使いの方で、警告メッセージが表示された場合は、P.156 をご覧ください。

カメラとパソコンの接続をやめるには

1. カメラの電源をオフにする

2. USBケーブルを外す

メモ

カメラから画像を取り込む場合には、電源に AC アダプター（別売り）を使用することをお勧めします。

Acrobat Reader をインストールする

Acrobat Reader は、使用説明書（PDF ファイル）表示をするためのソフトウェアです。
Windowsをご使用の場合には、Acrobat Readerをインストールすることができます。
なお、すでに Acrobat Reader がパソコンにインストールされている場合には、インストールする必要はありません。

注意

- インストールは、カメラをパソコンを USB ケーブルで接続した状態では行わないでください。
- Windows XP、Windows 2000 の場合、インストールは管理者権限をもったユーザーが行ってください。

1. パソコンを起動し、CD-ROM ドライブに、付属の Caplio Software CD-ROM をセットする

パソコンの画面に、自動的に次の画面が表示されます。

2. [CD-ROMの内容を見る]をクリックする

CD-ROM内のファイル一覧が表示されます。

3. [Acrobat] フォルダをダブルクリックする

4. [Japanese] フォルダをダブルクリックする

5. [ar505jpn]（ar505jpn.exe）をダブルクリックする

6. 表示されるメッセージにしたがって操作を行い、Acrobat Readerをインストールする

DirectX をインストールする

DirectX は、ImageMixer で動画ファイルを再生するためのソフトウェアです。
DirectX のバージョンが 8.1 より古いと動画再生ができませんので、新しいものをインストールしてください。
なお、Windows XP には、新しいものがインストールされていますので、改めてインストールする必要はありません。

注意

- インストールは、カメラをパソコンを USB ケーブルで接続した状態では行わないでください。
- Windows XP、Windows 2000 の場合、インストールは管理者権限をもったユーザーが行ってください。

1. パソコンを起動し、CD-ROM ドライブに、付属の Caplio Software CD-ROM をセットする

2. [CD-ROM の内容を見る] をクリックする

3. [DirectX] フォルダをダブルクリックする

4. [Japanese] フォルダをダブルクリックする

5. 以下のファイルをダブルクリックする

Windows98/98SE/Me の場合	[Win98Me] フォルダ内の [DX81xxx.exe]
Windows2000 の場合	[Win2000] フォルダ内の [DX81NTxxx.exe]

Ridoc Desk 2000 Lt

ビジネス文書を管理するためのソフトウェアです。デジタルカメラで撮影した静止画だけでなく、スキャナから読み取った文書やアプリケーションで作成した文書、イメージファイルなど、さまざまな文書を管理することができます。異なるファイル形式のものを1つの文書にまとめて保管することも可能です。
また、文書の更新を監視するAuto Documentリンクを使って、カメラから画像を取り込み、Ridocへ登録することもできます。

メモ

Ridoc Desk 2000 LtとCaplio Transfer Softwareは日本国内向けのアプリケーションです。他の言語環境では使用できません。
(Ridoc Desk 2000 Lt and Caplio Transfer Software are provided only as Japanese version. Other language is not supported.)

参照

Ridoc Desk 2000 Lt の使用方法については、Ridoc Desk 2000 Lt と同時にインストールされる『はじめてガイド』、『セットアップガイド』、『Ridoc Auto Document リンクガイド』(以上 PDF ファイル)、およびヘルプを参照してください。

注意

・Ridoc Desk 2000 Lt に付属の Auto Document リンクでカメラから画像を取り込む場合には、Ridoc Desk 2000 Lt をインストールする前に、Caplio Software をインストールしてください(→ P.132)。Auto Document リンクを使用するには、Caplio Software に含まれるドライバーソフトウェアが必要です。
・インストールは、カメラをパソコンを USB ケーブルで接続した状態では行わないでください。
・Windows XP、Windows 2000 の場合、インストールは管理者権限をもったユーザーが行ってください。

1. **パソコンを起動し、CD-ROM ドライブに、付属の Caplio Software CD-ROM をセットする**

2. **[CD-ROMの内容を見る] をクリックする**

CD-ROM 内のファイル一覧が表示されます。

3. **[Ridoc Desk] フォルダをダブルクリックする**

4. **[InstRidc]（InstRidc.exe）をダブルクリックする**

5. **Ridoc Desk 2000 Ltのボタンをクリックする**

6. **表示されるメッセージにしたがって操作を行い、Ridoc Desk 2000 Lt をインストールする**

インストールが完了すると、自動的に Windows が再起動します。

注意

- Ridoc Desk 2000 Lt の AutoDocument リンクで、カメラから画像を取り込む場合は、RICOH Gate La の [オプション設定] 画面で、[USB 接続時、自動保存を行う] のチェックを外してください（→「使用説明書（ソフトウェア編）」）またカメラから画像を取り込む前に、カメラの日付設定で、日付を設定してください（→ P.117）。
- カメラを接続して Ridoc Desk 2000 Lt を開いたままでカメラの電源をオフ / オンした場合は、パソコンを再起動して再度接続してください。

Caplio Transfer Software

画像を Ridoc に登録したり、カメラメモつき画像をカメラメモの内容によって分類し、パソコンのフォルダに転送、保存したりするためのソフトウェアです。

メモ

カメラメモは本カメラでは使用できません。

参照

Caplio Transfer Software の使用方法については、CD-ROM 内の Readme ファイル（Readme.txt）を参照してください。

注意

・インストールは、カメラをパソコンを USB ケーブルで接続した状態では行わないでください。
・Windows XP、Windows 2000 の場合、インストールは管理者権限をもったユーザーが行ってください。

1. パソコンを起動し、CD-ROM ドライブに、付属の Caplio Software CD-ROM をセットする

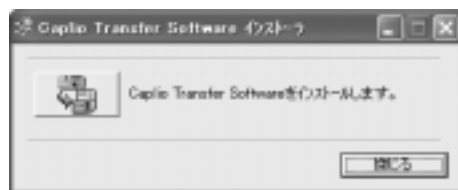
2. [CD-ROMの内容を見る] をクリックする

CD-ROM 内のファイル一覧が表示されます。

3. [Caplio Transfer] フォルダをダブルクリックする

4. [InstTrns] (InstTrns.exe) をダブルクリックする

5. Caplio Transfer Softwareのボタンをクリックする

6. 表示されるメッセージにしたがって操作を行い、Caplio Transfer Softwareをインストールする

ソフトウェアを削除（アンインストール）するには

注意

・Windows XP、Windows 2000 の場合、アンインストールは管理者権限を持ったユーザーが行ってください。
・他のソフトウェアが起動していたり、保存していないデータがある場合は、データを保存し、ソフトウェアを終了てからアンインストールしてください。

1. **Windows のタスクバーから [スタート] をクリックする**

2. **[設定]-[コントロールパネル](XPの場合は[コントロールパネル])を選択する**

3. **[アプリケーションの追加と削除]アイコン(XPの場合は[プログラムの追加と削除]アイコン)をダブルクリックする**

4. **[Caplio Software]を選択し、[追加と削除]をクリックする**

5. **ファイル削除のメッセージを確認し、[OK]をクリックする**

[共有ファイルの検出] ダイアログが表示されます。

6. **[次回からこのメッセージを表示しない]のチェックボックスにチェックを入れて、[OK]をクリックする**

削除が始まります。完了したらウィンドウを閉じてください。

ImageMixer を削除（アンインストール）するには

注意

・Windows XP、Windows 2000 の場合、アンインストールは管理者権限を持ったユーザーが行ってください。
・他のソフトウェアが起動していたり、保存していないデータがある場合は、データを保存し、ソフトウェアを終了してからアンインストールしてください。

1. **Windows のタスクバーから[スタート]をクリックする**
2. **[設定]-[コントロールパネル]（XPの場合は[コントロールパネル]）を表示する**
3. **[アプリケーションの追加と削除]アイコン（XPの場合は[プログラムの追加と削除]アイコン）をダブルクリックする**
4. **[ImageMixer]を選択し、[追加と削除]をクリックする**
5. **ファイル削除のメッセージを確認し、[OK]をクリックする**
6. **[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択し、[完了]をクリックする**

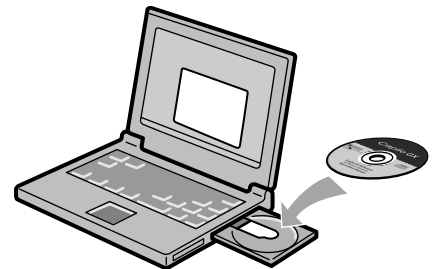
ソフトウェアをインストールする (Macintoshをご使用の場合)

画像をパソコンに取り込むためのソフトウェアをパソコンに入れます(この操作を「インストール」といいます。)

参照

画像をパソコンに取り込む方法については、Caplio Software CD-ROMに収められている『使用説明書(ソフトウェア編)』を参照してください。『使用説明書(ソフトウェア編)』の表示方法については、P.144を参照してください。

注意

必ずカメラとパソコンをケーブルでつなぐ前に、ソフトウェアをパソコンに入れてください。

Caplio Software CD-ROMでインストールできるソフトウェア

Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットすると、次の画面が自動的に表示されます。

項目名	内容	参照先
Caplio ソフトウェア のインストール	カメラや画像を取り扱うために必要なソフトウェアをすべてインストールできます。	P.144
使用説明書(ソフトウェア編)を見る	『使用説明書(ソフトウェア編)』(PDF)を表示することができます。	P.144
CD-ROMの内容を見る	付属のCD-ROM内のファイル一覧を表示することができます。	P.144

[Caplio ソフトウェア のインストール] をクリックすると・・・

次のソフトウェアがインストールされます。

ソフトウェア名	Mac		説明
	9	X	
RICOH Gate La	○		画像を一括して取り込めます。
USB ドライバー	○	○	カメラとパソコンを接続するときに使います。
マウンター	○	○	カメラとパソコンを接続するときに使います。

9:Mac OS 8.6 ～ 9.2.2　　X :Mac OS X 10.1.2 ～ 10.3

[使用説明書（ソフトウェア編）を見る] をクリックすると・・・

CD-ROM 内の『使用説明書(ソフトウェア編)』(PDF ファイル)を表示することができます。
Acrobat Reader がインストールされていない場合は、Acrobat Readerをインストールする必要があります。

[CD-ROM の内容を見る] をクリックすると・・・

CD-ROM内のフォルダやファイルを確認できます。

付属ソフトウェアを使うために必要な環境

付属ソフトウェアを使うためには、次の環境が必要です。
ご使用のパソコンやパソコンの説明書等で、ご確認ください。

項目	条件	
基本ソフトウェア	Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 / Mac OS X 10.1.2 ～ 10.3	
Macintosh 本体	本体 USB ポートを標準装備している Apple 社製 Macintosh シリーズ	
内蔵メモリー	Mac OS 8.6 ～ 9.2.2	96MB 以上（推奨 128MB 以上）
	Mac OS X 10.1.2 ～ 10.3	128MB 以上（推奨 256MB 以上）
アプリケーション割り当てメモリー（Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 の場合）	圧縮ユーティリティーを使用せずに、アプリケーションメモリーとして 16MB 以上（推奨 24MB 以上）	
ハードディスクの空き容量	Mac OS 8.6 ～ 9.2.2	10MB 以上（インストール時）
	Mac OS X 10.1.2 ～ 10.3	100MB 以上（インストール時）
	100MB 以上（動作時）	
ディスプレイの解像度	640 × 480 ドット以上（推奨 800 × 600 ドット以上）	
ディスプレイの表示色	256 色以上（推奨 32000 色以上）	
CD-ROM ドライブ	上記 Macintosh 本体で使用可能な CD-ROM ドライブ	
USB ポート	上記 Macintosh 本体で使用可能な USB ポート	

注意

- OS のシステム環境の変化などにより、正しく動作しないことがあります。
- 拡張機能（PCI バスなど）を利用して後付された USB ポートへの接続はサポートできません。
- HUB 等の他の USB 機器との組合せで使用した場合、正しく動作しないことがあります。

メモ

- 動画などの大きなファイルを扱う場合は、より大きなメモリー環境で利用する事をお薦めします。
- Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 の場合、より大きなメモリー環境で利用するとともに、より多くのアプリケーションメモリを割り当ててください。
- ディスプレイの表示色は、256 色以上表示できれば動作しますが、できるだけ 32000 色以上でお使いいただくことをお勧めします。

参照

SD メモリーカードを使ってパソコンに画像を取り込むときには→『使用説明書（ソフトウェア編）』

ソフトウェアをパソコンに入れる（Mac OS 8.6～9.2.2 の場合）

1. **Macintoshの電源を入れ、CD-ROMドライブに付属のCaplio Software CD-ROM を入れる**

2. **Mac OS 9フォルダを選択する**

[Caplio Installer] のアイコンが表示されます。

3. **[Caplio Installer]をダブルクリックする**

「Caplio Installer」ウィンドウが開きます。

4. **[Caplioソフトウェア のインストール]をクリックする**

5. **[OK]をクリックする**

6. **[インストール]をクリックする**

インストール終了後、Macintosh を再起動する必要があることを確認するメッセージが表示されます。

7. **[続行]をクリックする**

しばらくするとインストール完了のメッセージが表示されます。

8. **[再起動]をクリックする**

Macintosh が再起動します。

メモ

ソフトウェアをパソコンから削除（アンインストール）するには

システムフォルダにある以下のファイルを削除してください。

ファイル名	インストール先フォルダ
RICOH Gate La	コントロールパネル
RICOH Gate La Prefs	初期設定
Caplio Mounter	機能拡張
Caplio Mounter Prefs	初期設定
Caplio USB Driver	機能拡張

ソフトウェアをパソコンに入れる（Mac OS X 10.1.2 ～ 10.3 の場合）

1. **Macintosh の電源を入れ、CD-ROM ドライブに、付属の Caplio Software CD-ROM を入れる**

2. **Mac OS X フォルダを開く**

[Caplio Mounter.pkg] のアイコンが表示されます。

3. **[Caplio Mounter.pkg] をダブルクリックする**

インストーラが起動します。管理者パスワードを要求する画面が表示されます。

4. **鍵のアイコンをクリックする**

認証ウィンドウが表示されます。

5. **管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックする**

6. **[続ける] をクリックする**

インストール先を選択する画面が表示されます。

7. インストールするボリュームをクリックし、[続ける]をクリックする

8. [インストール]をクリックする

インストール終了後、Macintosh を再起動する必要があることを確認するメッセージが表示されます。

9. [インストールを続ける]をクリックする

インストールが行われ、しばらくするとインストール完了のメッセージが表示されます。

10. [再起動]をクリックする

Macintosh が再起動します。

メモ

ソフトウェアをパソコンから削除（アンインストール）するには

1. [Applications] フォルダにある [Caplio Mounter] を起動する
2. [ファイル] メニューから [アンインストール] を選択する
   削除が始まります。

5 章

お困りのときは

お困りのときは 150
付録 158

お困りのときは

カメラ本体のトラブルについて

電源について

症　状	原　因	処　置	参照
電源が入らない。	バッテリーがセットされていない。または消耗している。	バッテリーを正しくセットする。または充電する。必要に応じてAC アダプターを使う。	P.20 P.21 P.160
	使用できない電池を使用している。	使用できる電池に交換してください。	P.16
	AC アダプターが正しく接続されていない。	正しく接続し直す。	P.160
	オートパワーオフで電源が切れている。	いったん電源スイッチをスライドさせてレンズカバーを閉じ、もう一度電源スイッチを使ってレンズカバーを開いてください。	P.24
電源が途中で切れる。	何の操作もしないで放置したので、オートパワーオフが働いた。	いったん電源スイッチをスライドさせてレンズカバーを閉じ、もう一度電源スイッチを使ってレンズカバーを開いてください。	P.24
	バッテリーが消耗している。	アルカリ電池使用時は新品電池に交換する。リチャージャブルバッテリー使用時は充電するか、AC アダプターを使う。	P.16
	使用できない電池を使用している。	使用できる電池に交換してください。	P.16
電源が切れない。	カメラの誤動作。	電池をセットしなおす。AC アダプター使用時には接続しなおす。	P.20 P.21 P.160
新しい電池なのに、電池残量が少ないことを示す電池マークが表示された。 新しい電池なのに、シャッターを押すとレンズが引っ込む。 新しい電池なのに、シャッターを押すと電源が切れる。	使用できない電池（マンガン電池など）を使用している。	使用できる電池に交換してください。	P.16
バッテリーを充電できない。	バッテリーの寿命。	新しいバッテリーに交換する。	P.16

症　状	原　因	処　置	参照
バッテリーの消耗が早い。	温度が極端に低いところや高いところで使用している。	ー	-
	暗い屋内などの撮影で、フラッシュ発光回数が多い。	ー	-

撮影について

症　状	原　因	処　置	参照
シャッターボタンを押しても撮影できない。	バッテリーがセットされていない。または消耗している。	アルカリ電池使用時は新品電池に交換する。リチャージャブルバッテリー使用時は充電するか、AC アダプターを使う。	P.16 P.20 P.160
	電源が入っていない。 静止画モード / 動画モード / 音声モードになっていない。	電源スイッチをスライドさせてレンズカバーを開き、電源をオンにしてください。 オートパワーオフ機能を使用しているときには、レンズカバーが開いていてもオートパワーオフによって電源がオフになっている場合があります。その場合には、電源スイッチをスライドさせて、いったんレンズカバーを閉じ、もう一度電源スイッチでレンズカバーを開いてください。	P.24
	再生モードになっている。	モード切替スイッチを撮影したいモード（静止画モード / 動画モード / 音声モード）に合わせ、再生ボタンを押してください。	P.30 P.31
	シャッターボタンを押し切っていない。	シャッターボタンを押し切る。	P.30 P.31
	SD メモリーカードが初期化されていない。	初期化する。	P.108
	SD メモリーカードに空き容量がない。	不要なファイルを削除するか、新しいカードをセットする。	P.21 P.48
	SD メモリーカードの寿命。	新しいカードをセットする。	P.21
	フラッシュが充電中。	オートフォーカス / フラッシュランプの点滅が終了するまで待つ。	P.37
	SD メモリーカードが「LOCK」されている。	「LOCK（書き込み禁止）」を解除する。	P.19
	SD メモリーカードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布で拭き取る。	-
撮影画像を確認できない。	画像確認時間が短い。	画像確認時間を長くする。	P.115

症　状	原　因	処　置	参照
液晶モニターに映らない。	電源が入っていない。または液晶モニターが暗い。	電源を入れる。または液晶モニターの明るさを調整する。	P.24 P.110
	ビデオケーブル /AV ケーブルをさした状態になっている。	ビデオケーブル /AV ケーブルを抜く。	P.46
	画面表示が「シンクロモニターモード」になっている。	DISP. ボタンを押して表示を切り替える。	P.26
オートフォーカスなのにピントが合わない。	レンズまたは AF 窓が汚れている。	乾いた柔らかい布できれいに拭き取る。	P.12
	被写体が撮影範囲枠の中央にいない。	フォーカスロックで撮影する。	P.33
	ピントの合いにくい被写体である。	フォーカスロック、またはマニュアルフォーカスで撮影する。	P.33 P.62
手ブレになる。	シャッターボタンを押したときに、構えたカメラが動いた。	両肘を身体につけて構える。または、三脚を使用する。	P.28
	薄暗い場所（室内など）での撮影時には、シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすくなる。	フラッシュを使用する。または、ISO 感度を上げる。	P.37 P.79
フラッシュが発光しない。またはフラッシュの充電ができない。	次の状態では、フラッシュは発光禁止になっています。 ・ホワイトバランスブラケットを使用する設定 ・連写モード ・動画モード また、SCENE モードでは、初期設定が発光禁止のモードがあります（→ P.161）。	フラッシュを発光して撮影したい場合は、設定やモードを変更してください。	P.12 P.69 P.85 P.89 P.161
	フラッシュが発光禁止になっている。	ϟ ボタンで発光禁止を解除する。	P.37
	バッテリーが消耗している。	アルカリ電池使用時は新品電池に交換する。リチャージャブルバッテリー使用時は充電するか、必要に応じて AC アダプターを使う。	P.16
フラッシュが発光したのに画像が暗い。	被写体までの距離が、望遠時で約 2.1m 以上、広角時で約 2.7m 以上離れている。	被写体に近づいて撮影する。	P.37
	黒っぽい被写体である。	露出補正を行う（フラッシュの光量も露出補正値に連動します）。	P.76
画像が明るすぎる。	フラッシュの光量が適切でない。	被写体から少し離れて撮影するか、被写体に照明などを当ててフラッシュを発光しないで撮影する。	P.37
	露出がオーバーしている。	露出補正を行う。長時間露光を解除する。	P.71 P.76
	液晶モニターの明るさが適切でない。	液晶モニターの明るさを調整する。	P.110

症　状	原　因	処　置	参照
画像が暗すぎる。	暗いところを（発光禁止）で撮影している。	ボタンで発光禁止を解除する。	P.37
	露出が不足している。	露出補正を行う。長時間露光を設定する。	P.71 P.76
	液晶モニターの明るさが適切でない。	液晶モニターの明るさを調整する。	P.110
画像が自然な色合いにならない。	オートホワイトバランスの調整しにくい状況で撮影した。	被写体に白色系のものを入れて撮影する。またはオートモード以外のホワイトバランスを使用する。	P.77
日付などの記録情報が表示されない。	画面表示の機能で、表示なしになっている。	DISP. ボタンを押して表示を切り替える。	P.26
AF 動作中、液晶モニターの明るさが変化する。	オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき、または暗いところで使用している。	故障ではありません。	-
縦に尾を引いた画像になる。	明るい被写体を写したときに起こる現象。スミア現象という。	故障ではありません。	-

再生 / 削除について

症　状	原　因	処　置	参照
再生できない。または再生画面が出ない。	再生モードになっていない。	再生ボタンを押す。	P.41
	ビデオケーブル /AV ケーブルが正しく接続されていない。	正しく接続し直す。	P.46
	ビデオ方式の設定が間違っている	正しい方式を設定する。	P.119
SD メモリーカードが再生できない。または再生画面が出ない。	SD メモリーカードがセットされていない。または画像が記録されていない SD メモリーカードをセットした。	記録済みのカードをセットする。	P.21
	本機で初期化していない SD メモリーカードを再生した。	本機で初期化し、記録したカードをセットする。	P.21 P.108
	正常に記録されていない SD メモリーカードを再生した。	正常に記録されているカードをセットする。	-
	SD メモリーカードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布で拭き取る。	-
	使用中の SD メモリーカードに異常がある。	記録済みの別のカードを再生し、異常がなければカメラは正常です。カードの異常が考えられるため、そのカードを使用しないでください。	-

症　状	原　因	処　置	参照
画面が消えた。	バッテリーが消耗している。	アルカリ電池使用時は新品電池に交換する。リチャージャブルバッテリー使用時は充電するか、必要に応じて AC アダプターを使う。	P.16
	何の操作もしないで放置したので、オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.24
ファイルを削除できない。	プロテクトが設定されている。	プロテクトを解除する。	P.96
	SD メモリーカードが「LOCK」されている。	「LOCK（書き込み禁止）」を解除する。	P.19
SD メモリーカードを初期化できない。	SD メモリーカードが「LOCK」されている。	「LOCK（書き込み禁止）」を解除する。	P.19

その他

症　状	原　因	処　置	参照
SD メモリーカードが入らない。	挿入方向が違う。	正しくセットする。	P.21
カメラのボタンを操作しても作動しない。	バッテリーが消耗している。	アルカリ電池使用時は新品電池に交換する。リチャージャブルバッテリー使用時は充電するか、必要に応じて AC アダプターを使う。	P.16 P.20 P.160
	カメラの誤動作。	電源スイッチをスライドさせて、レンズカバーを閉じ、電源をオフにし、再度電源スイッチでレンズカバーを開き、電源をオンにしてください。	P.24
		電池をセットしなおす。AC アダプター使用時には接続しなおす。	P.21 P.23 P.160
日付が正しくない。	正しい日付・時刻が設定されていない。	正しい日付・時刻を設定する。	P.117
設定した日付が消えてしまった。	バッテリーを抜いてしまった。	バッテリーを取り出した状態が約 1 週間以上続くと、日付がリセットされます。再度、設定し直してください。	P.117
オートパワーオフが働かない。	オートパワーオフが OFF になっている。	オートパワーオフの時間を設定する。	P.112
ブザー音が鳴らない。	消音が設定されている。	［操作音音量設定］で音量なしが設定されている。	P.114
テレビに映らない。	ビデオ方式の設定が間違っている。	正しい方式を設定する。	P.119
	ケーブルが接続されていない。	ケーブルを正しく接続しなおす。	P.46
	出力先のビデオ入出力スイッチの設定が間違っている。	出力先のビデオ入出力スイッチが正しいか確認する。	-

Caplio レスキューについて（Windows をご使用の場合）

パソコンにインストールされているトラブルシューティングソフトウェア(Caplioレスキュー)をお試しください。
Caplio レスキューでは、画面のメッセージに従って操作すると、パソコンとの接続やソフトウェアに関するトラブルに対する対処方法が表示できます。
Caplioレスキューは、[Caplioソフトウェアのインストール]ボタンで付属ソフトウェアのインストールを済ませていれば、パソコンにインストールされています。
インストール時にショートカットを作成した場合には、デスクトップ上にショートカットが表示されています。

Caplio レスキューを使うには

Caplioレスキューは、次のように操作して起動します。

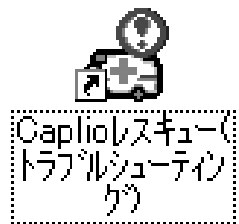
起動方法1： Windowsの[スタート]メニューから起動する

① Windows のタスクバーにある [スタート] をクリックして [スタート] メニューを表示します。
② [プログラム]を選択し、[Caplio Software]を選択します。
③ [Caplioレスキュー(トラブルシューティング)]を選択します。

起動方法2： デスクトップ上に作成した Caplio レスキューのショートカットをダブルクリックする

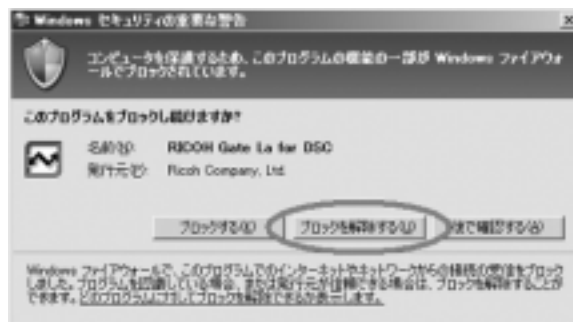
起動方法3： CD-ROM ドライブに付属の Caplio Software CD-ROM をセットし、[Caplioレスキューの起動(トラブルシューティング)]をクリックする

5

お困りのときは

Windows XP Service Pack2 での警告メッセージについて

Windows XP Service Pack2がインストールされたパソコンで、弊社デジタルカメラ用ソフトの使用時(ソフト起動時、USB 接続時)等に以下の警告メッセージが表示される場合があります。
こちらをご理解の上、以下を参考にして下さい。

警告メッセージが表示されたら

1. 名前、発行元を確認し『ブロックを解除する (U)』ボタンをクリックする

注意

プログラムの名前や発行元に心当たりが無い場合ウイルスプログラムである可能性がありますので [ブロックする] をクリックしてください。ブロックすると、そのプログラムによる外部からの接続が利用できなくなります。

『ブロックする』ボタンをクリックしてしまった場合

Windowsファイアウォールの設定を確認します。

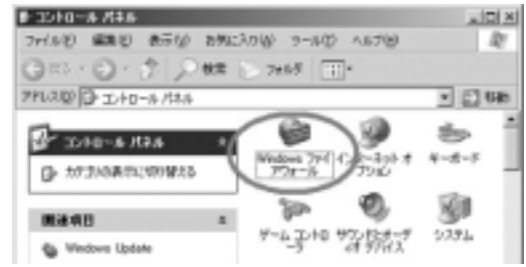
1. **[スタート]→[コントロールパネル]の順にクリックする**

2. **[Windowsファイアウォール]をダブルクリックする**

[Windows ファイアウォール] がない場合はウィンドウ左上の〔クラシック表示に切り替える〕をクリックしてください。

3. **[例外]タブをクリックする**

4. **[プログラムおよびサービス]内に設定したソフトウェアがあることを確認する**

5. **[プログラムの追加]ボタンをクリックし、ネットワークを使うソフトウェアを追加する**

『後で確認する』ボタンをクリックしてしまった場合

プログラムを起動するたびに、[Windows セキュリティの重要な警告] ウィンドウが表示されるので、その際に [ブロックを解除する] を選択できます。

付録

A. 主な仕様

総合

ビデオ信号方式	NTSC 方式、PAL 方式
電源電圧	リチャージャブルバッテリー（3.7V）× 1 本 外部（AC アダプター）；3.8V
外形寸法	100.2mm（幅）× 55.0mm（高さ）× 25.8mm（奥行き）（突起部含まず）
質量	本体 約 150g（電池 /SD メモリーカード / ストラップを除く） 付属品 約 45g（電池 /SD メモリーカード / ストラップ）
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃
使用湿度範囲	85% 以下
保存温度範囲	-20 ℃～ 60 ℃

カメラ部

使用撮像素子	総画素数 519 万画素（有効画素数 502 万画素）
レンズ	
・レンズ	4.8 倍光学ズームレンズ F3.3 ～ 4.8
・焦点距離	f: 4.6 ～ 22.2mm （35mm 換算 28 ～ 135mm）
・撮影距離	レンズ先端から 約 0.3m ～∞
・マクロ撮影距離	レンズ先端から約 0.01m ～∞（広角）, 約 0.13m ～∞（望遠）
・デジタルズーム	3.6 倍
モニター表示部	
・画面サイズ	2.5 型
・種類	透過型アモルファスシリコン TFT 液晶
・画素数	約 11.4 万画素
ホワイトバランス	AUTO/ 固定（屋外、曇天、白熱灯、白熱灯 2、蛍光灯、ワンプッシュ）
露出調整	
・測光感度分布	マルチ測光（256 分割）、中央重点測光、スポット測光
・露出補正	マニュアル露出補正± 2.0EV（1/3EV ステップ）
・測光方式	TTL-CCD 測光方式
・フラッシュ AE	あり（日中シンクロ　あり）
・シャッター	静止画；8, 4, 2, 1 ～ 1/2000 秒、 動画；1/30 ～ 1/2000 秒

・ISO 感度	AUTO、ISO64、ISO100、ISO200、ISO400、ISO800
距離調節	
・AF 方式	通常撮影領域；外部パッシブ・CCD 方式、マクロ領域；CCD 方式
・AF 測距範囲	通常撮影領域；約 0.3m ～∞、マクロ時；約 0.01m ～∞
内蔵フラッシュ	
・方式	フラッシュマティック
・撮影距離	約 0.2 ～ 2.7m（広角）、約 0.13 ～ 2.1m（望遠）（ISO:AUTO）
・動作モード	発光禁止 / オート / 赤目軽減 / 強制発光 / スローシンクロ
デート保持時間	約 1 週間

画像データ録再部

画素数（ピクセル）	
・静止画	2560 × 1920、2048 × 1536、1280 × 960、640 × 480
・文字	2560 × 1920、2048 × 1536
・動画	320 × 240、160 × 120
ファイルフォーマット	
・静止画	圧縮；JPEG（Exif Ver.2.21）
・文字	TIFF（MMR 方式 ITU-T.6）
・動画	AVI（Open DML Motion JPEG フォーマット準拠）
・音声	WAV（Exif Ver.2.21 μ law）
カメラファイルシステム規格	DCF ※ DCF は JEITA で標準化された『Design rule for Camera File System』規格の略称です。
圧縮方式	JPEG ベースライン方式準拠（静止画、動画）
画像サイズ	
・2560 × 1920	N；約 1032KB/ 画面、F；約 1806KB/ 画面
・2048 × 1536	N；約 673KB/ 画面、F；約 1346KB/ 画面
・1280 × 960	N；約 326KB/ 画面、F；約 626KB/ 画面
・640 × 480	N；約 83KB/ 画面

入出力端子

電源入力	3.8V（AC アダプター）
ビデオ出力	1.0 Vp-p（75Ω）

記録再生可能なメモリカードの種類

メモリ種類	SD メモリーカード、マルチメディアカード

B. 別売り品について

Caplio R2では、下記の別売り品が使用できます。

商品名	型名	備考
AC アダプター	AC-4b	家庭用コンセントから直接電源を供給するときに使用します。
PC カードアダプター	FM-SD53	SD メモリーカードをパソコンの PC カードスロットに直接セットするときに使用します。
リチャージャブルバッテリー	DB-50	本カメラで使用できる充電池です。
リチャージャブルバッテリーセット	BS-5	リチャージャブルバッテリー（DB-50）とバッテリーチャージャーのセットです。

AC アダプター（別売り）をセットする

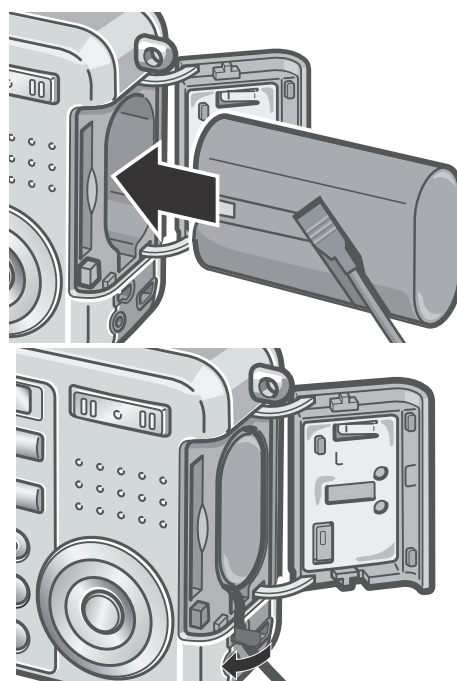
撮影や静止画を見る際に長時間使用したり、パソコンと接続する場合には、ACアダプターを使うことをお勧めします。
すでにお使いのお客様は、AC アダプターをセットする前に、電源がオフになっていることを確認してください。

1. **バッテリー/ カードカバーをスライドさせて開ける**

2. **ACアダプター用バッテリーを挿入する**

3. **電源(DC 入力)ケーブルカバーを開け、ケーブルを外に出す**

4. **バッテリー/カードカバーを閉じて、スライドさせる**

5. **電源プラグをコンセントに差し込む**

AC アダプターを取り出すには

AC アダプターを取り外す前に、電源がオフになっていることを確認してください。

1. 電源プラグをコンセントから抜く

2. バッテリー/カードカバーをスライドさせて開ける

3. ACアダプター用バッテリーを取り出す

4. バッテリー/カードカバーを閉じて、スライドさせる

注意

- 電源プラグや接続ケーブルは、しっかりと差し込んでください。
- カメラをご使用にならないときには、AC アダプターをカメラや電源コンセントから抜いておきましょう。
- カメラの使用中に AC アダプターを取り外したり、電源プラグがコンセントから抜けたりすると、データが破壊されることがあります。
- AC アダプターをご使用の際は、電池残量マークがフルにならないことがあります。

C. 各シーンモードと機能の組み合わせ

シーンモードの種類によっては、通常の撮影モードと機能の働きが異なる場合があります。下表を参照してください。

モード名	フラッシュ	マクロ撮影
ポートレート	初期値：発光禁止	不可
スポーツ	初期値：発光禁止	不可
遠景	発光禁止に固定	不可
夜景	強制発光は選択不可	不可
	初期値：オート	
文字	初期値：発光禁止	使用可
高感度	初期値：発光禁止	使用可

D. 各モード時のメニュー項目について

動画モード時

設定項目	選択肢	参照
動画サイズ	[320], 160	P.60
フレームレート	15 コマ / 秒 , [30 コマ / 秒]	P.90
フォーカス	[AF], MF, スナップ , ∞	P.62
ホワイトバランス	[AUTO], (屋外), (曇天), (白熱灯), (白熱灯 2), (蛍光灯), (ワンプッシュ)	P.77

SCENE モード時（文字モードを除く）

設定項目	選択肢	参照
画質・サイズ	F2560, N2560, F2048, N2048, F1280, [N1280], N640	P.60
フォーカス	[AF], スナップ , ∞（遠景モードは除く）	P.62
音声付き撮影	ON, [OFF]	P.74
日付入れ撮影	[OFF], 日付 , 日時	P.75
露出補正	-2.0 ～ +2.0	P.76
ホワイトバランス	[AUTO], (屋外), (曇天), (白熱灯), (白熱灯 2), (蛍光灯), (ワンプッシュ)	P.77
スローシャッター速度制限	[OFF], ON	P.80

文字モード時

設定項目	選択肢	参照
文字濃度	濃い , [標準], 淡い	P.60
サイズ	2560, [2048]	P.60
音声付き撮影	ON, [OFF]	P.74
日付入れ撮影	[OFF], 日付 , 日時	P.75
スローシャッター速度制限	[OFF], ON	P.80

E. 電源オフで設定値が初期値に戻る機能一覧

電源をオフにすると、機能によって設置値がリセットされ、初期値に戻るものがあります。
次の表は、電源のオフにしたときの設定値の保持/リセットについて示しています。

モード	機能	設定値の保持：○、 初期設定値に戻る：×
SETUP	日時設定	○
	オートパワーオフ	○
	ブザー音	○
	CARD 連続 No.	○
	画像確認時間	○
	操作音音量設定	○
	LCD 輝度調節	○
	言語設定	○
	ビデオ方式	○
	ADJ. ボタン設定	○
	ステップズーム	○
	USB 接続	○
	撮影設定警告	○
撮影	連写	×
	露出補正	○
	ホワイトバランス	○
	色の濃さ	○
	画質・サイズ	○
	フォーカス	○
	測光方式	○
	ISO 感度	○
	シャープネス	○
	オートブラケット	×
	長時間露光	○
	インターバル撮影	×
	日付入れ撮影	○
	音声付き撮影	×
	セルフタイマー	×
	フラッシュ	○

モード	機能	設定値の保持：○、 初期設定値に戻る：×
	マクロ	×
	文字濃度	○
	スローシャッター速度制限	○
	撮影アイコン拡大	○
	動画サイズ	○
	フレームレート	○
	サイズ（文字）	○
	最大輝度	○
再生	音量	○

F. 内蔵メモリー /SD メモリーカードの記録可能枚数

内蔵メモリー/SDメモリーカードの容量別、画質/サイズ別の記録可能枚数の目安は、次のとおりです。

モード	画質	画像サイズ	内蔵	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB
静止画	F	2560 × 1920	14	15	31	63	126	255	491
	N	2560 × 1920	24	25	52	105	210	424	816
	F	2048 × 1536	19	20	41	83	166	334	643
	N	2048 × 1536	37	39	80	163	325	654	1259
	F	1280 × 960	36	38	79	159	318	641	1233
	N	1280 × 960	69	72	149	301	600	1209	2324
	N	640 × 480	300	315	645	1304	2600	5239	10072
文字		2560 × 1920	37	39	80	163	325	654	1259
		2048 × 1536	69	72	149	301	600	1209	2325
動画	15コマ/秒 320 × 240		1分 23秒	1分 27秒	2分 57秒	5分 59秒	11分 56秒	24分 4秒	46分 17秒
	30コマ/秒 320 × 240		42秒	44秒	1分 30秒	3分 2秒	6分 4秒	12分 13秒	23分 30秒
	15コマ/秒 160 × 120		5分 1秒	5分 18秒	10分 51秒	21分 57秒	43分 44秒	88分 7秒	169分 27秒
	30コマ/秒 160 × 120		2分 38秒	2分 48秒	5分 45秒	11分 37秒	23分 10秒	46分 42秒	89分 48秒
音声			61分 32秒	64分 38秒	132分 13秒	267分 17秒	532分 38秒	1073分 11秒	2063分 27秒

メモ

- 液晶モニターに表示される残り記録枚数は、撮影する被写体によってファイル容量が増減するため、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。
- 同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
- 連続撮影（録音）時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。

G. 海外でお使いのときは

AC アダプター（型名：AC-4b）について
交流 100V、50Hz/60Hz の地域でご使用になれます。 電源コンセントの形状が異なる国では、使用先の国の電源コンセントにあった変換アダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねのうえ、ご用意ください。

保証書について
本製品は国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。 外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

再生等で現地のテレビを使用する場合
映像入力端子付きのテレビ（またはモニター）で再生することができます。付属の AV ケーブルをご使用ください。 本機では、テレビ方式は NTSC と PAL に対応しています。現地のテレビ環境にあわせて、カメラのビデオ方式を切り替えてご使用ください。 海外へお出かけの際は、ビデオ方式をご確認の上、ご使用ください。

H. 使用上のご注意

- 本製品は国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
- 外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
- カメラを落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。
- フラッシュを連続して発光させると発光部が熱くなりますので、必要以上に連続してフラッシュを発光させないでください。
- 視力障害の原因にもなりますので、目の近くでフラッシュを発光させないでください（特に乳幼児）。
- 事故を起こす原因にもなりますので、運転者などに向かってフラッシュを発光しないでください。
- 電池をご使用の場合、カメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さないでください。
- 液晶モニターに太陽の光やライトが当たると、白っぽくなり見えにくくなることがあります。
- 液晶モニターには、一部に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- カメラを持ち運ぶときは、レンズや液晶モニターをぶつけないよう十分に注意してください。
- 温度変化の激しいところでは、カメラ内部で水滴が生じる結露という現象が発生し、ガラス面がくもったり、作動不良などを起こすことがあります。このようなときは、一度カメラをビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出すようにしてください。
- 故障の原因になりますので、マイク、スピーカーの穴に針等を通さないでください。

メモ

結露の発生しやすい状態

- 本機を急激な温度差のあるところに移動したとき
- 湿気の多いとき
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接あたるとき

I. お手入れと保管について

お手入れ

・レンズに指紋や汚れがつくと、画質が悪くなることがありますので、ご注意ください。
・レンズにゴミや汚れがついたときは、直接手を触れず市販のブロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。
・海辺や薬品を使う場所で使用したあとは、特に入念にふいてください。
・万一カメラの具合が悪いときは、リコー修理受付センターにご相談ください。
　このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
・シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
・液晶モニターの表面は、傷つきやすいので、かたい物でこすったりしないでください。
・液晶モニターの表面は、液晶ディスプレイの表面清掃用に市販されている溶剤を、柔らかい布に少量含ませて軽くふき取ってください。

保管について

・次のような場所での保管は、カメラの故障の原因になりますので避けてください。
　　高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所
　　砂、ほこり、ちりの多い場所
　　振動の激しいところ
　　防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ
　　強い磁場の発生するところ(モニター、トランス磁石のそばなど)
・電池をご使用の場合、長時間本機をご使用にならないときは、電池を取り出して保管してください。

お手入れ時のご注意

(1)必ず電源をオフにしてください。
(2)バッテリーやACアダプターを取り外して、お手入れしてください。

J. エラーメッセージが表示されたら

液晶モニターにエラーメッセージが表示されたときは、次の方法で対処してください。

エラーメッセージ	原因と対応方法	参照頁
CARD を入れてください。	カードがセットされていません。カードをセットしてください。	P.21
セットアップメニューから日付を設定してください。	日付が設定されていません。日付を設定してください。	P.117
FILE NUMBER OVER	ファイル番号の制限を超えています。不要なファイルを削除するか、他のカードをご使用ください。	P.116
表示できないファイルです。	カメラでは表示できないファイルです。パソコンなどでファイルを確認し、ファイルを削除してください。	ー
容量不足です。コピーしますか。	カードの容量が不足しているため、すべてのファイルをコピーできません。他のカードをご使用ください。	P.19
プロテクトされています。	プロテクトされたファイルを削除しようとしています。	P.96
カードが書き込み禁止です。	カードが「LOCK（書き込み禁止)」されています。ロックを解除してください。	P.19
プリント設定できないファイルです。	プリント設定できないファイル（動画など）です。	ー
容量不足です。	ファイルを記録できません。ファイルを削除するか、空き容量を確保してください。	P.48 P.108 P.109
	画像のプリント指定枚数が制限を超えています。どれか画像を選択し、枚数を 0 にしてください。	ー
内蔵メモリーを初期化してください。	内蔵メモリーを初期化する必要があります。	P.109
CARD を初期化してください。	カードが初期化されていません。カードを初期化してください。	P.108
使用できない CARD です。	再度初期化し直してください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、カードの異常が考えられます。そのカードを使用しないでください。	P.108
メモリー書き込み中	ファイルをメモリーに書き込んでいます。書き込みが終わるまでお待ちください。	ー
ファイルがありません。	再生できるファイルがありません。	ー
記録できません。	撮影可能枚数が 0 になりました。他のカードや内蔵メモリーに切り替えてください。	ー
メモリー容量不足です。記録できません。	ファイルを記録できません。ファイルを削除するか、空き容量を確保してください。	P.48 P.108 P.109

K. アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、保証書に記載された保障期間内で無料修理いたしますので、リコー修理受付センターかお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、リコー修理受付センターにご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。
2. つぎの場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
   ① 使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障。
   ② 使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障。
   ③ 火災、天災、地変等による故障。
   ④ 保管上の不備（高温多湿や防虫剤の入った場所での保管、電池等の液漏等、カビ発生等）による故障。
   ⑤ 浸（冠）水、飲物（ジュース、酒類等）かぶり、砂（泥）入り、ショック、落下等による故障。
3. 保証書に記載された保障期間経過後は、本製品に関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。
4. 保証書の添付のない場合や、販売店名、ご購入年月日の記入がない場合ならびに記載事項を訂正された場合には、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。
5. 保証期間内であっても、本製品について各部点検、精密検査等を特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
6. 保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップ等の付属品類および本製品に付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。
7. 無償修理期間中であると否とにかかわらず、本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および得べかりし利益の損失）等については補償いたしかねます。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   ＊ 以上の保証規定は無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
   ＊ 以上の保証規定は本製品に関する保証書にも同様の趣旨で記載されています。
9. 本製品の補修用性能部品（機能、性能を維持するために不可欠な部品）は、5年を目安に保有しております。
10. 浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下等で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの等は修理できない場合もあります。ご了承ください。

・ 修理にお出しになる前に、バッテリーの消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいいたします。
・ 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合もございますので、修理には余裕を持ってお出しください。
・ 修理にお出しになる際は、故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
・ 修理にお出しになる際は、修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。
・ 大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださるとともに、使用説明書や予備のバッテリーの携帯等をお勧めいたします。
・ 修理にお出しになった場合、メモリカードおよび内蔵メモリー内のデータについては保証できません。

索引

記号・英数字

Acrobat Reader 130
AC アダプター 11, 160
ADJ. ボタン 57
ADJ. ボタン設定 111
AV ケーブル 10, 46
Caplio Software CD-ROM 11, 128, 143
Caplio Transfer Software 130
Caplio レスキュー 129
CARD へコピー 103
CARD 連続 No. 116
CD-ROM の内容を見る 130
DirectX 130
DPOF 99
ImageMixer 129
ISO 感度 79
LANGUAGE/ 言語 118
LCD 輝度調節 110
M（メモリー逆戻り）連写 85
PictBridge 52
RICOH Gate La 129, 144
Ridoc Desk 2000 Lt 130
SD メモリーカード 19
S（ストリーム）連写 85
USB ケーブル 10
USB ドライバー 129, 144
WAV ファイル 92
WIA ドライバー 129

あ

アフターサービス 169
アンインストール 141
一気押し 30
インターバル撮影 72
エラーメッセージ 168
オートパワーオフ 112, 24
オートブラケット 68
音声 92
音声付き撮影 74
お困りのときは 150

か

拡大表示 45
画質・サイズ 60
画像確認時間 115
画像サイズ変更 102
カメラの構えかた 28
逆光撮影 76
記録可能枚数 164
記録先 19
クイックレビュー 40
グリッドガイド表示 26

さ

再生 40
削除 48
撮影可能枚数 17
撮影設定警告 121
撮影設定初期化 81
サムネイル表示 44
シーン 38
シャープネス 66
仕様 158
使用説明書（ソフトウェア編）を見る ....
130, ... 144
初期化 - カード 108
初期化 - 内蔵メモリー 109
シンクロモニターモード 26
ズーム 35
ステップズーム 120
スライドショー 95
スローシャッター速度制限 80
接写 36
セルフタイマー 84
操作音音量設定 114
測光方式 65

た

ダイレクトプリント 52
長時間露光 71
デジタルズーム 35
電源 24
電池 16
電池の残量表示 18
同梱品 10
トラブル 150

な

内蔵メモリー/SD メモリーカードの記録可
能枚数 164
日時 25
日時設定 117

は

半押し 31
ハンドストラップ 10
日付入れ撮影 75
ビデオ方式 119
フォーカス 62
フォーカスロック 33
ブザー音 113
フラッシュ 37
プロテクト 96
ホワイトバランス 77

ホワイトバランスブラケット 69

ま

マウンター 129, 144
マクロ撮影 36
文字濃度 82

ら

リチャージャブルバッテリー 11
連写 85
露出補正 76

リコー修理受付センター

万一、本製品がご使用中に故障した場合は、下記のサービスメニューからお客様がご希望のサービス方法をお選びいただき、記載されているリコー修理受付センターまでお申し込みください。

＊本製品の保証書に記載された保証期間内は、無料修理となりますが、保証書裏面の保証規定第２項の記載に該当する場合は、保証の対象にはなりません。

＊各サービスメニューの対象は、製品本体のみとさせていただきます。

＊本サービスは、日本国内のみ有効です。

●たくはいサービス●

着払い宅配便にてお送りいただくサービスです。

●ひきとりサービス●

運送業者がお客様のご自宅（事務所）に訪問し、機械を梱包してお預りします。

●こうかんサービス●

お使いの機種と同一機種を運送業者が持参し、交換致します。機械を連続してご使用になっていて、修理のためにお預りできないお客様に最適です。

＊本サービスは初年度保証期間終了後に有効となります。

●もちこみサービス●

お買い上げのご販売店、「全国サービス拠点一覧」（http://www.r-ts.co.jp/kyoten）に記載されている最寄りのサービスステーション、カメラサービスセンター（裏表紙）のいずれかにお持ちいただくサービスです。

時間帯指定サービス

たくはいサービス、ひきとりサービス、こうかんサービスの各サービスで、修理完成品の配達日の時間帯指定ができます。時間帯は 10：00 ～ 20：00 までの間で、時間帯区切りは 2 時間です。

1)10：00 ～ 12：00　2)12：00 ～ 14：00　3)14：00 ～ 16：00

4)16：00 ～ 18：00　5)18：00 ～ 20：00

＊リコー修理受付センターへご連絡の際、お申し込みください。

お願い

1. 修理に際し、メモリー等記憶装置内のデータの保存については保証いたしかねますのでご了承ください。
2. 修理におだしになる前に、バッテリーのチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いします。
3. 修理個所によっては規定以上の日数がかかる場合がございますので、修理には余裕を持ってお出しください。
4. 修理ご依頼の際は、故障内容と故障個所をできるだけ詳しくお申し出ください。
5. 「リコー修理受付センター」は上記取扱商品の故障に関する修理方法、修理期間等のお問い合わせに限らせていただきます。

修理以外の製品に関する機能・性能、使用方法のお問合せ、ご相談は巻末に記載のリコーお客様相談室までお願い申し上げます。

「環境対応」から「環境保全」、そして「環境経営」へ。

リコーは地球環境に配慮した活動も積極的に推進し、かけがえのない地球の一市民として、環境保全活動も経営の重要課題として積極的に推進しています。

デジタルカメラについても環境負荷削減を目指し、「消費電力削減」、製品に含有される「環境影響化学物質削減」などに取り組んでいます。

困ったときには

本書の「お困りのときは」(→P.150)をご覧ください。また、付属のCD-ROMに収められている **Caplio レスキュー(トラブルシューティング)** もお試しください。それでも問題が解決しないときには、「リコーお客様センター」にご連絡ください。

リコーお客様相談室	
0120 FreeDial	電話 0120-000475 FAX 0120-479417 受付時間：9:00 ～ 17:00 （土、日、祝日を除く）
インターネットでもご相談をお受けしています。 http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html	
デジタルカメラ修理受付	
全国サービス拠点一覧 (リコーテクノシステムズ株式会社)	http://www.r-ts.co.jp/kyoten
リコー修理受付センター (リコーロジスティックス株式会社)	0120 FreeDial 電話 0120-053956 受付時間：9:30 ～ 17:00（土、日、祝日を除く） 宅配便を利用した修理品の受付センターです。
カメラサービスセンター	〒 104-0061 東京都中央区銀座 6-14-7（リコー三愛ビル別館） 電話 03-3543-4187 受付時間：9:30 ～ 17:00（土、日、祝日を除く）
ImageMixer について	
株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター	電話 06-6633-3900 受付時間：月曜日～日曜日 10:00 ～ 17:00 (年末年始、祝日、弊社指定休日は除く)

株式会社リコー
〒 107-8544
東京都港区南青山 1-15-5 リコービル
電話：03-3479-3111(代表)
2005 年 3 月
JA Printed in China